

Hokuhoku Financial Group, Inc.

統合報告書

—— ディスクロージャー誌 ——

2021



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CONTENTS

P.03

- ほくほくフィナンシャルグループの歩み
- 財務ハイライト
- 私たちの強み
- 地域のポテンシャル

P.11

- 社長メッセージ

P.15

- ほくほくフィナンシャルグループの価値創造プロセス

P.17

- ESG・SDGsを踏まえたCSR活動における
取り組み重点テーマ
- 気候変動への対応
- サステナビリティに向けた取り組み
- 地域社会活性化への取り組み

P.29

- 中期経営計画「ALL for the Region」

P.33

- 副社長メッセージ
- ニューノーマルへの対応
- グループシナジー発揮への取り組み
- デジタル化への対応
- 人財マネジメント

P.45

- 法人のお客さまへ価値を提供するために
- 個人のお客さまへ価値を提供するために

P.51

- ステークホルダーコミュニケーション

P.53

- 健全で強靱な経営基盤
- お客さま本位の業務運営に向けた取り組み

P.67

- 会社概要
- 店舗ネットワーク

編集方針

ほくほくフィナンシャルグループはこの度、統合報告書2021を発刊いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参照しています。本統合報告書は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。本統合報告書に将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。なお、詳細な財務データ等につきましては、「統合報告書2021財務データ編」をご覧ください。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



ロゴマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着きのあるブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。



北陸銀行の創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資を受け、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。

- 1877年8月 金沢第十二国立銀行開業(創業)
- 1879年2月 富山第二百二十三国立銀行開業
- 1943年7月 十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
- 1950年1月 外国為替業務開始(地銀初)
- 1961年9月 東京証券取引所に上場



北海道銀行の設立

北海道銀行は、戦後復興期、新興産業の勃興と人口の急増に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

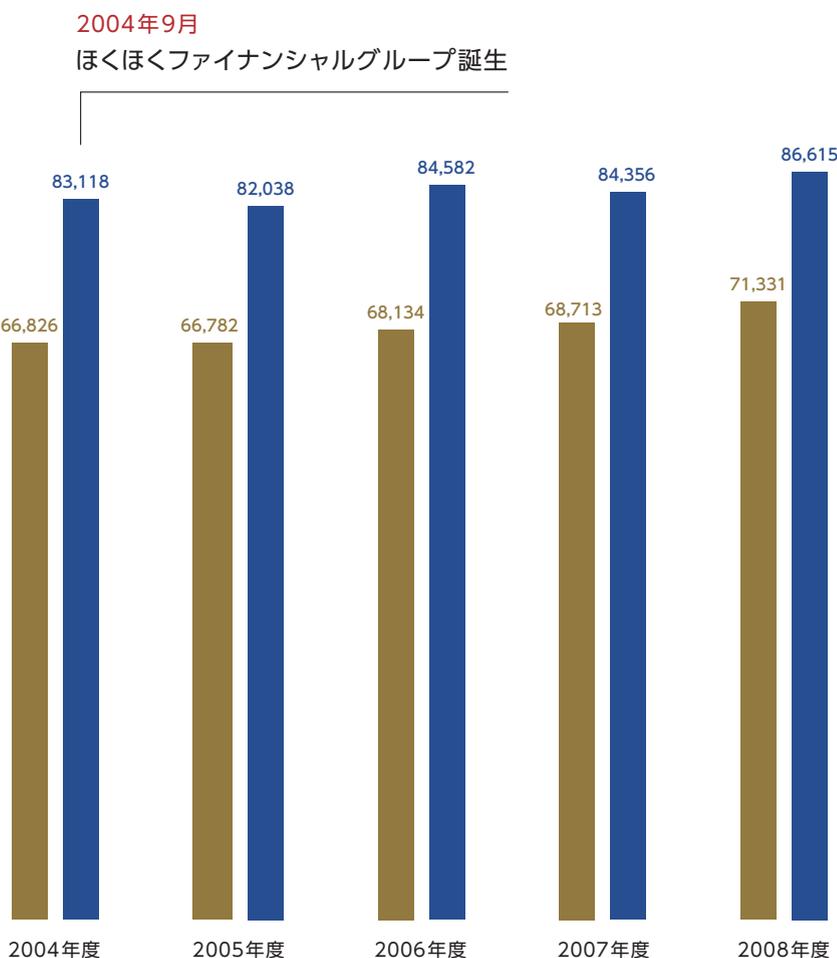
- 1951年3月 「株式会社北海道銀行」設立
- 1961年4月 外国為替業務開始
- 1962年5月 札幌証券取引所に上場
- 1987年9月 東京証券取引所一部に上場

ほくほくフィナンシャルグループの歩み

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸・北海道に基盤を置く地域金融機関として、長らく地域とお客さまの繁栄に貢献してきました。

今後とも地域と共に成長・発展することで、共有価値を創造してまいります。

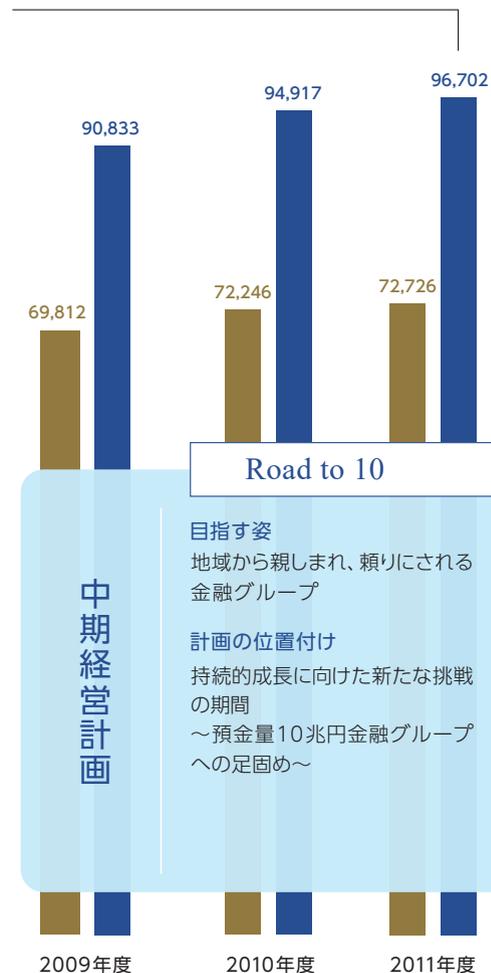
■ 貸出金(未残) ■ 預金(未残)含む譲渡性預金
(単位:百万円)



2011年5月

3行共同利用システム「MEJAR」稼働

北陸銀行、北海道銀行が横浜銀行との基幹系システム共同利用を開始





地域金融として初の広域地域金融グループとなるほくほくフィナンシャルグループを設立
依然金融機関にとって厳しい環境が続く中、2004年9月に経営資源をより有効に活用する経営の効率化、
広域ネットワークを活用した営業力の強化および経営基盤の安定化を目指し、北陸銀行・北海道銀行が
経営統合し、2行を中心としたほくほくフィナンシャルグループが誕生いたしました。

2020年6月

環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の
支援先機関として採択

2021年2月

「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定
「TCFD」提言への賛同

2021年3月

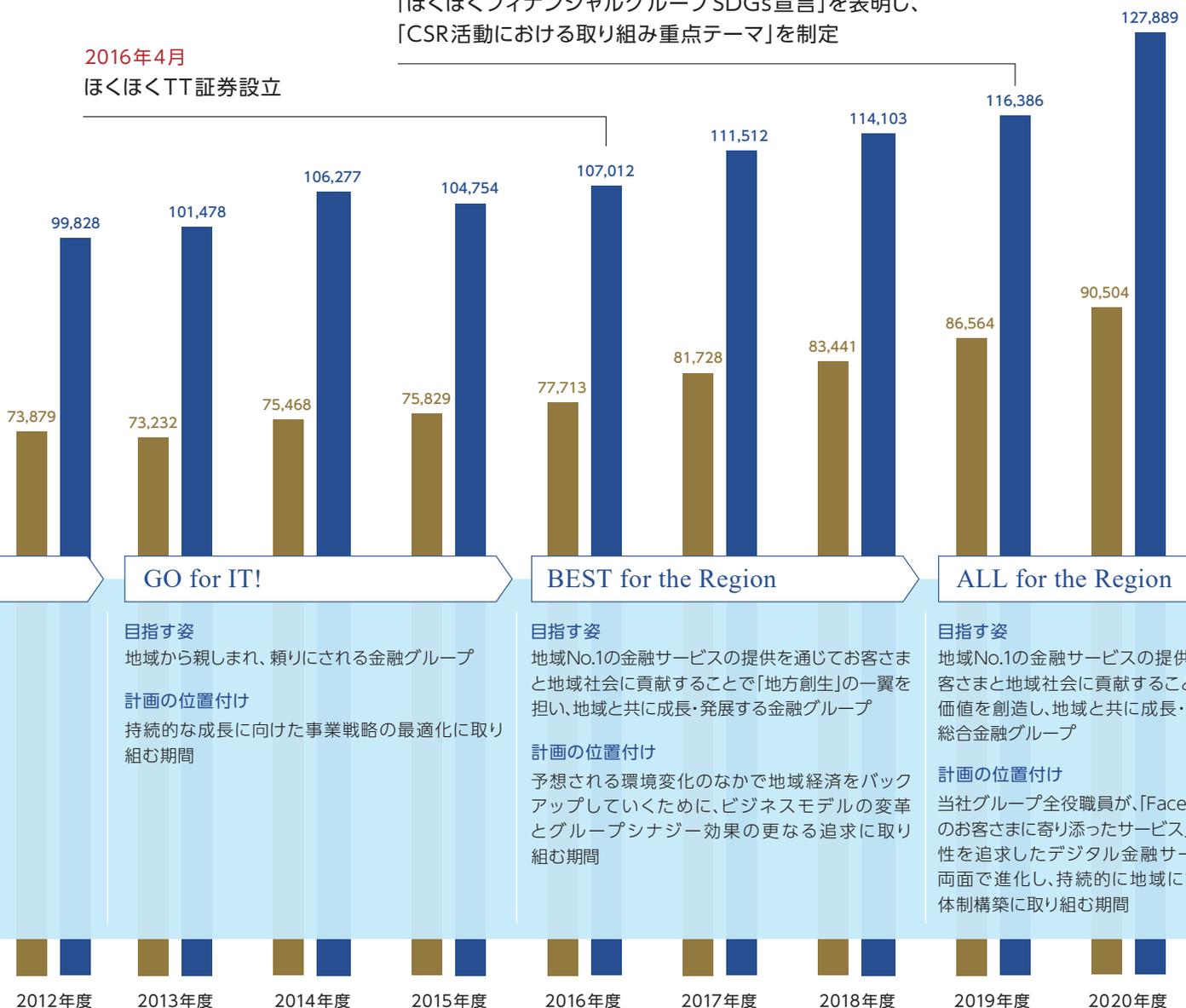
北海道銀行 設立70周年

2019年4月

「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、
「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定

2016年4月

ほくほくTT証券設立



GO for IT!

目指す姿

地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ

計画の位置付け

持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り
組む期間

BEST for the Region

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さま
と地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を
担い、地域と共に成長・発展する金融グループ

計画の位置付け

予想される環境変化のなかで地域経済をバック
アップしていくために、ビジネスモデルの変革
とグループシナジー効果の更なる追求に取り
組む期間

ALL for the Region

目指す姿

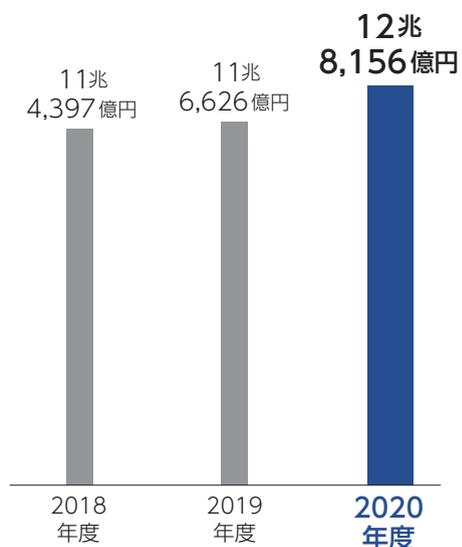
地域No.1の金融サービスの提供によりお
客さまと地域社会に貢献することで、共通
価値を創造し、地域と共に成長・発展する
総合金融グループ

計画の位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Face
のお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便
性を追求したデジタル金融サービス」の
両面で進化し、持続的に地域に貢献する
体制構築に取り組む期間

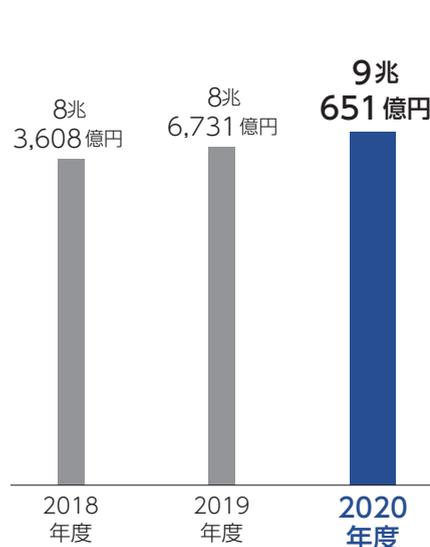
預金・譲渡性預金期末残高(2行合算)

12兆8,156億円
(前期末比1兆1,529億円増加)



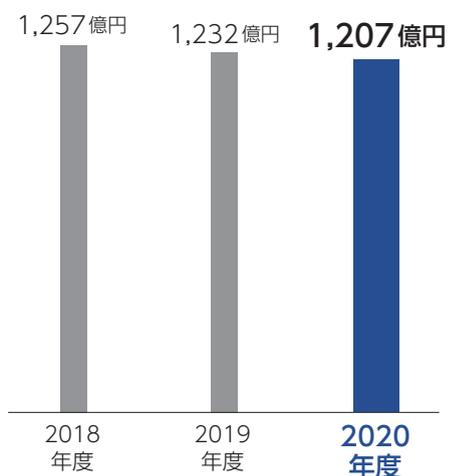
貸出金期末残高(2行合算)

9兆651億円
(前期末比3,920億円増加)



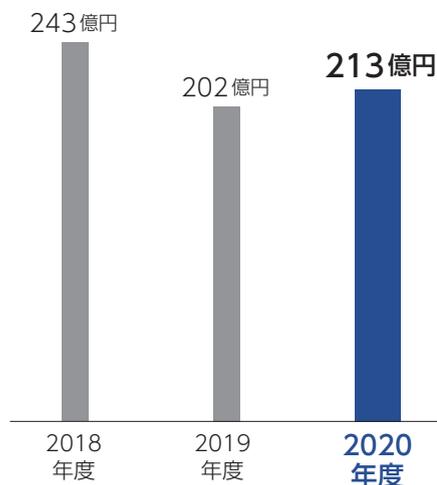
コア業務粗利益(2行合算)

1,207億円
(前期比24億円減少)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

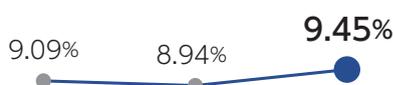
213億円
(前期比10億円増加)



自己資本比率(連結)

9.45%

(前期末比0.51ポイント上昇)



2018年度	2019年度	2020年度

自己資本利益率(ROE) (2行合算)
当期純利益ベース

4.13%

(前期比0.22ポイント上昇)



2018年度	2019年度	2020年度

OHR(2行合算)

68.19%

(前期比1.08ポイント低下)



2018年度	2019年度	2020年度

格付の状況

格付会社	格付	取得企業

R&I (格付情報センター)	A	
-------------------	---	--

S&P	A-	北陸銀行
-----	----	------

「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

私たちの強み

当社グループが培ってきた強みを活かし、地域社会へ貢献するとともに、



歴史に裏打ちされたお客さまとの「取引基盤」

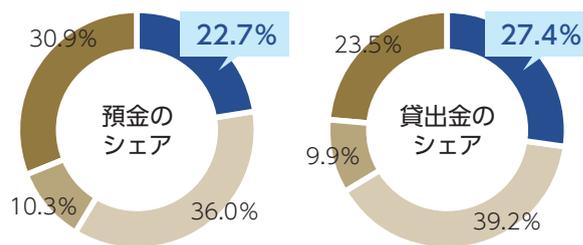
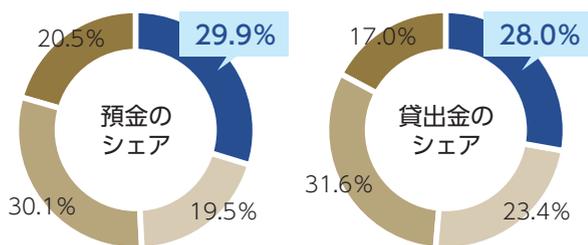
- 1877年創業の北陸銀行と1951年設立の北海道銀行
- 2004年の経営統合から17年目
- プライムエリアである北陸・北海道を中心に数多くのお客さまにお取引いただき、長い歴史の中で共に歩み、成長してきた歴史

北陸三県(富山、石川、福井)

北海道

預金・貸出金ともに第1位のシェア

預金・貸出金ともに第2位のシェア



■ ほくほくFG ■ 地区トップ競合行 ■ その他の銀行 ■ 信用金庫

*シェアは、2020年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。

*「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

多彩な「人財」

- 北陸地域の特徴と言われる勤勉さと北海道の開拓精神を持った「バラエティ豊かな人財」
- 積極的な女性登用とダイバーシティの推進
- 事業承継やM&A、農業関連業務、国際業務などの分野において、地方銀行トップクラスのノウハウを有する

女性経営職・管理職総数

CFP・1級FP技能士の資格保有者数(合計)

女性の活躍推進

専門性の高い人財



当社グループの持続的な成長を実現してまいります。



地銀グループでは類をみない「広域店舗網」

- 北陸、北海道、三大都市圏に広域店舗網を有し、海外にも9拠点を広く展開
- 広域のビジネスマッチング等の広域連携力
- 様々な営業形態の店舗への移行や営業時間の弾力化など店舗機能の最適化を実施

店舗数

国内332店舗

本州
(北陸、東京、大阪、愛知その他)

171 店舗

*2021年6月末時点

北海道

161 店舗



海外9拠点

駐在員
事務所

- ①ニューヨーク ②バンコク ③シンガポール ④上海
⑤大連 ⑥瀋陽 ⑦ウラジオストク ⑧ユジノサハリンスク
⑨ホーチミン(2021年8月開設予定)

広域ビジネスマッチング

ほくほく連携による
広域ビジネスマッチングに強み

商談件数

127 件

成約件数

41 件

*2020年度実績

地方自治体や大学等との「パートナーシップ」

- 連携を通じて、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや、地域のリテラシー向上に向けた教育を積極的に推進
- 海外販路拡大など、地元企業の海外進出を支援

自治体・大学との連携

地域に貢献する国内の強固な連携

自治体

47 先

大学

22 先

*2021年3月末時点

海外政府機関および金融機関等との提携

海外進出を支援する海外との幅広い連携

海外政府機関、金融機関等

63 先

*2021年3月末時点

地域のポテンシャル

当社グループは、北陸3県と北海道を中心に広域展開して



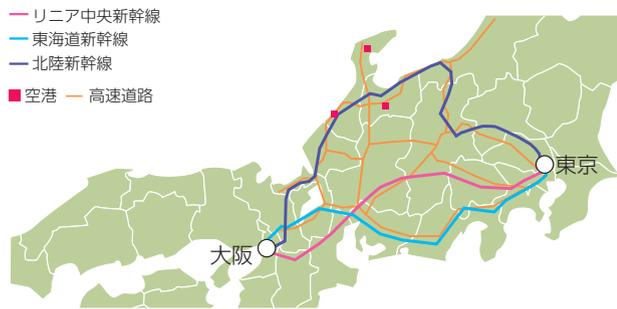
北陸3県の地域特性

- 東京、名古屋、大阪の三大都市圏の中央に位置
- 全国でもトップクラスの教育圏
- 日本海側随一の工業圏
- 良質で豊かな水資源



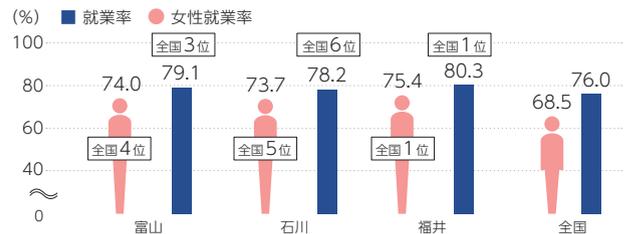
本州の中央に位置する北陸

三大都市圏からいずれも300km圏内に位置し、北陸新幹線開業で首都圏からの所要時間は2時間台となっています。



高い教育水準、勤勉な人財 女性が働きやすい環境

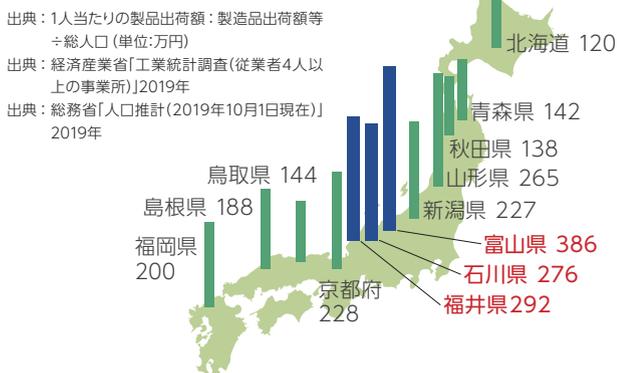
進学率が高く、離職率は低い特徴があります。三世帯同居で共稼ぎの家庭が多く、働く女性が多いのも特徴です。



出典：就業率：生産年齢人口(15～64歳)の就業率(単位：%)
出典：総務省「就業構造基本調査報告」2017年

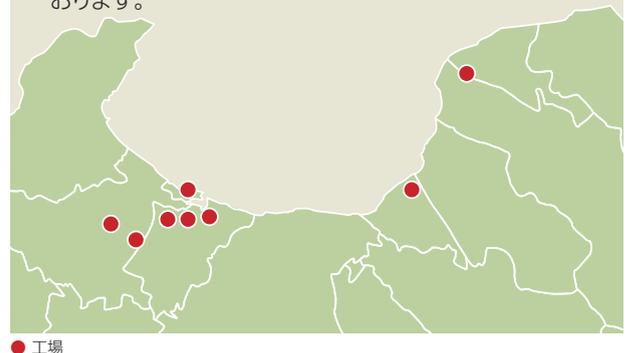
北陸は日本海側随一の工業圏

北陸の1人当たりの製品出荷額は日本海側で群を抜いており、多くのシェアトップ製品があります。



富山県にアルミ産業が集積

日本有数のアルミ関連企業の工場が富山県に集積しております。



おります。それぞれの地域が秘めるポテンシャルを活かし、地域と共に発展してまいります。



北海道の地域特性

- 地域ブランド1位
- 国内最大の食糧供給基地
- 全国有数の新エネルギーのポテンシャル
- 世界に誇る観光地域



良質な「食の北海道ブランド」

北海道特有の気象条件や地理的条件を背景に、多様な農山漁村が築かれ、特産物である魚や肉、豆麦類などを活かした多様な食文化があり、農業産出額や海面漁業・養殖業産出額は全国1位を誇ります。

農業産出額(上位5道県)

都道府県	産出額(億円)
北海道	12,558
鹿児島	4,890
茨城	4,302
千葉	3,859
宮崎	3,396

出典：農林水産省「令和元年 農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」

海面漁業・養殖業産出額(上位5道県)

都道府県	産出額(億円)
北海道	2,306.59
長崎	1,012.99
愛媛	862.38
宮城	834.45
鹿児島	760.48

出典：農林水産省「令和元年 漁業産出額」

豊富で多様なエネルギー資源

太陽光や風力、バイオマスなど「再生可能エネルギーの宝庫」であり、近年は、メガソーラーや風力発電、バイオマスエネルギーの活用施設の建設が相次いでいます。



国民が最も行きたい観光地

北海道の雄大な自然、雪、温泉などの観光資源は、国内の旅行者のみならず、外国人旅行者からも人気が高く、観光地として優れた条件を備えています。



北陸・北海道の 未来を共創する

ほくほくフィナンシャルグループでは、今後の地域社会の課題を見据えて、持続的に発展する「北陸・北海道の未来の共創」を目指し、地域経済に新たな付加価値を創出する存在として、皆さまとともに歩みを進めてまいります。

取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)



当社グループの「特長」～強みと地盤～

まず、当社グループの強みとプライムエリアである北陸・北海道のポテンシャルについてご説明させていただきます。

当社グループの強みは、歴史に裏打ちされたお客さまとの「取引基盤」、地銀グループでは類をみない「広域店舗網」、そして北陸地域の特性と言われる勤勉さや北海道の開拓精神を背景にしたバラエティ豊かな「人財」、さらに地域の課題解決のための多くの地方自治体や大学等との「パートナーシップ」です。

次に、われわれの強みを発揮する地盤となる北陸・北海道に

ついても触れたいと思います。北陸地域については、「三大都市圏の中央に位置すること」「質の高い教育環境であること」「日本海側随一の工業圏を形成していること」「良質で豊かな水資源が存在すること」などが挙げられます。北海道については、「強いブランド力を持っていること」「国内最大の食糧供給基地であること」「全国有数の新エネルギーのポテンシャルをもつこと」「世界に誇る観光地域であること」などがあります。

このような強みと地盤は、われわれの力強い「特長」であり、かけがえのない守るべきものと考えております。

2020年度を振り返って～北陸・北海道の課題～

次に、2020年度を振り返り、当社グループを取り巻く環境と課題についてお話しいたします。

2020年度の世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、私たちの経済活動に大きな影響を与えました。国内においても、ワクチン接種は着実に進んでいるものの、新たな変異株が現れるなど、感染

収束は未だ見通しが立たず、日本経済は低迷を続けています。それに加えて、地方においては人口減少や少子高齢化の持続的な進行と人手不足の深刻化という構造的な課題や、気候変動による異常気象など、課題が山積しています。

われわれのプライムエリアである北陸・北海道においても、

政府の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象地域となり、様々な経済活動の自粛・制限がなされました。また、将来の担い手である若い世代の都市圏流出により、北陸のものづくり産業、北海道の第1次産業などにおいて、

産業を支える人財の育成・確保が難しくなっております。さらに、自然災害や気候変動は、日本の食の一大産地である北海道の第1次産業をはじめ、多大な影響を地域経済に与え得る脅威となっております。

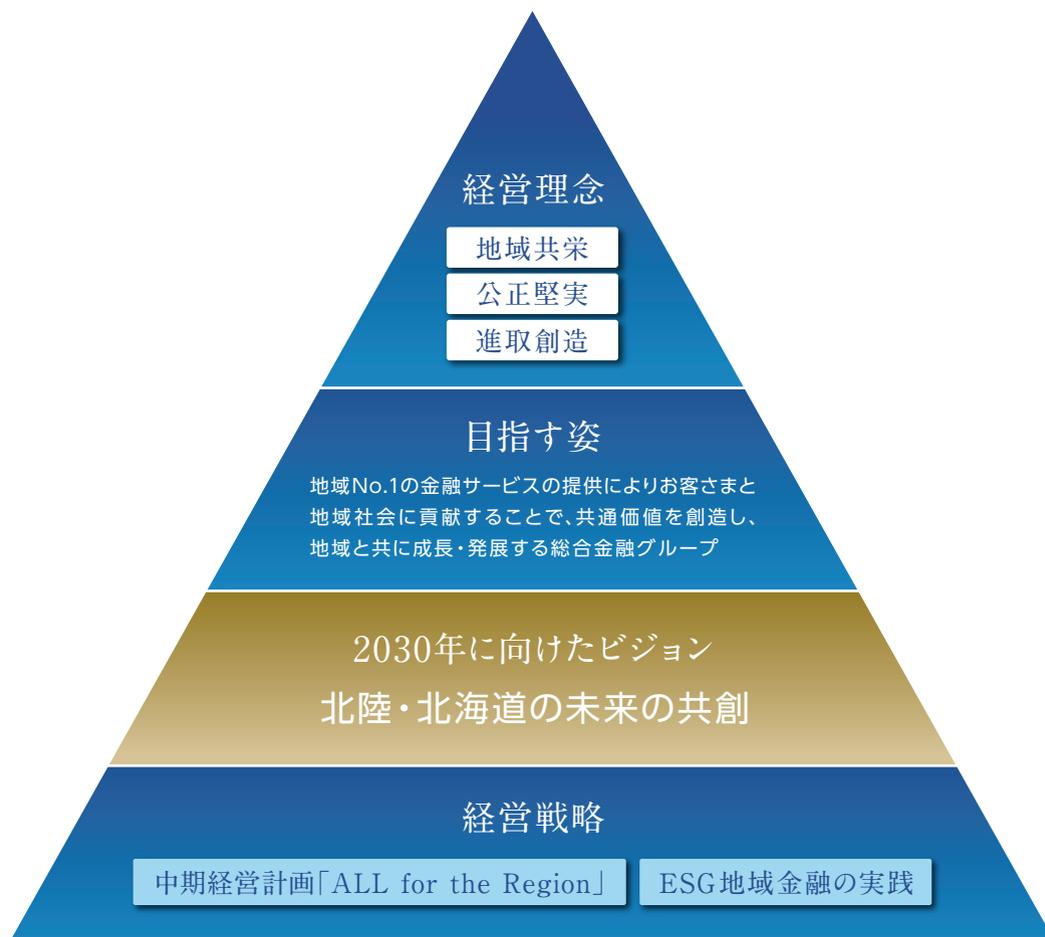
2030年に向かって～経営理念の追求～

このように山積している課題に立ち向かうための、当社グループの意志をご紹介します。

われわれは、取締役会や経営会議をはじめとするあらゆる社内会議において、まず「経営理念」を唱和することから始めます。議論が行き詰ったとき、意見が分かれたときに、進むべき方向を導き出す指針は、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」という経営理念であると信じているからです。この経営理念を軸にわれわれは、「地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ」

を目指す姿としております。

そして、そのためのステップとして、当社グループは、持続的に発展する「北陸・北海道の未来を共創」する企業でありたいという2030年に向けたビジョンを描き、先ほどご説明した「特長」をしっかりと認識し、活用しながら、実現に向けて取り組んでおります。その具体的な取り組みが、中期経営計画「ALL for the Region」と「ESG地域金融の実践」という2つの経営戦略です。これらの経営戦略の実践が、当社グループの「特長」をさらに強固にし、ビジョンの実現や、目指す姿に近づき、そして経営理念の追求につながると考えております。



北陸・北海道の 未来の共創に向けて

さて、2030年に向かい「北陸・北海道の未来の共創」を実現していくための戦略についてご説明させていただきます。



中期経営計画「ALL for the Region」

まず、中期経営計画「ALL for the Region」のもと計画の2年目となる2020年度の取り組みについてご説明いたします。

当社グループは、2019年度からの3年間で計画期間とする中期経営計画「ALL for the Region」に取り組んでおります。当社グループの全役職員が一丸となり、地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループとなるべく、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築を進めています。

法人分野において、何より新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまに対する資金繰り支援に注力しました。国内で新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年2月以降、すべての融資取扱店に相談窓口を設け、事業への影響をヒアリングし、資金面におけるご相談に対応してまいりました。また、お客さまの本業を支える取り組みとして新たな販売・仕入先の確保に向けたビジネスマッチングや、経営上の課題に対するソリューションを提供する経営コンサルティングなどの提案活動に取り組んでまいりました。コロナ禍において対面での営業活動に制約もありましたが、ウェブ会議などの非対面ツールを活用した営業活動にも積極的に取り組み、お客さまの様々なニーズの把握に努めてまいりました。

個人分野においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い非対面取引ニーズが高まる中、かねてよりお客さまの利便性向上のために拡充してきたインターネットバンキングのご利用やウェブ完結取引の取り扱い件数が大きく増加しました。お客さまのすそ野の拡大に向けたインターネットバンキ

ング専用投資信託のラインアップ拡充、お客さまの資産形成コンサルティングにおける銀行と証券子会社の連携強化、相続関連コンサルティングメニュー拡充に向けた暦年贈与型信託の取り扱い開始など、お客さまのライフステージに応じた幅広いニーズにお応えできる体制整備を行いました。さらに、住宅ローン商品の見直しやマイカーローン向けのがん保障付き団体信用生命保険の取り扱い開始、電子契約の導入など、個人ローンにおいても更なる顧客利便性の向上に取り組ましました。

当社グループの経営基盤の強化にも取り組んでまいりました。子銀行における営業店舗体制の効率化や営業店事務のデジタル化・本部集約化を進め、経費の削減に努めました。新型コロナウイルス感染症に対しては、感染予防と感染拡大防止策を徹底し、テレワークや営業時間の見直しを含め、円滑に業務を継続するための取り組みを行っております。また、基盤をつくる従業員の活力向上や生産性の向上を目指し、積極的な健康経営にも取り組んでおります。2020年度においても北陸銀行、北海道銀行ともにホワイト500に4年連続で認定されました。

ガバナンス体制においては、コーポレート・ガバナンス委員会や取締役会において社外役員の客観的な意見を積極的に取り入れ、中長期戦略などの議論を充実させました。また、ディスクロージャー・ポリシーのもと透明性の高い情報開示に努めております。その一環として昨年、統合報告書2020を当社グループとして初めて発行いたしました。

株主価値向上に向けては、自己資本比率も意識し、優先株償還を含めた総還元性向50%超という株主を重視した安定的配当の維持を旨としています。一方で、地域経済への強い思いを持って経営にあたっており、リスクテイクに必要な資本の充実にも努めております。

ESG地域金融の実践

昨今、地球温暖化による気候変動やサプライチェーンにおける人権侵害等、様々な環境・社会問題がグローバルな規模で生じており、ファイナンスを通じてあらゆる産業の結節点となっている金融機関に期待される役割も極めて大きくなってきています。

当社グループは、2021年2月「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定を行い、気候関連財務情報の開示を推奨する「TCFD」提言への賛同を行いました。また、自社の排出量の削減にも取り組んでいくため、2030年度のCO₂排出量削減目標を46%としました。また、同時に「特定事業者等への投融資ポリシー」を制定し、地域金融機関として金融を通じたサステナビリティを推進していくことを明記しております。

さらに、北陸銀行、北海道銀行ともに環境省の主催するESG地域金融促進事業に採択され、気候関連における物理的リスクや移行リスクが地域に与える影響について研究、分析を行いました。2020年度は、この事業を通じて気候関連の

課題への対応が重要であることを認識しました。特に取引先へのヒアリングを通じ、ほとんどの企業において課題認識はあるが、どう取り組んでいいかわからず対応に苦慮していることが明らかとなりました。取引先の気候変動への課題解決に向け、第1に取引先自身が現状の課題を具体的に認識すること、第2に外部環境を織り込んだ事業性評価により明らかとなった課題解決のためのソリューションとファイナンス支援が必要です。ソリューションについては、求められる幅の広さからも当社グループだけで提供できるものではなく、技術力やノウハウのある地域内外の企業、自治体、他行等とのネットワークを構築していくことが重要であると考えています。現在、地域の企業が抱える気候変動の課題解決をサポートできる体制構築に取り組んでおります。

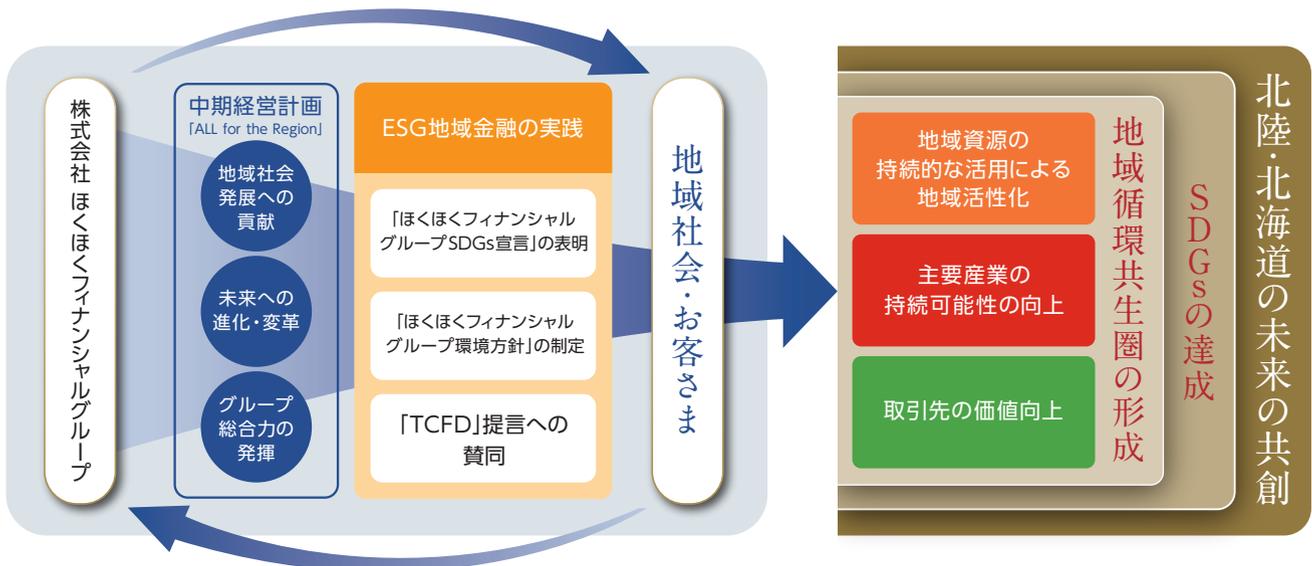
このような取り組みを通じてほくほくフィナンシャルグループとして最適な「ESG地域金融」の在り方を構築し、実践していくことでビジョンを実現してまいりたいと考えております。

最後に

繰り返しになりますが、現在、われわれは多様な課題に直面し、大変厳しい業務環境に置かれています。私は、これらの戦略を着実に実践していけば、必ず、北陸・北海道の明るい未来を地域社会やお客さまとともに切り拓くこと

ができると信じています。私自身が先頭に立ち、当社グループの全役職員一同全力で取り組んでまいります。

是非とも皆さまには、引き続きご支援ならびにご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



ほくほくフィナンシャルグループの価値創造プロセス

お客さまと地域社会の課題に応えるサービス提供により、共通価値を創造する

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



経営

地域共栄

公正

活用する資本

財務資本

地銀No.5の資産規模

製造資本

海外を含む広域店舗網と
デジタル機能を活用した
金融インフラ

人的資本

強固で多彩な人材

知的資本

地銀トップクラスのノウハウ

社会・関係資本

厚い地域シェアと
広域ネットワーク

自然資本

北海道・北陸の豊かな自然

地域の持続可能性を
巡る課題

- 気候変動を中心とした地球環境の変化
- 水害・地震等の災害による地域インフラ破壊と老朽化
- 生態系の変化による地域産業への悪影響
- 将来の地域経済をリードする人財不足
- 新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済の停滞

お客さまの
課題

- 資産形成の複雑化
- 次世代への資産継承
- 成長戦略策定の高度化
- 事業承継問題
- AI・IoTへの対応人材の不足

地域社会の
課題

- 少子高齢化
- 人口減少
- 都市部一極集中
- ESG・SDGsの課題

金融機関の
課題

- 超低金利の長期化
- 異業種からの参入
- 公的金融機関等の業務拡大

サステナビリティ・
地域に根差す安定した財務基盤の継続、

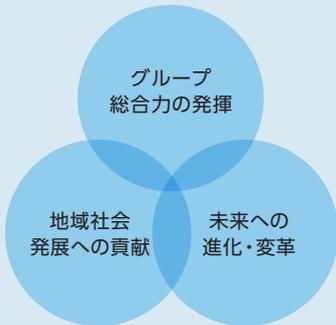
理念

堅実

進取創造

中期経営計画

[ALL for the Region]



ESG地域金融の実践

- ・「ほくほくフィナンシャルグループ SDGs宣言」の表明
- ・「ほくほくフィナンシャルグループ 環境方針」の制定
- ・「TCFD」提言への賛同

各ステークホルダーへ提供する価値

株主

- ・株主還元の充実
- ・中長期的な株主価値の創造
- ・透明性の高い情報開示

地域社会

- ・地域活性化
- ・責任ある投融資の推進
- ・金融リテラシーの向上
- ・環境負荷低減
- ・循環型社会の実現

お客さま

- ・金融資産の活性化
- ・円滑な事業、資産の承継
- ・事業成長支援
- ・地域中核産業支援
- ・利便性の高い充実したサービスの提供

従業員

- ・働きがいのある職場
- ・ダイバーシティ推進
- ・ワーク・ライフ・バランス推進

持続的に発展する地域の実現とグループの持続的成長

ガバナンス

強固なガバナンス、強靱な経営体制

ESG・SDGsを踏まえたCSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、「ESG・SDGsを踏まえたCSR活動」にかかわる対応方針・取組状況を社内取締役により構成される経営会議にて裁可し、それを踏まえ取締役会に報告することとしております。なお、具体的には、FG経営企画部および両行経営企画部が中心となって、グループ各社および各部と組織横断的に取り組んでおります。

経営理念	重点テーマ	
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 ESGやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する	 
	再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める	 
	地域における金融リテラシーの向上 金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する	 
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築 ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する	 
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める	  
	生産性向上に繋がる職場づくり	
	多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む	 

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability(持続可能性)の向上を目指してまいります。



各種施策	2021年度目標	2020年度の実績						
持続可能な地域社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ESG・SDGs関連投資の推進 法人向けコンサルティング業務の拡大と深度強化 創業支援、経営者支援のためのセミナー開催 地方創生ファンドの活用 広域店舗網を活用したビジネスマッチングの活性化 自治体を含む各種団体との連携強化 ICT・省カインフラ活用による環境負荷低減 	ESG・SDGs関連投融资件数 500件 (年度目標) 事業性評価に基づく融資先数 9,800先 (2019年度からの累計目標) 法人ソリューション成約件数 2,400件 (年度目標)	<table border="1"> <tr> <td>ESG・SDGs関連投融资件数</td> <td>383件</td> </tr> <tr> <td>事業性評価に基づく融資先数</td> <td>8,848先</td> </tr> <tr> <td>法人ソリューション成約件数</td> <td>4,406件</td> </tr> </table>	ESG・SDGs関連投融资件数	383件	事業性評価に基づく融資先数	8,848先	法人ソリューション成約件数	4,406件
ESG・SDGs関連投融资件数	383件							
事業性評価に基づく融資先数	8,848先							
法人ソリューション成約件数	4,406件							
地域における金融リテラシーの向上 <ul style="list-style-type: none"> 金融経済教育の推進 積立投信やNISA、iDeCo推進による資産形成支援 各種社内資格制度による人財の育成 経営者向けセミナーの実施 	金融経済教育受講者数 8千人 (年度目標) 信託取扱件数 450件 (年度目標)	<table border="1"> <tr> <td>金融経済教育受講者数</td> <td>4,605人</td> </tr> <tr> <td>信託取扱件数</td> <td>548件</td> </tr> </table>	金融経済教育受講者数	4,605人	信託取扱件数	548件		
金融経済教育受講者数	4,605人							
信託取扱件数	548件							
健全で強靱な経営基盤の構築 <ul style="list-style-type: none"> 監査等委員会、コーポレート・ガバナンス委員会の機能発揮によるガバナンス強化 コンプライアンスプログラムの策定と実践 統合報告書作成による充実した情報提供 	取締役会における社外役員比率 1/3以上 (2022年6月株主総会后)	<table border="1"> <tr> <td>社外役員比率</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>社外役員数</td> <td>3名 (11名中)</td> </tr> </table>	社外役員比率	27.2%	社外役員数	3名 (11名中)		
社外役員比率	27.2%							
社外役員数	3名 (11名中)							
すべてのお客さまにとっての利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> 「ほくほくPay」等電子決済の推進 Web完結型商品の充実化 各種アプリ機能の強化 様々な営業形態の店舗の設置 	スマホアプリ契約先数 375千先 (2019年度からの累計目標) Web口座保有先数 75千先 (2019年度からの累計目標)	<table border="1"> <tr> <td>スマホアプリ契約先数</td> <td>299,866先</td> </tr> <tr> <td>Web口座保有先数</td> <td>37,234先</td> </tr> </table>	スマホアプリ契約先数	299,866先	Web口座保有先数	37,234先		
スマホアプリ契約先数	299,866先							
Web口座保有先数	37,234先							
生産性向上に繋がる職場づくり <ul style="list-style-type: none"> 資格取得に向けた集合セミナーの実施 階層別、コース別研修プログラムの見直し 女性のキャリアアップ支援の拡充 健康、育児への支援制度の拡充と利用促進 	男性行員の育児休暇取得率 100% (年度目標) 女性経営職・管理職総数 150人 (年度目標)	<table border="1"> <tr> <td>男性行員の育児休暇取得率</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>女性経営職・管理職総数</td> <td>169人</td> </tr> </table>	男性行員の育児休暇取得率	91.8%	女性経営職・管理職総数	169人		
男性行員の育児休暇取得率	91.8%							
女性経営職・管理職総数	169人							

気候変動への対応

カーボンニュートラルを 目指して。

ほくほくフィナンシャルグループは、
世界が目指す「脱炭素社会」の実現に向けて、
地域金融機関として求められる役割・使命を認識し、
北陸・北海道における「気候変動対応」の
メインプレーヤーとして
積極的に取り組んでまいります。



ほくほくフィナンシャルグループは、経営理念のひとつである「地域共栄」の実現に向け、営業活動を含む自らの

1. 環境保全に関する法規等を遵守します。
2. 金融商品やサービスの提供を通じて、環境問題に取り組むお客さまへの支援を積極的に行います。
3. 企業活動全般において、省資源、省エネルギー、リサイクル活動を推進し、環境負荷の低減に努めます。

「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定および「TCFD」提言への賛同

当社グループは、2019年4月に「ほくほくフィナンシャルグループ SDGs宣言」を公表しました。さらに2021年2月に「ほくほくFG環境方針」を制定し、「TCFD」提言への賛同を表明しました。また、グループの北陸銀行、北海道銀行は、環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関に採択され、地球温暖化が地域に与える影響について考察を進めております。加えて、CO₂排出量削減と地域の環境施策推進に貢献するため、両行では再生可能エネルギーを活用するグリーン電力の購入も実施し、今後水素自動車の導入も予定しております。

今後も、当社グループ一体となり、地域経済および地域社会の持続的な発展へ貢献してまいります。



TCFDへの対応

■ ガバナンス

当社グループは、気候変動への対応を含むSDGs/ESG課題への取り組みについて活動状況を経営会議および取締役会に定期的に報告しております。また、逐次必要に応じ気候変動への対応方針および重要事項を経営会議にて審議するとともに、必要に応じて取締役会に報告し、取締役会の監督が適切に図られる体制を整備しております。

今後、「気候変動リスク」が銀行経営に与える影響を、経営に反映させていくため、定量面・定性面におけるリスクや機会の影響度などの分析を進め、経営会議および取締役会への定期的な報告実施などを検討してまいります。

■ 戦略

当社グループは、「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」表明とともに制定した「CSR活動における取り組み重点テーマ」において「持続可能な地域社会の実現」に向けた気候変動への対応をマテリアリティの一つとして特定しております。今後、時間的範囲も踏まえた当社グループの経営におけるリスクと機会の影響および様々な気候関連シナリオに基づく分析の実施について検討してまいります。

なお、当社グループにおける炭素関連資産(電気、エネルギー等)の貸出金*に占める割合は1.31%です。

*エネルギーセクターおよびユーティリティセクター向け貸出金。ただし、水道事業、再生可能エネルギー発電事業を除く。(北陸銀行および北海道銀行2行合算)

リスクと機会

移行リスク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動に関連する政策・規制の強化や技術革新等、与信先の事業や財務状況にネガティブな影響を及ぼすことにより、当社グループの与信関係費用の増加
物理的リスク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 台風、豪雨、洪水などの異常気象によって、担保資産の価値が損なわれ、当社グループの与信関係費用の増加
機会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低炭素化・脱炭素化に向けた設備投資等により、企業の資金需要増加 ■ 気候変動に対する社会的関心の高まりにより、金融サービスの提供機会が増加 ■ 省資源・省エネルギー化による事業コストの低下

ESG地域金融の実践

企業活動において環境への配慮に努めてまいります。

4. 企業活動が環境に与える影響を定期的に検証するとともに、積極的な情報開示に努めます。
5. 地域社会と積極的に連携し、環境保全活動を推進します。
6. 本方針は、グループ内の全役職員に周知するとともに、対外的にも公表します。

■ リスク管理

リスク管理体制

当社グループは、気候変動に起因する移行リスクおよび物理的リスクが、当社グループの事業運営、戦略、財務計画に影響を与えることを認識しております。今後、当該リスクに係る影響を把握・分析するとともに、当該リスクの識別、評価を行うため統合的リスク管理の枠組みにおける管理態勢の構築を検討してまいります。

融資対応方針

当社グループは、特定事業等にかかる投融資ポリシーを下記のとおり定め、顧客とのエンゲージメントをより強化してまいります。

特定事業等にかかる投融資ポリシー

当社グループは、経営理念のもと地域経済、地域社会の持続可能性の向上を実現していくため、環境・社会にポジティブな影響を与えると考えられる企業や事業に対して、積極的に支援してまいります。一方、特定事業等への投融資については、以下のポリシーを定め、適切に対応していくことで、環境・社会にネガティブな影響の低減・回避に努めていきます。

1. 石炭火力発電事業

新設の石炭火力発電所向けの投融資は、原則として行いません。ただし、例外的に取り組みを検討する場合は、国際的なガイドライン等を参考に、発電効率性能や環境への影響等の個別案件ごとの背景や特性等も総合的に勘案したうえで慎重に対応します。

2. 兵器製造事業

核兵器・化学兵器・生物兵器等の大量破壊兵器や対人地雷・クラスター弾等の非人道的な兵器の開発・製造に関与する先に対しては、資金用途を問わず、投融資は行いません。

3. パーム油農園開発事業

パーム油農園開発への投融資を検討する場合は、環境・社会に配慮して生産されたパーム油に与えられる認証等の取得状況や環境・生物多様性の保全に対する配慮状況等に十分注意のうえ、慎重に対応します。

4. 森林伐採事業

森林伐採事業への投融資を検討する場合は、国際的に認められている認証等の取得状況や環境に対する配慮状況、地域社会とのトラブルの発生状況等に十分注意のうえ、慎重に対応します。

5. 人権侵害・強制労働等

「人身売買等の人権侵害への加担」や「児童労働や強制労働」への直接的または間接的な関与が認められる先に対しては、投融資は行いません。

TOPICS

グリーン電力の購入

北陸銀行は、富山県と北陸電力株式会社がCO₂排出量の削減に取り組む企業向けに創設した電気料金メニュー「とやま水の郷でんき」を第一号の契約企業として導入しました。本メニューの導入を通じ、富山県の水力発電所を守っていくことへの貢献とエネルギーの地産地消を通じたCO₂排出量の削減を推進してまいります。北海道銀行においても、北海道電力株式会社が販売する電気メニュー「カーボンプラン」を導入しております。



■ 指標と目標

当社グループでは、持続可能な地域社会の実現が地域金融機関である当社グループの持続的な発展に寄与するものと考えております。その実現のためには「本業である金融を通じた商品やサービスの開発・提供による、環境問題に取り組むお客さまへの支援」と「自らのオフィスにおける省資源、省エネルギー、廃棄物のリサイクル推進をはじめとする環境負荷低減」の2つ側面から気候変動へ対応が必要であり、下記の目標を設定しております。

目標

- ① ESG・SDGs関連投融資件数2021年度**500件**以上
- ② 北陸銀行および北海道銀行の国内事業所におけるCO₂排出量(基礎)の削減目標: 2030年度に2013年度比**46%削減**

モニタリング指標

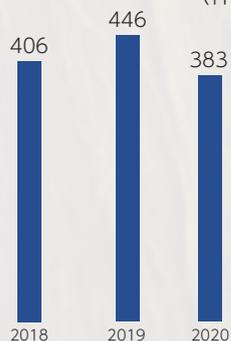
- ① ESG・SDGs・CSR私募債、環境評価証明書関連融資、ローン等年度(延べ)累計実行件数
- ② 北陸銀行および北海道銀行のScope1(直接)・Scope2(間接)のCO₂排出量*

*地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく報告をベースに算出

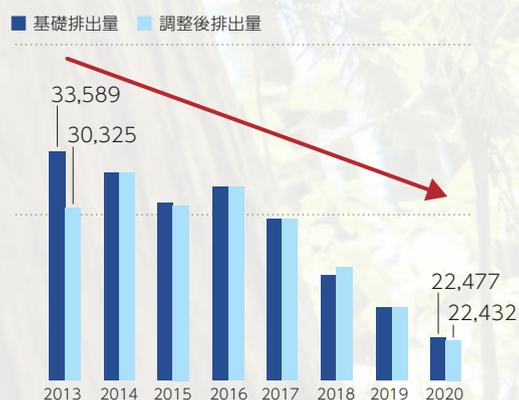
実績

- ① 2020年度実績**383件**
- ② 2020年度温室効果排出量の削減実績は、2013年度比**33%削減**

・ ESG・SDGs関連
投融資件数推移(年度)
(件)



・ 温室効果ガス排出量推移(年度)(t-CO₂)



水素自動車の導入

北陸銀行は、トヨタ自動車の新型燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」を導入いたします。これまでも営業用車両として、ハイブリッド車などを導入してきましたが、二酸化炭素を排出しない「MIRAI」の導入により、さらなるCO₂排出量削減、環境負荷の低減の取り組みを進めてまいります。



サステナビリティに向けた取り組み

「ESG地域金融」による 新たな付加価値の創出

ほくほくフィナンシャルグループは、
現在取り組んでいる中期経営計画を着実に実行し、
10年時間軸の「ESG地域金融」を推進することで、
新たなビジネスチャンスの発掘や魅力ある地域づくりに貢献し、
新たな付加価値を創出してまいります。

北陸・北海道の2030年の課題

北 陸	北 海 道
総人口が27万人(9%)超減少する(2015年比)	総人口が59万人(10%)超減少する(2015年比)
65歳以上が、総人口の33%以上になる	65歳以上が、総人口の36%以上になる
温暖化により北陸のコメの収穫量減少	道内における販売農家の高齢者比率が約4割になる
	全道平均気温が1.6℃上昇

出典：内閣府「2030年展望と改革タスクフォース報告書」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、農林水産省「2015年農林業センサス」/北海道立総合研究機構

将来的リスクと創出される機会

分野	課題	リスク		機会	
		地域において	当社グループにおいて	地域において	当社グループにおいて
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 少子高齢化・人口減少・都市部一極集中 ■ 資産形成の複雑化 ■ 次世代への資産継承 ■ 水害、地震等の災害による地域インフラの破壊と老朽化 ■ 未知の病原体の蔓延による様々な活動の停滞 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活環境の悪化 ■ 人口の流出加速 ■ 資金の域外流出 ■ 空き家の増加 ■ 犯罪の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人のお客さまの減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療・介護をはじめとするIoT、AIの活用 ■ 街なか活性化に向けた空き家活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ インフラ整備における資金需要 ■ 地域のキャッシュレス化推進 ■ 資産継承支援 ■ BCP対応に向けたコンサル強化
地域経済	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業承継問題 ■ 成長戦略策定の高度化 ■ デジタルイノベーションへの対応人材不足 ■ 将来の地域経済をリードする人材不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域経済の縮小 ■ 伝統産業の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人のお客さまの減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな経済圏形成 ■ 観光や産業誘致等新たな産業形成 ■ ジェンダーレスの人財活用 ■ 再生可能エネルギー事業需要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業承継支援 ■ 伝統産業支援 ■ 観光産業支援 ■ イノベーション支援 ■ 次世代を担う人財育成 ■ 再生可能エネルギー事業における資金需要
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動を中心とした地球環境の変化 ■ 生態系変化による地域産業への悪影響 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農作物の不良 ■ 病害虫増加 ■ 漁獲の不良 ■ 海洋環境の悪化 ■ 水資源不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ お客さまの業況の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農作物の作付種類改革 ■ 一次産業への先端技術の活用 ■ 海洋汚染・水質改善のためのイノベーション 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一次産業へのコンサルティング支援 ■ 環境インフラ整備、環境改善対策における資金需要

中期経営計画 ALL for the Region

ほくほくFG SDGs宣言

ほくほくFG 環境方針

「ESG地域金融」によるソリューション。金融サービスの力で地域の課題を新たな収益機会に

環境省「ESG地域金融促進事業」への参加

北陸銀行および北海道銀行が、環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択



採択テーマ

気候変動関連に対する地域金融機関としての顧客への支援体制の確立

移行リスクへの取組み



採択テーマ

気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実践について

物理的リスクへの取組み

「ESG地域金融」の実践

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行および北海道銀行は、環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択されました。

当社グループは、気候変動が北陸・北海道に与える影響を考察することを通じて、地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。



採択テーマ

気候変動関連に対する地域金融機関としての顧客への支援体制の確立

概要

- 地域への影響度および当行のポートフォリオの観点から気候変動関連における重点分野を特定した上で、重点分野に対する地域金融機関としての支援策・対応策の検討および今後の関連業務(事業性評価およびコンサルティング支援等)への展開を模索

実践の流れ	ポイント
主要産業の特定	<ul style="list-style-type: none">■ バリューチェーン・地域他産業への影響も加味した特定産業の特定 脱・低炭素社会への移行にあたっての政策や技術変化等の一般的なシナリオを踏まえ、想定される将来の変化を把握した上で、特定の指標を用いて、地域/当行にとっての重要分野を特定
影響分析(仮説構築)	<ul style="list-style-type: none">■ リスク・機会となる事項を整理し、特に対応が必要なセグメントを把握 アルミ産業全体の方向性を把握するために用途別に将来動向を整理し、それぞれの影響把握および各企業におけるリスク・機会の把握に向けて、業種別・用途別に分類し、評価
ヒアリング・支援の検討	<ul style="list-style-type: none">■ バリューチェーンを意識し、地域の中核企業をはじめ、対象を選定 先進事例等を調査するとともに、顧客へのヒアリングも実施。その結果の整理も行い、金融機関として課題、機会を踏まえた顧客との対話ツール(事業性評価につながる)やソリューションメニュー等の検討を進める

想定されるインパクト

環境	アルミ産業の脱炭素化、およびアルミ材を用いた最終製品のバリューチェーンを通じた脱炭素化に貢献
社会・経済	アルミ産業の、移行リスクに対するレジリエンス向上・脱炭素化に向けた競争力向上

北陸・北海道が抱える
課題に向き合う



解決に向けて検討し、
実践していく



採択テーマ

気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実践について

概要

- 水産資源の減少による水産業の窮状を背景に、水産業に対し地域金融機関として可能な支援策を検討
- 水産業の中でも特に取引先の多い水産加工業に注目しつつも、地域経済や水産業全体の維持・発展を目的に、道内のステークホルダーと連携しつつ、施策を検討

実践の流れ	ポイント
影響分析 (仮説構築)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コア課題の世界的な動向の把握 / 将来動向の把握に向けた詳細な現状分析の実施 漁獲量減少の実態や水産業の課題について調査。主要魚種(サケマス、サンマ、イカなど)が獲れなくなる一方で、ブリやイワシなどの漁獲量が増えている実態を把握 ■ 自機関だけで全てを実施できると考えず、必要に応じてステークホルダーと連携 水産業の課題や取組、魚種変化の見通し等について、有識者へのヒアリングや道庁との意見交換を実施
ヒアリング (仮説検証)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検証すべき仮説を設定 / 事業者の意見を参考にしつつも、地域金融機関としての意見を持つ ・水産業のうち、特に北海道銀行の取引先に多い水産加工業者を対象として、ヒアリングを実施 ・既存の主要魚種からブリ・イワシなど新規魚種への転換が課題だが、漁獲量の見通しの不安定性、補助金制度の不足、道内のニーズの低さ等で投資に踏み切れない状態
支援の検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取引先だけでなく、地域産業全体を対象とした支援策・対応策の検討 地域社会との連携強化・銀行のネットワークを活用した総合的な支援を通じ、付加価値の高い水産業バリューチェーンを構築し、北海道ブランドの維持、向上を図る

想定されるインパクト

環境	海洋環境や水産資源の維持・保全につながる可能性
社会・経済	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道水産業全体の付加価値向上 ・漁獲量変化に対する、地域水産業全体のレジリエンス強化

地域に正の
インパクトを与える

持続可能な
地域社会の実現を目指す

北陸・北海道とともに

ほくほくフィナンシャルグループは「地域共栄」の実現に向け、
我々の事業基盤である北陸・北海道の地域社会の持続可能性を高めると同時に
共通価値を創造してまいります。

ESG投融资の拡大



北陸銀行は、ESGの視点を組み込んだ投資信託「グローバルESGバランスファンド」の取り扱いをインターネット扱専用商品として開始しました。

目指す
ゴール



- 運用商品等を通じたお客さまの地域への貢献の推進



北海道銀行は、北海道農産物の流通事業を行う株式会社HAL GREENへの出資および代表者派遣を行い、経営を支援しております。

目指す
ゴール



- 北海道農業の発展への貢献

企業や自治体との連携



北海道銀行のコーディネートにより、株式会社とかち河田ファームの規格外農産物を帯広市のおびひろ動物園に継続的に提供することが実現しました。

目指す
ゴール

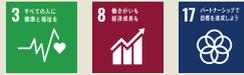


- 農産物の廃棄の低減
- 動物園の飼料費の費用低減



北陸銀行は、明治安田生命保険相互会社と、地方創生に関する連携協定を締結しました。

目指す
ゴール



- 相互のネットワークおよびノウハウの活用による地方創生



北海道銀行は、北海道ガス株式会社および株式会社常口アトムとの間で連携協定を締結しました。

目指す
ゴール



- 住宅賃貸事業における新たな市場の形成と成長
- CO₂削減やサステナブルな省エネルギー推進
- 自然災害に対する住環境のレジリエンス強化



北海道銀行は、月形町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結し、月形町と株式会社三友システムアプレイザルとの間で展開される「空き家調査員育成プロジェクト」事業をコーディネートしました。

目指す
ゴール



- 移住・定住の促進および空き家対策に関する事業による地域活力の増進

金融リテラシーの向上



北陸銀行では、第15回「エコノミクス甲子園」富山大会、福井大会の運営を、北海道銀行では、同北海道大会の運営を行いました。2020年は、コロナ禍に配慮し、初めてオンラインで開催しました。

目指す
ゴール



- 高校生の金融・経済に関する知識習得、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけづくり

中期経営計画「ALL for the Region」

中期経営計画(2019年4月～2022年3月)の概要

当社グループのプライムエリアである北陸と北海道では、全国的な傾向である少子高齢化や都市部への人口流出の動きから、将来的な経済規模の縮小も懸念される状況にあります。また、ESG、SDGsといった地域社会の持続的成長に向けた課題への対応も求められております。

金融業界においては、金融緩和政策による超低金利環境の継続、デジタル金融サービスを提供する他業態との競合の激化、政府が目標とするキャッシュレス決済比率の引き上げを見据えた電子マネー・モバイル決済サービスの急増など環境が激変する中、伝統的な銀行のビジネスモデルだけでの生き残りは難しくなっています。

これらの課題の解決を目指し、2019年4月より中期経営計画「ALL fo the Region」をスタートさせております。

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



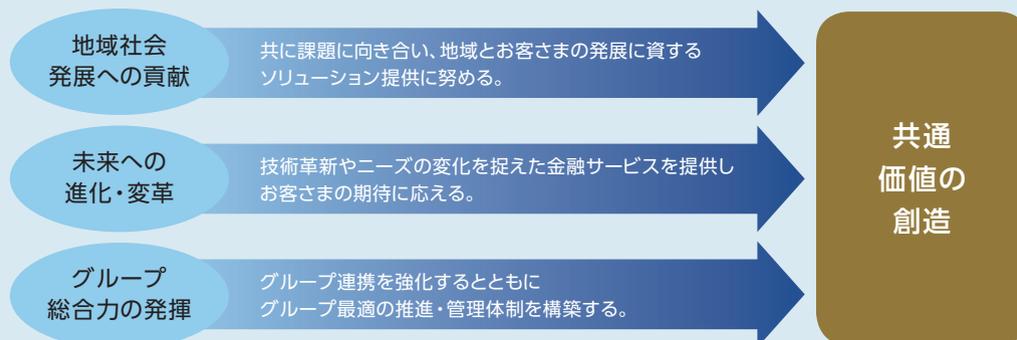
中期経営計画

ALL for the Region

位置付け

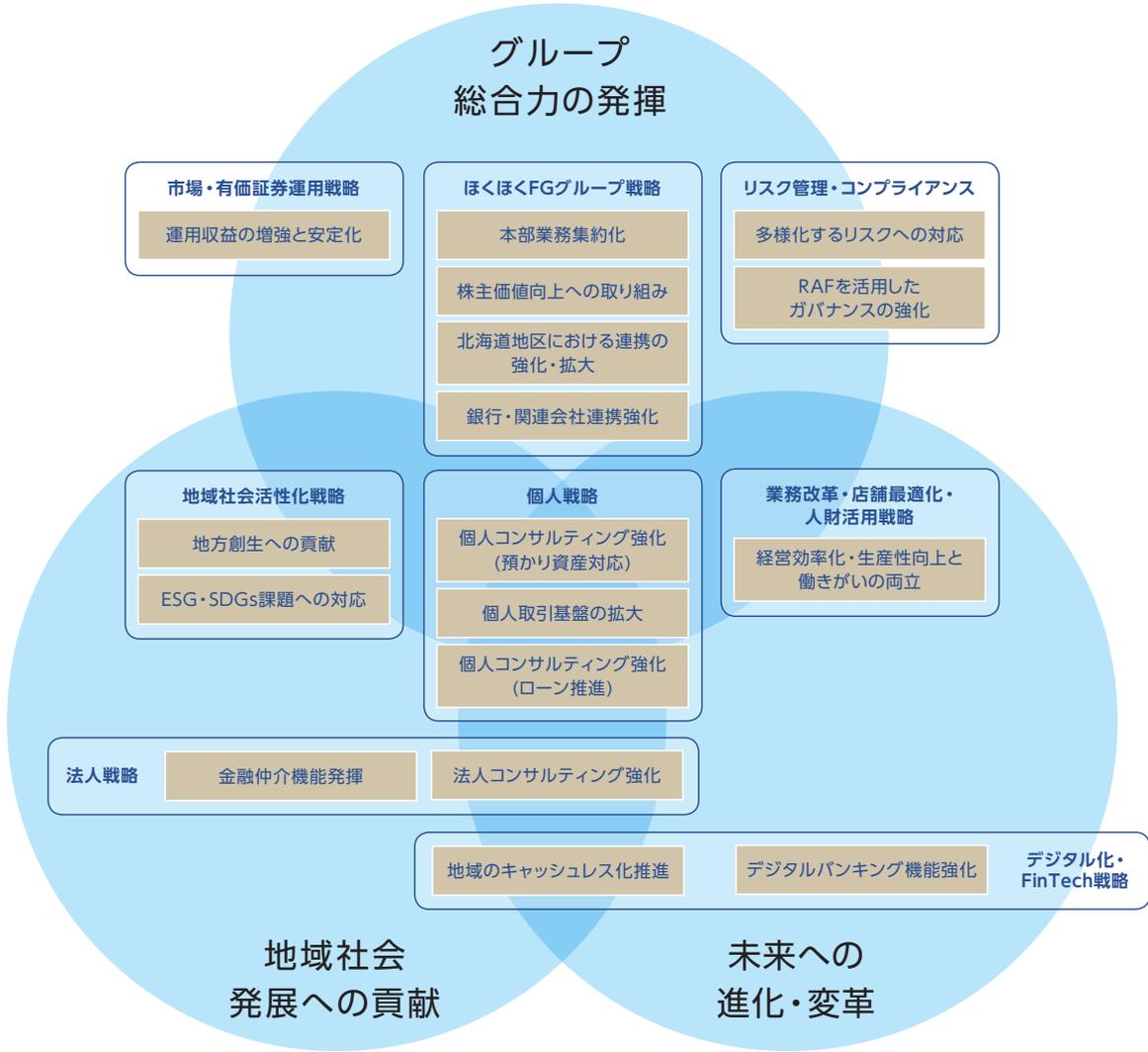
当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針



中期経営計画の基本方針と各重点戦略の位置づけ

前回の中期経営計画「Best for the Region」(2016年4月～2019年3月)では、「営業力の強化～お客さまの期待を上回る提案力・サービス力～」、「経営の効率化～競争を勝ち抜ける機能的な組織～」、「経営基盤の強靱化～地域から信頼される安定した財務基盤～」の実現に向けた重点施策に取り組み、一定の成果を上げることができました。一方で今回の中期経営計画に持ち越した課題も多くあります。残された課題を解決し、当社グループの持続的成長を達成していくために、下図の通り中期経営計画の各重点戦略を組み立てております。



中期経営計画の重点指標 2021年度(最終)

本業利益(2行合算)* 220 億円 以上	当期純利益(連結) 220 億円 以上	自己資本比率(連結) 8% 台 維持	OHR(2行合算) 60% 台 維持
------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

2020年度実績

196 億円 (前期比+27億円)	213 億円 (前期比+10億円)	9.45% (前期比+0.51ポイント)	68.19% (前期比△1.08ポイント)
-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------------------

中期経営計画「ALL for the Region」

基本方針に基づく各戦略区分における重点施策および進捗状況

短期的には、利回り低下による貸出金利息の減少、円債の大量償還による有価証券収益減少といった収益の減少を補う施策が必要となっております。また、長期的には、持続可能なビジネスモデルの構築に向けた基礎を作る施策が必要となっております。これらを踏まえて当社グループは各種施策に取り組んでおります。

法人戦略



■ 金融仲介機能発揮

- ・地区(プライムエリア)別・顧客セグメント(ビジネスステージ・取引内容等)別戦略に基づく推進体制を整備する
- ・事業性評価に基づく融資戦略を展開し、ミドルリスクへの対応を強化する

■ 法人コンサルティング強化

- ・ビジネスステージに応じたコンサルティング提案を推進するソリューションのメニューを拡充する
- ・外為業務におけるコンサルティング、ファイナンスの拡大により国際業務を推進する

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
プライムエリア 貸出金残高(億円)※	51,597	52,541	57,098
事業性評価に基 づく融資先数(先)	6,219	7,372	8,848

※プライムエリア(北陸+北海道)における事業性貸出+住宅ローン

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
法人ソリューション 収益(億円)※	30	36	32
外為関連収益(億円)	16	17	14

※法人ソリューション…ビジネスマッチング、私募債、シンジケートローン、M&A、事業承継

個人戦略



■ 個人コンサルティング強化(預かり資産対応)

■ 個人取引基盤の拡大

- ・ライフステージや対面・非対面チャネルに応じた商品を拡充し、資産形成の支援と富裕者層への対応を強化する

■ 個人コンサルティング強化(ローン推進)

- ・推進拠点の最適化とライフステージや対面・非対面チャネルに応じた商品の拡充により、様々な資金ニーズに対応する

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
住宅ローン 期末残高(億円)	20,824	22,105	23,913

デジタル化・FinTech戦略



■ デジタルバンキング機能強化

- ・スマホアプリ等非対面チャネルの機能を強化し、デジタルバンキング化を推進する
- ・お客さまにとっての利便性向上(印鑑レス・ペーパーレス・キャッシュカードレス)を推進する

■ 地域のキャッシュレス化推進

- ・地域のキャッシュレス化を推進するためインフラ(プリペイ・リアルペイ・ポストペイ基盤)の構築に取り組む

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
個人IB契約先数(先)	83,019	93,008	117,275

*3か月に1度以上ログインした先

地域社会活性化戦略



■ 地方創生への貢献

■ ESG・SDGs課題への対応

- ・地方公共団体・地域企業・教育機関との連携により、地域経済の活性化を図る
- ・ESG・SDGsを踏まえたCSR活動により、地域経済・地域社会の持続的な発展を目指す

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
ESG・SDGs関連 投融資件数(件)	406	446	383

市場・有価証券運用戦略

■ 運用収益の増強と安定化

- ・運用対象の多様化による分散投資をベースとした運用によりベース収益の引き上げを図る
- ・戦略的・機動的な運用実践によりフローの収益を確保する
- ・総合損益を重視した管理体制の確立と相場急変時の対応力強化によりリスクコントロール体制を整備する

リスク管理・コンプライアンス



■ RAFを活用したガバナンスの強化

- ・RAFを活用した経営戦略の策定とリスク管理体制の強化

■ 多様化するリスクへの対応

- ・職員教育を通して適切なリスクテイク姿勢・法令違反等根絶に向けたリスクカルチャーを醸成する
- ・各種シミュレーション・ストレステストの充実により環境変化に即応するリスク管理体制を強化する

業務改革・店舗最適化・人財活用戦略



■ 経営効率化・生産性向上と働きがいの両立

- ・限られた経営資源の中でベストパフォーマンスを上げるため、業務スリム化、本部集中化・アウトソース促進、遠隔対応による合理化を推進する
- ・ICT活用(デジタル化、RPA、ペーパーレス)による業務の効率化を推進する
- ・適正人員に基づく人財配置の最適化と機動的な採用・出向施策による人件費の適正化を図る
- ・地域金融インフラを維持するため、各拠点の役割・機能の明確化による店舗体制の整備とATM運営の見直しを図る
- ・顧客対応力、専門性、マネジメント能力の向上に向けた人財育成を行う
- ・多様な人財が活躍できる職場環境を整備する

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
経費(億円)	865	853	823
うち物件費	384	385	367
うち人件費	419	405	392

ほくほくフィナンシャルグループグループ戦略

■ 北海道地区における連携の強化・拡大

- ・コンサルティング・金融サービスの共同活用、両行共通のビジネスマッチングシステムの導入等により営業推進力を強化する
- ・両行道内店舗の共同化(今後リニューアルする店舗の共同化)を進める
- ・本部機能・バックオフィスを含めた道内拠点の共同化を拡大する

■ 銀行・関連会社連携強化

- ・銀行・関連会社同士の連携により総合力で金融サービスを提供する

■ 本部業務集約化

- ・FGへの機能集約により更なるシナジー効果を追求する

■ 株主価値向上への取組(自己資本の充実・安定的な株主還元)

- ・安定的配当を維持しつつ利益の積み上げによりリスクテイクに必要な資本の充実を図る

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
北海道内 貸出金残高(億円)※	29,582	29,938	32,586

※事業性貸出+個人ローン

	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
関連会社 経常利益(億円)	19.1	32.1	35.4

ほくほくフィナンシャルグループの 新たなステージに向けて

本年6月にほくほくフィナンシャルグループ副社長および北海道銀行頭取に就任した私の使命は、「当社グループの新たなステージへの進化の実現」とその進化による「ステークホルダーの皆さまへの新たな価値の提供」だと考えております。

この実現に向け、特に重要であると考えている「ニューノーマルへの対応」「グループシナジー発揮への取り組み」「デジタル化への対応」「人財マネジメント」における当社グループの取り組みについてご説明いたします。

取締役副社長 兼間 祐二

(北海道銀行 頭取)



ニューノーマルへの対応について

2020年に入ってから新型コロナウイルス感染拡大の影響は、私たちの行動様式・価値観そのものに変化をもたらしました。これは働き方や人とのかかわり方に大きな影響を与え、我々地域金融機関にとってもこれまでの対面を前提とした取引慣行に大きな変化が求められています。

2020年度においては、政府系金融機関との連携による経営改善サポートや、デジタルツールやオンラインツールを

活用した非接触型のサービスメニューの充実など、ニューノーマルへの順応に向けた取り組みを強化してまいりました。

当社グループは、現中期経営計画「ALL for the Region」で目標とする「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化することこそ、ニューノーマルへの対応に最適な解であると捉え、スピード感を持った「進化」を進めてまいります。

グループシナジー発揮への取り組みについて

現中期経営計画「ALL for the Region」より当社グループは、グループ連携をこれまで以上に強化していくことを重点戦略とし注力してまいりました。

本部においては、2019年6月より両行経営企画部の人員が同一ロケーションで勤務するというこれまでにないチャレンジをスタートさせました。また、両行の営業連携を推進するため専任人員の配置も行いました。約2年が経過し、少しずつではありますが着実に様々な効果が表れてきております。今後は、これらの効果をさらにスピードアップさせるべく、2021年6月より「経営企画部」「営業戦略部」「リスク統括部」「監査部」に組織改編

を実施しております。

営業店においても「ほくほく連携」というネーミングのもと、両行の広域連携を活用した協調融資やビジネスマッチングなどのソリューションを提供していくことに注力しております。引き続き、この当社グループならではの連携ソリューションを強化することで、お客さまに新たな付加価値を提供してまいります。

また、証券会社やカード会社、リース会社など関連会社との連携も推進しています。今後、さらにグループとしての最適な形を目指し、総合金融グループとしての機能強化に取り組んでまいります。

デジタル化への対応について

我々ほくほくフィナンシャルグループは、もともと広域地銀グループであり、テレビ会議や、オンライン会議システムを搭載したタブレットパソコン、印鑑レスの稟議システムなど、他の金融機関に比べ比較的早くから行内インフラ環境を整備してまいりました。また、お客さまに向けてもスマートフォン向けアプリやインターネットバンキングなど多様なチャンネルをご提供しています。

2020年度においても、お取引先への情報提供や書類の電子交付などを可能とする「法人向け電子交付サービス」やタブレットを活用してお客さまの預かり物件受け渡しを行う「預かり物件管理システム」の導入、ホームページ

のリニューアルなど、お客さまの利便性向上と我々の業務効率化に繋がる仕組みづくりを進めてまいりました。

また、5行共同システムであるMEJARにおいても、2024年稼働予定の次世代渉外支援および融資審査システムの開発に着手しております。今は別々になっている各システムのデータを一元的に管理し、提案活動の量と質の向上につなげていくことなどを目指しております。

今後もFace to Faceのお客さまに寄り添った対面サービスとお客さまの利便性を追求したデジタル金融サービスを両立した最適なデジタル化を進めてまいります。

人財マネジメントについて

これらの取り組みを進めていくためには、若手や女性も含めたすべての従業員が生き生きとやりがいをもって働くことのできる「人財マネジメント」が最も重要であります。

当社グループは、健康経営、ダイバーシティ、働き方改革の推進に取り組み、人事制度等も適宜見直しを図ることで、

多様な人材が、柔軟な働き方をできるよう努めてまいりました。

金融インフラとして営業時間が決まっていること等に起因し、労働集約型産業の側面もありますが、デジタルツールの活用や発想の転換により、今後も様々な見直しに取り組み、持続可能性の高い組織を目指してまいります。

新たなステージに向けて



今年度は現中期経営計画「ALL for the Region」の最終年度となります。最終年度をしっかりと締めくくるとともに、新たなステージに向けた土台を作る1年にしたいと考えております。

そして新たなステージにおいては、我々の経営理念である「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」のもと、地域NO.1の金融サービスにより、お客さまや地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに新たな価値を提供できるよう、ほくほくフィナンシャルグループ副社長および北海道銀行頭取として取り組んでまいります。

ニューノーマル
への対応

グループシナジー
発揮への取り組み

デジタル化
への対応

人財
マネジメント

新たな
ステージへ

求められる新たな様式

ほくほくフィナンシャルグループは、ニューノーマル(ウィズコロナ・アフターコロナの社会情勢)に適応していくため、各種ツールを活用し、地域・社会・お客さまへの支援に取り組んでおります。



地域・社会への支援

■ 寄付金、募金

「<ほくぎん>寄贈型SDGs私募債」(北陸銀行)、「道銀SDGs私募債」(北海道銀行)*の寄付先を追加

富山県	富山県新型コロナウイルス対策応援基金	福井県	「心をひとつに ふくい応援」基金
石川県	医療従事者への支援として活用	北海道	「エールを北の医療へ!」

※「道銀SDGs私募債」の寄付先については、北海道「エールを北の医療へ!」のみ追加

北海道医療従事者応援募金口座を開設・受付(北海道銀行)

新型コロナウイルス感染症の治療・感染拡大防止活動に従事する医療関係者の方を支援



■ キャッシュレス化

ほくほくフィナンシャルグループは、紙幣や硬貨の使用機会を減らすことで、接触感染リスクを引き下げることに、また、キャッシュレス決済は会計スピードが速く、会計待ちの行列を防ぎ、ソーシャルディスタンスの確保につなげるため、地域のコロナ感染予防対策に有効である地域のキャッシュレス推進に努めております。



お客さまへの支援

■ 政府系金融機関との連携

「Be With(ビーウィズ)」、「Bright Signs(ブライツサイン)～明るい兆し～」を創設

～資本制劣後ローンによる協調融資を行うため、日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と連携～

北陸銀行および北海道銀行は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、一時的に財務状況が悪化する事業者が増加することが懸念されている中、本連携ユニットにより、協調融資による資金繰りの支援や、各機関から本業支援に関するソリューションの提供を行うことで、お客さまの経営改善をサポートしております。

・Be With ご利用イメージ



■ デジタルツールの活用

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの「生活様式の変化」にお応えするため、より便利にご利用いただける非対面サービスの向上に努めております。

- ・「個人向けインターネットバンキングサービス」のリニューアル(北陸銀行・北海道銀行)
- ・「個人向け口座開設アプリ」の導入およびリニューアル(北陸銀行、北海道銀行)
- ・「ほくぎんビジネスポータル」の導入(北陸銀行)
- ・「HBA(Hokuriku Big Advance)」のサービス開始(北陸銀行)

■ オンラインの活用

北陸銀行および北海道銀行は、これまで対面型で行ってきた各種セミナーを、オンラインやオンデマンド形式で実施しております。

北陸銀行	北海道銀行
<ul style="list-style-type: none">・ほくりく長城会緊急オンラインセミナー・投信オンラインセミナー・経営者のための勤怠システム活用セミナー・貿易保険入門&活用セミナー・ほくぎんビジパ倶楽部経営セミナー	<ul style="list-style-type: none">・介護事業者、ヘルスケア事業者向けセミナー・資産運用オンラインセミナー・新型コロナ対策オンラインセミナー・確定拠出年金オンライン投資教育セミナー・電子請求書・電子契約書オンラインセミナー



ほくほくFGの「総合力」

ほくほくフィナンシャルグループは、両子銀行におけるシナジー効果の追求に向けた機能的な組織体制の構築を進めることで収益力の強化とコストの削減を両立いたします。

また、主要な子会社である北陸銀行・北海道銀行を中心に各子会社とともに連携を図ることで、総合金融グループとしての金融サービスを提供しております。



「ほくほく連携」の深化

北陸銀行および北海道銀行は、ほくほくフィナンシャルグループの特色や、各行の強みを生かし、お客さまの課題解決に取り組んでおります。



ほくほくビジネスマッチングによるお客さまの課題解決

ほくほく連携を活かした円滑な資金ニーズへの対応

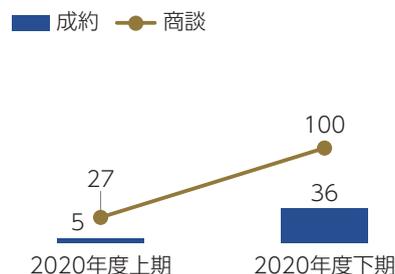
収益力の強化

コストの削減

■ ほくほくビジネスマッチングによるお客さまの課題解決

販路拡大(食品、商品、設備機器、ソフトウェア等)や新たな仕入先や外注先の確保、人材のご紹介やシステムを活用した生産性向上や営業力強化、経費削減等多岐にわたるお客さまの課題に対して、「ほくほくビジネスマッチング」の枠組みを通じて、北陸銀行とリンカーズ社が共同開発したビジネスマッチングシステムを2020年4月から北海道銀行も活用を開始し情報共有を積極的に両行で行い、各地域で課題解決が出来る可能性のある両行の取引先を検索し、ご紹介や商談についてサポートを行っております。

ビジネスマッチングの商談と成約件数



2020年度 ほくほくBMの成約事例

- ・北陸にある酒造メーカーや食品製造会社(地元銘菓や水産加工品等)の販路拡大ニーズに対し、北海道銀行の複数の取引先をご紹介
- ・北陸銀行取引先の販路拡大と北海道銀行取引先の新たな仕入れ先を確保

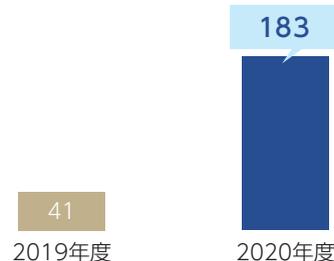


ほくほく連携を活かした円滑な資金ニーズへの対応

北陸銀行および北海道銀行の本部、営業店が参加する「ほくほく連携会議」を通じて、北海道内での対面による情報共有、リモートツールを活用した本州と北海道を結んだ情報共有を積極的に行い、お客さまの多様な資金調達ニーズへ、より迅速に対応すべく取り組んでおります。

拡大を続けているお客さまのM&Aニーズのうち、遠隔地の企業を子会社化するケースも増え、その子会社の資金ニーズに対しても両行の広域店舗網を生かし、対応が必要な地域に店舗を構えるグループ銀行がそのニーズへ対応出来る仕組みを構築しております。

連携による融資実行件数



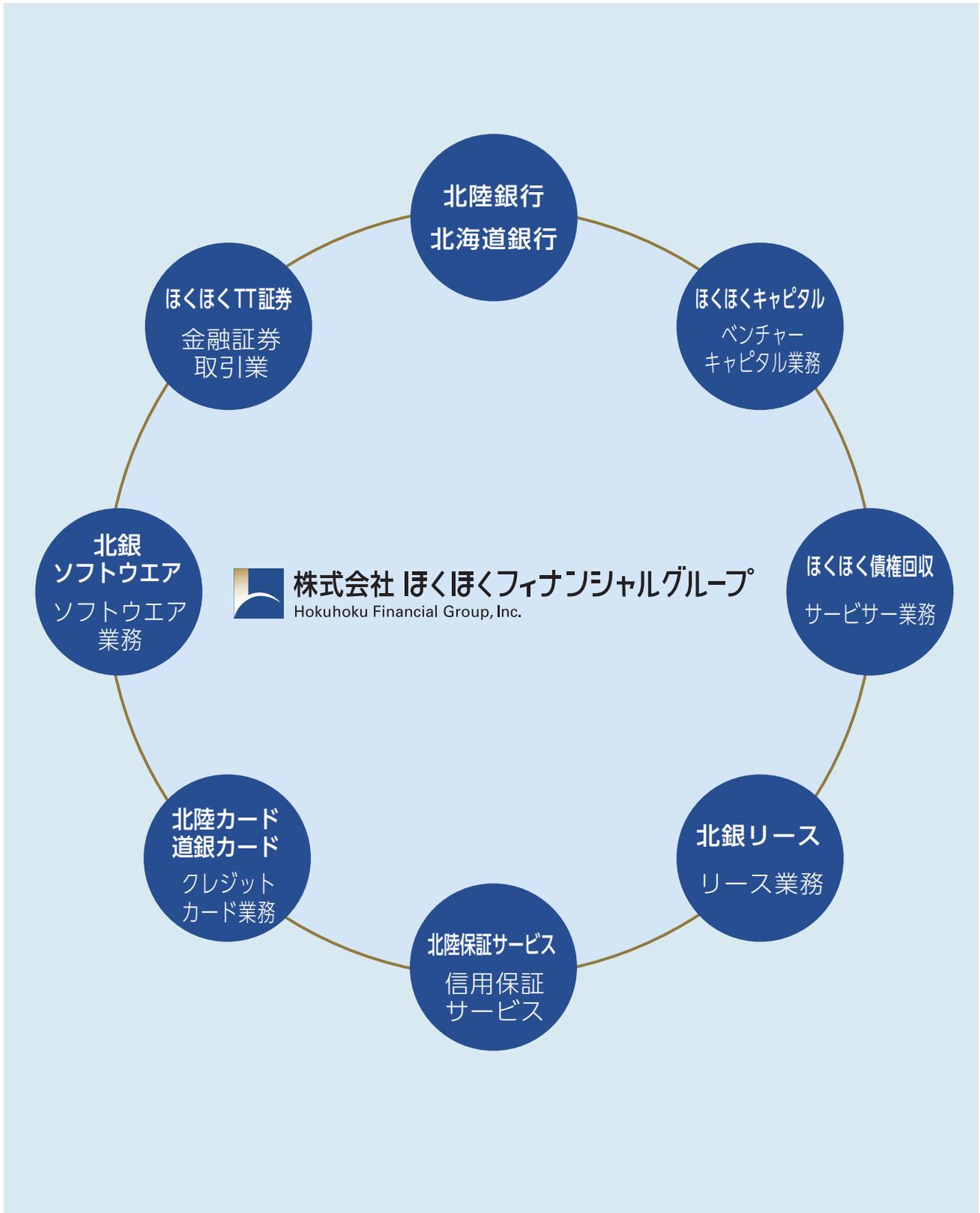
2020年度 ほくほく連携を活かした資金ニーズ対応の事例

- ・北陸銀行東京地区の取引先が北海道本社の企業を2社M&Aにてグループ化
- ・2社の資金調達ニーズに対し、1社は両行営業店にて協調融資、のこり1社は北陸銀行の店舗がない地域であったことから北海道銀行にて資金調達支援を実施



総合金融グループとして

幅広い資産運用ニーズへの対応、地域のキャッシュレス化推進、将来性のある地元ベンチャー企業への投資支援、デジタル活用支援、調達手段の多様化への対応など、グループ各社が連携を図ることで、様々なお客さまの課題解決に取り組んでまいります。





キャッシュレス化推進連携
銀行と連携し、グループで地域のキャッシュレス化推進に向け加盟店取引を拡大しております。



銀証連携による総合提案
銀行からの紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案を実施することで、お客さまの幅広いニーズにお応えしております。



TOPICS

関連会社における経常利益の増加

総合金融グループとしてグループ一丸となって取り組んできた結果、2020年度の銀行を除いた関連会社経常利益は、2018年度比+16億円、2019年度比+3億円の35億円と順調に増加しております。引き続きグループ各社の連携を強化することでグループ全体の収益の向上も実現してまいります。



営業拠点の拡充

ほくほくTT証券において道内3拠点目となる帯広支店を北海道銀行西五条支店内に2021年6月開設いたしました。ほくほくTT証券は、本店営業部、金沢支店、福井支店、札幌営業部、旭川支店を含む6拠点体制で引き続きお客さまに最適なソリューションを提供してまいります。



DXへの進化を目指して

ほくほくフィナンシャルグループは、激変する外部環境の変化を的確に捉え、Face to Faceのお客さまに寄り添った対面サービスとお客さまの利便性を追求したデジタル金融サービスの両立を目指し、様々な取り組みを実施しております。



スムーズでスマートなFace to Faceのサービスへ

ほくほくフィナンシャルグループは、お客さまにご来店いただく際や直接ご面談をさせていただくことが必要な際にもスムーズにお取引いただくことができるよう、デジタル化を進めております。

来店予約サービス

北陸銀行は、来店予約サービスをリニューアルし、スマートフォンやパソコンで空き状況をご確認いただき、即時にご予約完了できるようになりました。これにより、お客さまのスムーズなご来店が可能となり、より一層資産運用・ライフプラン等のご相談を承る機会を創出することができるようになっております。

住宅ローンの電子契約

北陸銀行および北海道銀行は、住宅ローンの電子契約サービスを開始しました。本サービスにより、紙の契約書における署名・押印と同等の法的効力のある電子署名が契約書に付与されます。これにより、手続きが簡素化したことに加え、ペーパーレスとなることにお客さまにご負担いただいていた印紙代が不要となっております。

預かり物件管理システム

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの利便性向上、厳格・明確な管理、事務運営の効率化を目的として、タブレット端末を活用した「預かり物件管理システム」を導入し取り扱いを開始しました。同システムにより、職員が営業店窓口や訪問先で、お客さまから現金や通帳などをお預かりする際にタブレット端末に入力することで、「預かり物件」をシステムで一元管理しております。



いつでもどこでも銀行サービスを

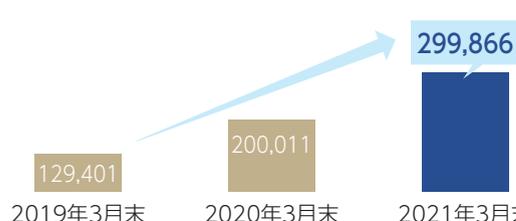
スマートフォンの普及、新型コロナウイルス感染症の拡大によりお客さまのセルフサービスのニーズが急激に高まっております。ほくほくフィナンシャルグループは、そのようなお客さまのニーズを的確に捉え、サービスの拡大と利便性の向上に取り組んでおります。

EB契約先数 ※1 (先)



※1) インターネットバンキング・パソコンサービスをご利用いただいている法人取引先数

スマホアプリ利用先数 ※2 (先)



※2) 両行のスマホアプリをインストールかつログインいただいているお客さまの先数

「ほくぎんビジネスポータル」の導入

北陸銀行は、「情報提供」、「電子交付」、「Web受付・相談」、「ID連携」の4つの新機能を搭載した「ほくぎんビジネスポータル」を導入しました。これにより、書面交付のペーパーレス化や、融資等の各種サービスのお申し込みや相談等ができるようになり、ご来店いただくことなくお取引ができる業務領域が大幅に拡大します。また、法人向けインターネットバンキング機能を拡張し、コロナ禍で多様化する働き方に合わせて場所や時間を気にせず銀行取引が行えるよう、入出金等のメール通知機能を追加するほか、スマートフォンでのご利用にも対応しております。

オンライン契約（無担保ローンWEB完結サービス&オンラインでの生命保険）

北陸銀行および北海道銀行は、お申し込みからご契約までインターネット上で完結し、24時間365日来店不要で各種ローンのお手続きが可能となるWEB完結サービスを提供しております。これにより、お借入れまでの日数が大幅に短縮しております。

また、メディアケア生命保険会社と提携し、インターネットによる完全非対面の生命保険募集を開始しました。これによりホームページを通じて、生命保険のお見積りからご契約までのお手続きができるようになり、日中のご来店が難しいお客さまでも生命保険へのご加入が可能となっております。

銀行アプリ、ホームページの機能向上

北陸銀行および北海道銀行は、「お客さまがいつでもどこでもお手元のスマートフォンを活用してお手続きを行うことを可能とする銀行アプリ」やホームページの利便性やセキュリティを向上すべく、随時リニューアルを実施し、機能の向上に取り組んでおります。



TOPICS

2024年共同利用システム「MEJAR」*のオープン基盤化

MEJARの2024年更改において、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、様々なハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」を採用いたします。基幹系共同利用システムのオープン化としては、銀行業界初となります。

将来的な機能の拡張性、最新技術の活用が可能になるとともに、運営コストの大幅な低減が実現いたします。また、環境に配慮したグリーンITの導入により消費電力を現行比20%低減することで、CO₂排出量の削減にも寄与することとなります。

*MEJAR … ITコストの低減などを目的に2010年から稼働を開始した共同利用システム。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの利活用などを行うシステム、ATM、インターネットバンキングなどについて、ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行および北海道銀行を含む5行で共同利用。

多彩な「人財」が活躍する職場づくり

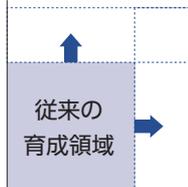
ほくほくフィナンシャルグループは「地域共栄」の経営理念のもと、グループで働く従業員一人ひとりが、持てる能力を最大限発揮し、地域社会ならびにお客さまの発展に貢献してまいります。



人財育成

地域人口の減少や高齢化、デジタル化の進展などを通じ、お客さまニーズが多様化する中で、従来の銀行業務の垣根にとらわれない、幅広い知識や対応力、専門性を有した人財が求められており、多様なキャリア形成を積極的に支援すべく人財育成に取り組んでおります。

専門性



業務多様化

専門人財の育成

- ・1級FP技能士・CFP資格の取得推奨
- ・システム人財の育成 など

研修機会の拡充

- ・コース別研修体系の見直し(北陸銀行)
- ・コンサルティング業務研修の拡充
- ・融資業務スキルアップ研修 など

2020年度 1級FP・CFP資格保有者

北陸銀行

171名

北海道銀行

64名

2020年度 行外派遣研修人員

北陸銀行

18名

北海道銀行

10名

人財マネジメントにおける社外からの評価

ホワイト500

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度



北陸銀行
北海道銀行

えるぼし
(3段階)

女性の活躍推進に関して優良な取り組みを行った企業を認定(3段階最上位認定)



北陸銀行

プラチナ
くるみん

「子育てサポート企業」として一定の基準を満たした企業を認定(くるみんの最上位認定)



北陸銀行

いしかわ男女共同
参画推進宣言企業

石川県が、男女共同参画推進の具体的な取り組みを宣言する企業を認定



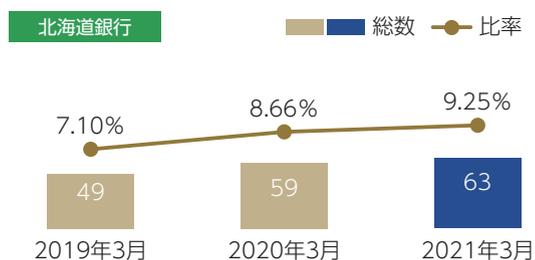
北陸銀行

ダイバーシティマネジメントの推進

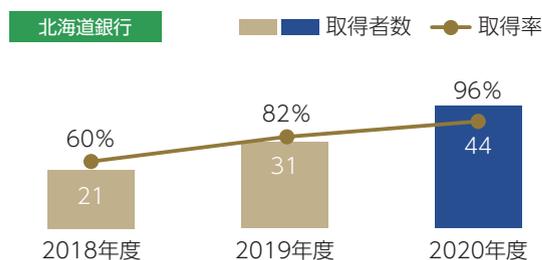
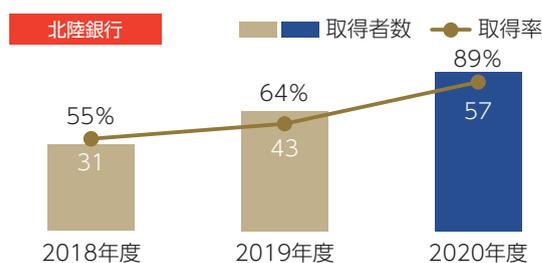
ダイバーシティマネジメントの推進を主要な経営課題と捉え、多様な人材が活躍できる職場を目指し、「キャリア形成への意識醸成」と「組織全体の風土改革」に取り組んでおります。

北陸銀行および北海道銀行では、ダイバーシティ推進室を設置し、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランス支援制度の充実、多様な働き方の実現等を通じて、意欲・能力のあるすべての職員が活躍できる環境の整備に注力しております。

女性の活躍推進 (女性経営職・管理職)



ワークライフバランス支援 (男性育児休業)



多様な働き方の実現

タブレット端末の導入、遠隔会議システムや外出先からもアクセス可能な社内ネットワーク環境を整備しており、コロナ禍においても、就労場所にとられない弾力的な働き方を実現しております。また、従業員の自律的な学びを支援するために、リモートを活用した研修体制も拡充しております。

リモート研修等の拡充

テレワークや時差出勤など働き方の弾力化

社内IT化・ネットワーク化の推進、体制整備

2020年度 リモート研修実施回数

北陸銀行

18回

北海道銀行

34回

ふくい女性活躍推進企業プラス

働く女性が半数を超える福井県が、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を登録



北陸銀行

くるみん

「子育てサポート企業」として一定の基準を満たした企業を認定



北海道銀行

北海道働き方改革推進認定企業 (ゴールド)

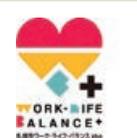
北海道が働き方改革に取り組む企業を認定。「多様な人材の活躍」、「就業環境の改善」、「生産性の向上」の全項目で評価を受け、最上位のゴールド認定を取得



北海道銀行

札幌市ワーク・ライフ・バランスPlus企業認定 (ステップ3)

札幌市が、ワーク・ライフ・バランスと女性活躍に積極的に取り組む企業を認定



北海道銀行

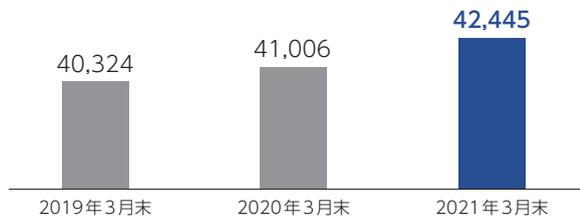


法人のお客さまへ価値を提供するために

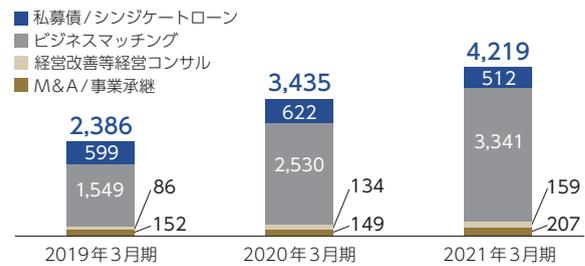
ほくほくフィナンシャルグループは、お取引先のライフステージにおける多くの課題に対し、ソリューション提案を通じた総合的なコンサルティング機能を発揮してまいります。

2020年度 実績データ

事業性貸出残高(億円) (2行合算)



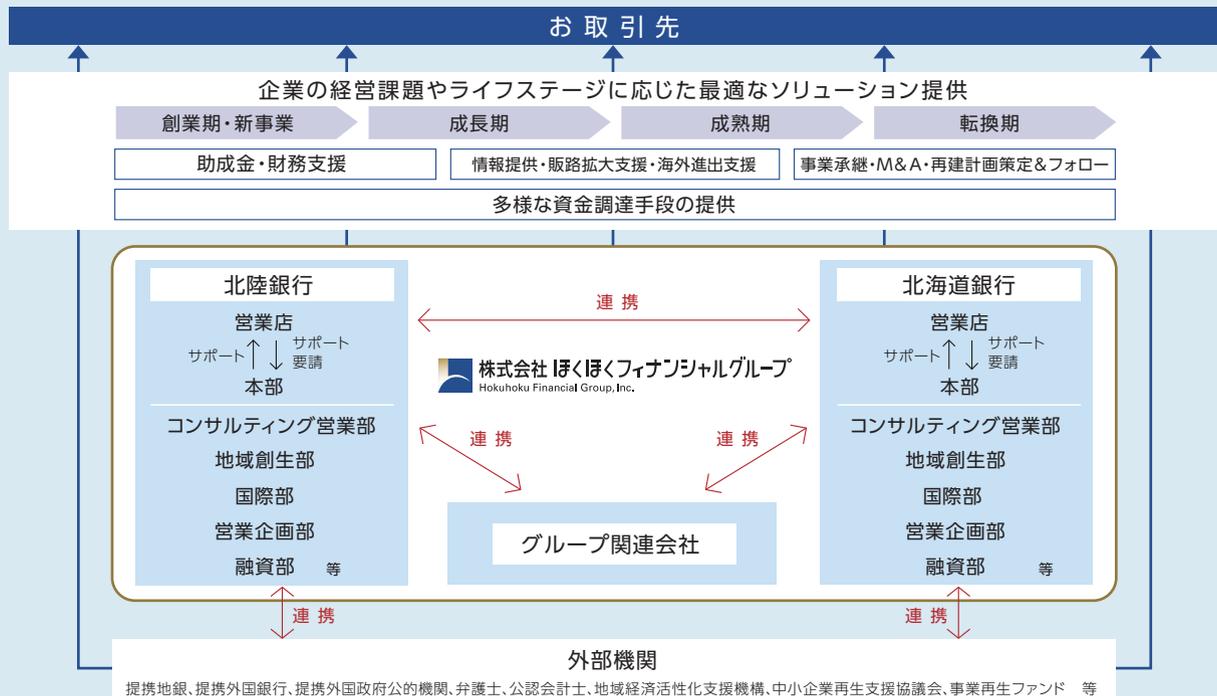
法人ソリューション成約件数(件) (2行合算)



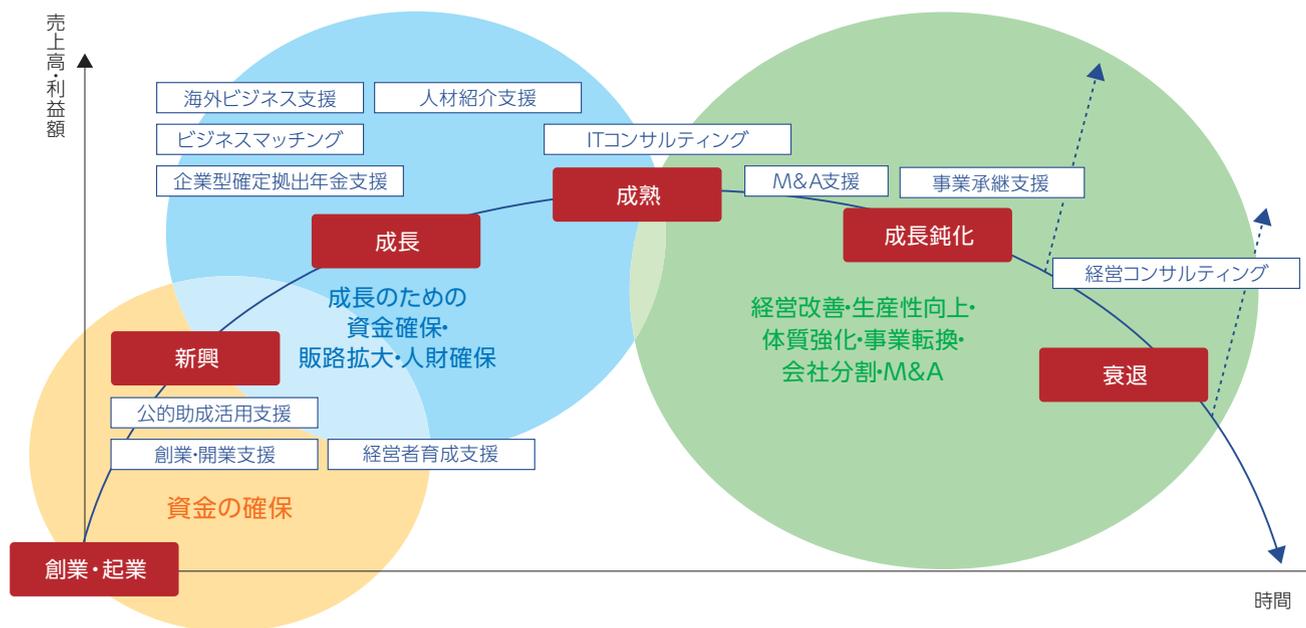
法人のお客さまの経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを経営理念としております。お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

《取組体制》



ライフステージに応じたソリューション



創業・新規事業開拓の支援

創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学官金連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っております。

公的助成活用支援

公的助成金制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしております。2020年度より有料のコンサルティング業務として体制の強化を図っております。

公的助成金申請サポート実績(2020年度)	北陸銀行	北海道銀行
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金採択件数	10件	33件
うちコンサルティング支援実施件数	5件(2021.2より開始)	30件

ビジネスコンテストによる新規事業の発掘

北海道銀行は、スタートアップ企業のビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性の模索を目的に、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2020」を開催しました。本コンテストは、岩手銀行、七十七銀行、ふくおかフィナンシャルグループおよび沖縄銀行と共同で開催し、最終選考会についてはオンラインでも配信しました。



アグリビジネス支援の強化

北陸銀行および北海道銀行は、行員の農業に関する知識向上を図り、アグリビジネス支援を強化するため2020年度より独自の行内資格認定制度「アグリサポーター制度」を創設しました。

本制度は、ほくほくフィナンシャルグループである両行が有するリソースを共有し、北陸および北海道地域の農業支援に活用すべく、両行が連携して人材を育成する初めての取り組みであり、2020年度は26名の「ほくほくアグリサポーター」が誕生しております。

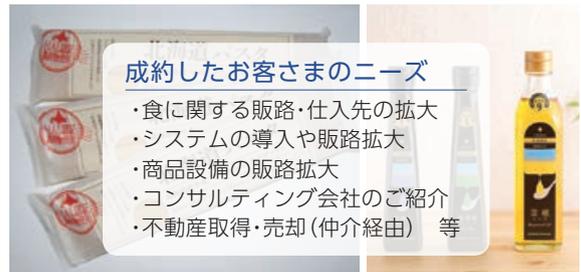
成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークやオンラインシステムを活用し、お取引先の販路開拓や海外進出、最適な人材の確保といった事業の拡大を支援しております。

■ ビジネスマッチング

北陸銀行および北海道銀行は、リンカーズ株式会社と共同開発したビジネスマッチングシステムを導入し、共通化しております。本システムの導入により、コロナ禍においてもお客さまが抱える様々なビジネスマッチングニーズに対して、解決に向けたご提案をスピーディーに行う体制となっております。

両行ビジネスマッチングシステムにおける登録商材数 (2021年3月末時点)	8,516件
--	--------



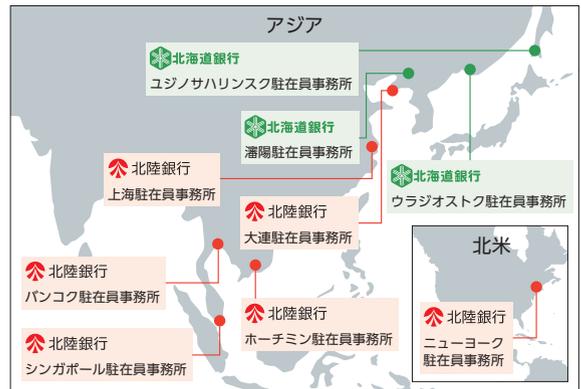
■ 海外ビジネス支援

北陸銀行は、2021年8月にベトナム社会主義共和国にホーチミン駐在員事務所を開設します。これによりほくほくフィナンシャルグループの海外拠点は9拠点となります。

北陸銀行および北海道銀行は、コロナ禍においてもオンラインツールによるWEB面談等により、広域の海外ネットワークを活用したお取引先の海外での企業活動を支援しております。

海外駐在員事務所の海外取引支援に係る面談件数 (WEB面談含む) (2020年度・2行合算)	2,167件
お取引先と海外現地法人のビジネスマッチング成約件数 (2020年度・2行合算)	33件

〈ほくほくフィナンシャルグループ海外ネットワーク〉



■ ソリューション領域の拡大

ITコンサルティング

北陸銀行は、2019年4月より法人および個人事業主のお取引先を対象とし、社内におけるIT活用、業務効率化、ペーパーレス化等の課題解決を支援する「ITコンサルティング」を展開しております。経営課題の抽出から40社を超える提携ベンダーとの協働による最適なソリューションの選定、さらに導入・定着まで一貫した支援に努めております。

〈業務フローイメージ〉



人材紹介業務

北陸銀行は、2019年7月よりお取引先のニーズに合わせた人材を紹介し、地域の中小企業の成長を支援する「人材紹介業」を開始しております。

人材紹介会社6社(2021年3月末)と提携し、経営層や管理者層、専門的な知識を持つ人材をマッチングすることで、人材ニーズを有する企業の支援に努めております。

〈業務フローイメージ〉



経営改善・事業転換・事業再生等の支援

専門部署や外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善や事業転換、さらには抜本的な事業再生までお客さまに寄り添った支援を行っております。

経営改善支援

北陸銀行および北海道銀行は、経営改善の課題・改善策を明確にするため、SWOT分析を用いた事業性評価やPDCAサイクルによるモニタリング、協働および自行経営コンサルティング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しております。

経営改善支援の取り組み実績(2020年度)

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善を必要とするお取引先	492先	778先
うち再生計画を作成した先	444先	262先
うち事業の改善が確認できた先	28先	131先

事業承継・M&A支援

北陸銀行は、2020年6月にM&Aに関する業務提携先である株式会社日本M&Aセンターより「バンクオブザイヤー」「地域貢献大賞」を受賞しました。

〈北陸銀行が受賞した賞〉

バンクオブザイヤー (2年連続、5度目の受賞)	地域貢献大賞を受賞した7つの提携金融機関の中から、最大の実績を挙げた1行が受賞
地域貢献大賞	受託件数・成約件数・成約案件の譲渡側従業員数・ディールサイズを基準に集計した結果、7つの地域ブロック内それぞれにおいて、地域に最も貢献した提携行が受賞



北陸銀行および北海道銀行は、事業承継やM&Aなど専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお取引先のニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っております。

コロナ禍においてもオンラインツールによるWEB提案を可能とする環境を整備し、多様化するお客さまのニーズに一層きめ細やかにお応えできるよう努めております。

M&A、事業承継成約件数(件)(2行合算)



M&Aアドバイザー契約締結件数(件)(2行合算)



TOPICS

営業体制の強化に向けた法人営業部の設置

北海道銀行は、「お客さまへの接点強化・営業活動の増大」を目的に札幌市内および石狩市内に配置している「法人のお客さま担当」を現在の27カ店から5拠点程度に集約し、新拠点「法人営業部」を設置します。

2021年6月より札幌市中央区に3カ店を集約した「第1法人営業部」を設置し、今後2年程度をかけて、ほか24カ店について拠点の集約化を進めてまいります。

体制変更により、組織内のノウハウや情報の共有を強化し、お客さまの事業内容への理解を深め、お客さまにしっかり寄り添ったサービスを提供してまいります。





個人のお客さまへ価値を提供するために

ほくほくフィナンシャルグループは、総合金融グループとして人生100年時代を見据えたお客さまのライフイベントをサポートしてまいります。お客さまお一人おひとりに適したソリューションを提供するため、変化を見据えた商品開発、利便性向上につながる非対面サービスの拡充、拠点・体制整備によるコンサルティング力強化を進めてまいります。

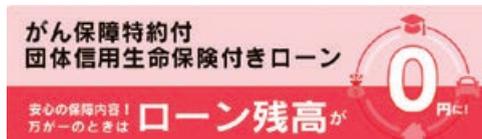
2020年度 実績データ



変化を見据えた商品開発

無担保ローンにおけるがん保障特約付団体信用生命保険付きローンの取り扱い開始

北陸銀行および北海道銀行は、無担保ローンにおいて、死亡・高度障害となられた場合、またはがんと診断された場合に、その時点でローン残高を保険金等としてお支払いすることでローンを完済するがん保障特約付団体信用生命保険付きローンの取り扱いを開始しました。本商品により、万が一の時に備え、お客さまには安心してローンをご利用いただけます。



〈新規で付保いただける商品〉

北陸銀行

《ほくぎん》ウェブでマイカーローン、マイカーローン、学資ローン(証書貸付方式)、無担保住宅ローン(リフォームコース・借換コース)、プライダルローン、フリーローン「らくらくイック」、ほくぎんフリーローン

北海道銀行

道銀目的型ローン(マイカーローン、教育ローン(証書貸付方式)、リフォームローン、ライフローン)
※WEB申込限定

利便性向上につながる非対面サービスの拡充

投資信託サイトの利便性向上

北海道銀行は、お客様の利便性向上のため、「見やすさ」と「使いやすさ」を追求し、統一感を持たせたシンプルなデザインにホームページの投資信託サイトをリニューアルしました。

メニューの構成についても投資信託のお取引に関して「はじめての方」と「運用中の方」向けにそれぞれ必要とする情報をピックアップし、よりお客さまのニーズにあった情報を提供できるよう変更となっております。



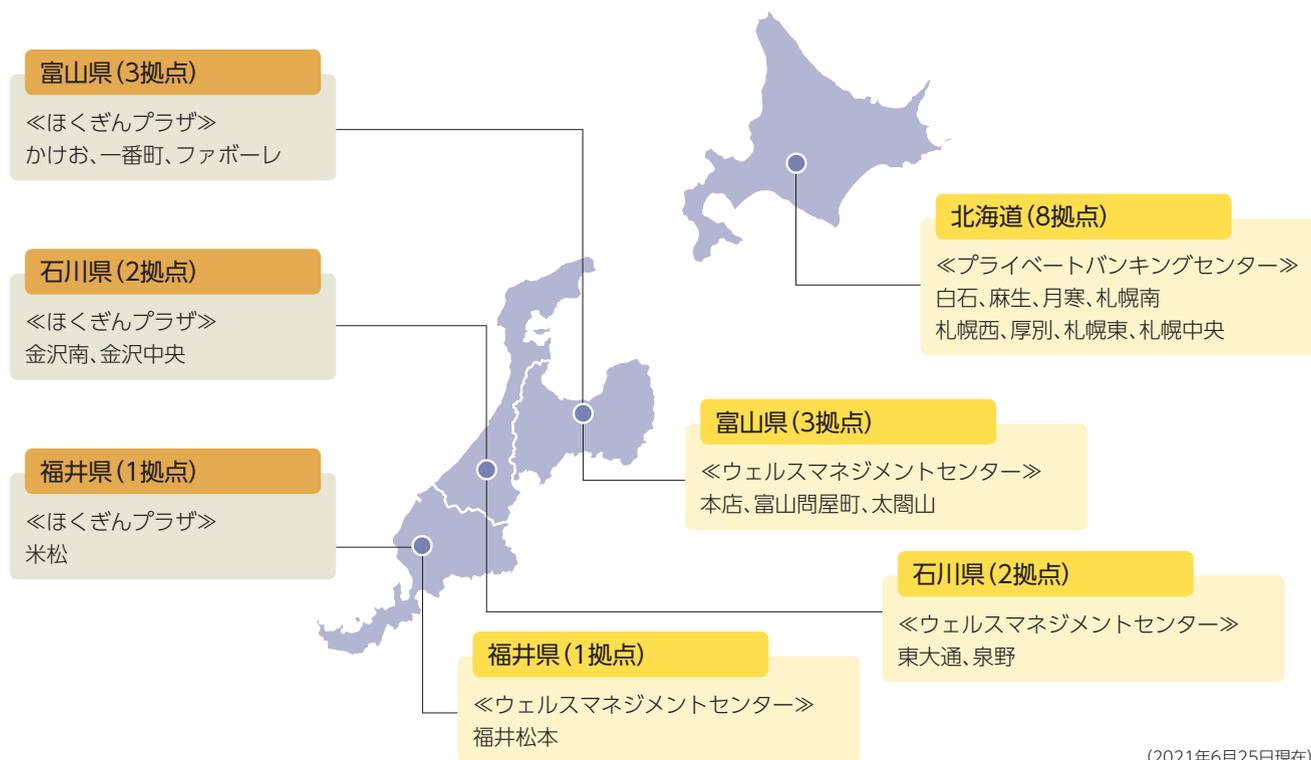
拠点・体制整備によるコンサルティング力強化

「ほくぎんプラザ」の拡大

北陸銀行は、お客さまのライフプランに合わせ、各種ローン、相続に関するご相談、資産運用、生命保険の見直しなど各種マネープランのご相談に対応する個人のお客さま向け総合相談拠点「ほくぎんプラザ」を拡大しております。本拠点は、休日営業を行い、平日にご来店が難しいお客さまにもゆっくりとご相談をいただくことが可能となっております。

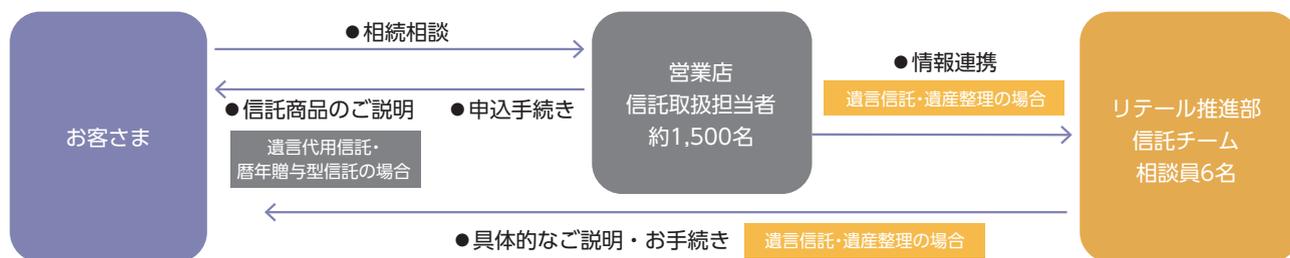
個人向け総合金融コンサルティング拠点の拡大

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまのニーズの多様化・高度化に対応するため、高い資産運用提案スキルを持った人材を集約した個人向け総合金融コンサルティング拠点を拡大しております。各拠点に設置したフィナンシャル・アドバイザーがお客さまと面談し、専門的な知識に基づいて、相続や資産形成などのご相談にOne to Oneでお応えします。



相続・信託の推進体制の強化

北陸銀行は、信託業務における地区推進体制を強化しました。各地区の信託チームの相談員を6名に増員し、より専門的な対応が必要な「遺言信託」「遺産整理」について、営業店の信託取扱担当者がスムーズに本部相談員に取り次ぐ体制となったことで迅速かつ丁寧な相続コンサルティングが可能となっております。なお、ニーズが多く手続きも平易な「遺言代用信託」「暦年贈与型信託」については、全157カ店に配置している信託取扱担当者約1,500名が商品説明から申込手続きまで完結できる体制となっております。



ステークホルダーとのかかわり

ほくほくフィナンシャルグループでは「お客さま」「環境」「地域社会」「株主・投資家」「従業員」「行政・教育機関・業界団体」といった様々なステークホルダーの皆様とのかかわりを通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



ほくほくフィナンシャルグループ ディスクロージャー・ポリシー

基本方針

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ(以下、「当社」とする)および当社子会社、関連会社は、「広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客様の繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます」という経営理念のもと、株主・投資家、お客様、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーに対し、積極的な情報開示を行います。

また、様々なコミュニケーション活動を通じてステークホルダーとの建設的な対話を行い、企業の透明性を一層高め、ステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させていきます。

株主・投資家

ほくほくフィナンシャルグループでは、株主・投資家の皆様との対話の場を重視しております。2020年度は、5月には新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を見送りましたが、11月には、東京にて機関投資家向け会社説明会を開催し、当社グループの概要、業績および戦略等についてご説明をさせていただきました。

なお、2021年5月に機関投資家向け会社説明会を電話会議形式で、6月に個人投資家向け会社説明会をWEB形式にて開催しております。



環境

北陸銀行と北海道銀行は、環境省が地域金融機関に対して支援を行う「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択されました。

両行の取り組み結果は、環境省ホームページで公表された「ESG地域金融実践ガイド2.0」の中で公開されるとともに、北陸銀行の取り組み結果については、2021年4月に開催された環境省主催の会議「第4回ESG金融ハイレベル・パネル」において、個別金融機関事例として取り上げられ、出席した同行役員よりESGが浸透する過程で地域金融機関が果たすべき役割について発表を行いました。



地域社会

北海道銀行は、地域の活性化に向け道内の様々なスポーツの振興に積極的に貢献しております。2020年度においては、メインスポンサーとして活動支援する女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」が第38回全農日本カーリング選手権において6年ぶり2回目の優勝を果たしました。



行政・教育機関・業界団体

北陸銀行および北海道銀行は、行政や教育機関、各種団体との連携を通じてコミュニケーションの強化を図り、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや地域の金融リテラシーやSDGsリテラシーの向上に向けた教育を積極的に推進しております。

2020年度末においては、47の自治体、22の大学と連携を締結しております。



お客さま

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご案内に役立てるため、資産運用のお取引をいただいているお客さまへのアンケート調査を実施しております。アンケートについては、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位勧めたいと思うか」を数字に表したNPS®(Net Promoter Score®)を活用しております。

2020年度も2019年度に引き続き、2行ともに本アンケートに参加した地方銀行50行の平均を上回る評価をいただきました。

従業員

北陸銀行および北海道銀行の連携強化と若手行員と経営陣との対話促進に向け、2014年より「ほくほくヤングフォーラム」を開催しております。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催は見送りとなりましたが、引き続きオンライン等を活用し、ニューノーマルにおける従業員との対話促進を図ってまいります。

公式Twitterアカウントの開設

北陸銀行は、ステークホルダーとの新たな接点として、北陸銀行公式Twitterアカウントを開設しました。本アカウントでは、サービス・キャンペーン情報や、キャラクターに関する情報、地域情報等を発信しております。
(URL) https://twitter.com/hokurikubank_JP



株式会社ほくほくフィナンシャルグループ



《当社》
2004年6月 企画グループ長兼総務グループ長
2009年6月 取締役(企画・総務グループ担当)
2013年6月 代表取締役社長(現任)
《子会社等》
1979年4月 株式会社北陸銀行入行
2004年6月 同 総合企画部担当部長
2009年6月 同 取締役執行役員
2010年6月 同 常務執行役員
2013年6月 同 代表取締役頭取(現任)

代表取締役社長
庵 栄伸



《当社》
2017年6月 取締役
2019年6月 取締役(企画・総務グループ副担当)
2021年6月 代表取締役副社長(現任)
《子会社等》
1987年4月 株式会社北海道銀行入行
2002年1月 同 花川支店長
2003年7月 同 経営企画グループ調査役グループリーダー
2005年10月 同 経営企画部長
2011年7月 同 鳥居前エリア統括兼鳥居前支店長
2013年4月 同 執行役員才ホーク地区営業担当兼北見支店長
2015年6月 同 執行役員札幌・石狩、空知地区営業担当
2016年6月 同 取締役常務執行役員企画管理部門長
2019年6月 株式会社北陸銀行執行役員
2021年6月 株式会社北海道銀行代表取締役頭取(現任)

代表取締役副社長
兼 間 祐二



《当社》
2013年6月 取締役(現任)
《子会社等》
1979年4月 株式会社北陸銀行入行
2005年6月 同 経営管理部長
2007年6月 同 本店営業部長
2009年6月 同 取締役執行役員本店営業部長
2010年6月 同 取締役常務執行役員
富山地区事業部本部長
2013年6月 同 代表取締役会長(現任)

取締役
麦野 英順



《当社》
2021年6月 取締役(営業戦略部副担当)(現任)
《子会社等》
1989年4月 株式会社北海道銀行入行
2004年4月 同 個人営業グループ調査役グループリーダー
2005年10月 同 個人営業部長
2006年10月 同 早来支店長
2009年6月 同 営業企画部長
2012年10月 同 経営企画部長
2014年6月 同 月寒エリア統括兼月寒支店長
2017年6月 同 執行役員営業企画担当
2018年6月 同 執行役員副営業部門長営業企画担当
2020年6月 同 取締役常務執行役員営業部門長(現任)

取締役
高田 芳政



《当社》
2019年6月 取締役
2021年6月 取締役(営業戦略部担当)(現任)
《子会社等》
1986年4月 株式会社北陸銀行入行
2005年4月 同 二の宮支店長
2007年6月 同 琴似支店長
2009年4月 同 浅草支店長
2011年6月 同 福井支店長
2014年6月 同 総合企画部長
2016年6月 同 執行役員本店営業部長
2017年6月 同 取締役執行役員本店営業部長
2018年6月 同 取締役常務執行役員
富山地区事業部本部長
2020年6月 同 取締役常務執行役員(現任)

取締役
中澤 宏



《当社》
2019年6月 取締役
(企画・総務グループ担当)
2021年6月 取締役
(経営企画部・人事企画部門担当)(現任)
《子会社等》
1987年4月 株式会社北陸銀行入行
2006年1月 同 旭川支店統括副支店長
2007年6月 同 帯広支店長
2010年6月 同 金沢南中央支店長
2012年6月 同 新宿支店長
2014年6月 同 札幌支店長
2016年6月 同 総合企画部長
2017年6月 同 執行役員総合企画部長
2019年6月 同 取締役常務執行役員(現任)
株式会社北海道銀行執行役員(現任)

取締役
小林 正彦

株式会社北陸銀行

取締役・
監査役

取締役会長 麦野 英順
取締役 上願 宏幸
取締役 坂井 章
監査役(社外) 永原 功

取締役頭取 庵 栄伸
取締役 小林 正彦
常勤監査役 沼田 雅博
監査役(社外) 綿貫 勝介

取締役 中澤 宏
取締役 坂本 嘉和
監査役(社外) 中村 健一
監査役(社外) 八木 誠一郎

執行役員

会長執行役員 麦野 英順
常務執行役員 上願 宏幸
常務執行役員 岩井 典宏
執行役員 辰島 剛
執行役員 森田 勝也
執行役員 玉作 明寛
執行役員 坂井 章

頭取執行役員 庵 栄伸
常務執行役員 南 直樹
常務執行役員 小嶋 達也
執行役員 畑山 拓也
執行役員 毛呂 聡史
執行役員 木田 弘誠
執行役員 山崎 徹也

常務執行役員 中澤 宏
常務執行役員 小林 正彦
執行役員 坂本 嘉和
執行役員 吉井 治
執行役員 浦崎 滋
執行役員 王生 幸夫
執行役員 西野 太郎



取締役
坂井 章

《当社》
2021年6月 取締役(リスク統括部担当)(現任)
《子会社等》
1984年4月 株式会社北海道銀行入行
2003年4月 同 当別支店長
2005年4月 同 検査グループ検査役グループリーダー
2005年10月 同 監査部長
2006年4月 同 花川支店長
2008年4月 同 釧路支店副支店長
2010年6月 同 小樽エリア統括兼小樽支店長
2013年4月 同 琴似エリア統括兼琴似支店長
2016年3月 同 理事琴似エリア統括兼琴似支店長
2016年6月 同 執行役員東京支店長
2018年6月 同 常勤監査役
2021年6月 株式会社北陸銀行取締役執行役員(現任)
株式会社北海道銀行執行役員



取締役監査等委員
北川 博邦

《当社》
2012年1月 企画グループ長兼総務グループ長
2019年6月 取締役(監査等委員)(現任)
《子会社等》
1987年4月 株式会社北陸銀行入行
2006年1月 同 総合企画部副部長
2007年6月 同 金沢支店統括副支店長
2009年1月 同 富山丸の内支店長
2010年6月 同 融資第一部副部長
2012年1月 同 総合企画部副部長
2013年6月 同 総合企画部担当部長
2016年6月 同 総合企画部部長



取締役監査等委員
眞鍋 雅昭

1965年4月 株式会社一の眞鍋五郎薬局
(現株式会社ほくやく)入社
1991年4月 株式会社パレオ(現株式会社ほくやく)
代表取締役社長
1999年4月 株式会社ほくやく代表取締役社長
2003年6月 同 代表取締役社長執行役員
2006年9月 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
代表取締役社長
2007年7月 同 代表取締役社長執行役員
2012年6月 株式会社ほくやく代表取締役会長(現任)
2015年6月 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
代表取締役社長
2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
2018年6月 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
代表取締役会長(現任)



取締役監査等委員
鈴木 伸弥

1979年4月 安田生命保険相互会社入社
1999年4月 同 山形支社長
2001年4月 同 経営調査室長
2004年1月 明治安田生命保険相互会社に改称
同 リスク管理統括部長
2006年7月 同 商品部長
2008年7月 同 執行役商品部長
2010年4月 同 常務執行役
2013年7月 同 取締役会長代表執行役
2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
2021年7月 明治安田生命保険相互会社特別顧問(現任)



取締役監査等委員
舟本 馨

1979年4月 警察庁入行
2000年9月 佐賀県警察本部長
2007年8月 警視庁刑事部長
2010年4月 大阪府警察本部長
2011年10月 警察庁刑事局長
2013年8月 株式会社整理回収機構専務取締役
2020年6月 株式会社北陸銀行社外取締役
2021年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)

執行役員
(経営企画部・人事企画部門副担当)
山崎 徹也

執行役員
(事務・システム部門担当)
小嶋 達也

執行役員
(事務・システム部門副担当)
西野 太郎

執行役員
(融資企画部門担当)
坂本 嘉和

執行役員
(融資企画部門副担当)
佐々木 剛

■ 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ、株式会社北陸銀行、株式会社北海道銀行の3社と監査契約を締結しています。

株式会社北海道銀行

取締役・
監査役

取締役会長 笹原 晶博
取締役 高田 芳政
取締役 南 直樹
監査役(社外) 岩村 修二

取締役頭取 兼間 祐二
取締役 佐々木 剛
常勤監査役 小倉 隆巳
監査役(社外) 千葉 智

取締役副頭取 大木 孝志
取締役 山崎 徹也
監査役(社外) 海老名 健

執行役員

頭取執行役員 兼間 祐二
常務執行役員 佐々木 剛
常務執行役員 鈴木 誠
執行役員 大西 幸哉
執行役員 西野 太郎
執行役員 山崎 徹也
執行役員 小嶋 達也

副頭取執行役員 大木 孝志
常務執行役員 高田 芳政
執行役員 広部 公聡
執行役員 会田 朋生
執行役員 平川 昌之
執行役員 西澤 正敬
執行役員 坂井 章

専務執行役員 齊藤 勝
常務執行役員 森山 正徳
執行役員 疋田 一晶
執行役員 鎌水 悦郎
執行役員 前田 尚宏
執行役員 小林 正彦

基本的考え方

当社およびグループ各社ではコーポレート・ガバナンスの強化、充実を経営の重要課題の一つと位置づけております。経営戦略の策定や経営の意思決定をはじめ、あらゆる活動の基本方針として「経営理念」を定めるとともに、「ほくほくフィナンシャルグループの行動規範」により、基本的な価値観や倫理観を共有し、企業価値の向上、北海道・北陸地域の発展等に向けて健全経営の実現に努めております。



コーポレートガバナンス・ガイドライン

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/info/governance/>



コーポレート・ガバナンスの状況

当社では、意思決定機関である株主総会・取締役会を頂点として、社内規定により運用権限の委譲を行うことで迅速に意思決定する体制を構築しております。取締役会が決定した基本方針に基づく細目ないし専門的事項にかかる案件は、経営会議をはじめとする機関において迅速に対応しております。また、経営会議とは別にグループ会社間で営業方針の徹底を図る「営業推進会議」を設置しております。

当社は、監査等委員会設置会社の形態をとるとともに、社外取締役を選任いたしております。また、グループのガバナンス体制を強化し持株会社としての経営管理を適切に行うために、当社の主要な子会社である北陸銀行と北海道銀行の間では両行の出身者を相互に取締役を選任し、相互理解と相互牽制を図っております。

以上により、意思決定、業務執行、評価・修正を循環的に行う体制を構築しているほか、取締役会にて内部統制の基本方針を決定し、内部統制体制の整備を図っております。



内部統制の基本方針

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/info/governance/policy/>

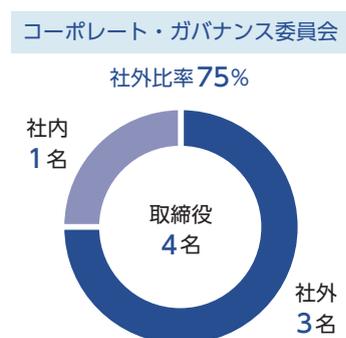
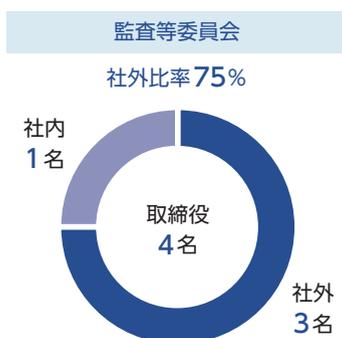
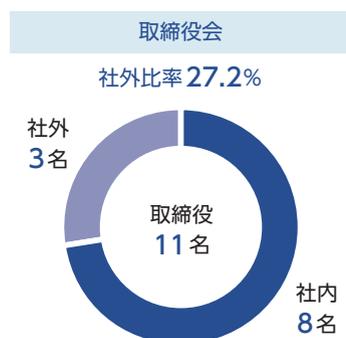


主要な機関等の概要

主な特徴

■ 組織形態：監査等委員会設置会社

■ 取締役会の諮問機関：コーポレート・ガバナンス委員会



① 取締役会 20年度開催回数11回

グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

3名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しております。

② 監査等委員会 20年度開催回数10回

監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。

③ コーポレート・ガバナンス委員会 20年度開催回数5回

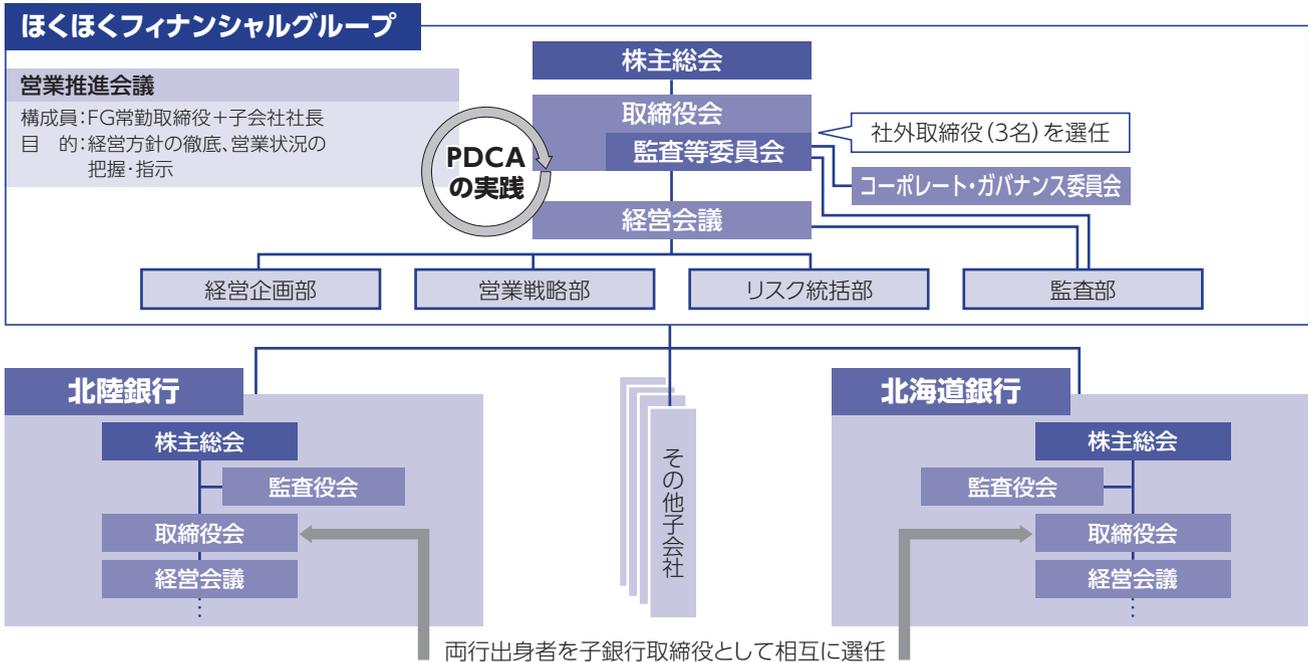
社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。

④ 経営会議 20年度開催回数41回

当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

⑤ 営業推進会議 20年度開催回数4回

当社常勤取締役と子会社社長を構成員として、グループ全体で重要事項・経営方針の浸透を図るほか、各社の営業状況を確認することで適切な業務執行に反映させる機能を担っております。



社外役員の選任理由

社外取締役候補者の選定にあたっては、職務の執行に必要な知見、経験や能力等を有し、かつ、会社法に定める社外取締役の要件を満たしていることに加え、経営の監督機能を発揮するため、当社からの独立性の確保を重視しております。

氏名	選任理由	20年度取締役会・監査等委員会出席状況
眞鍋 雅昭	企業経営者として経営、地域経済に精通し、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。	取締役会 11回/11回 監査等委員会 10回/10回
鈴木 伸弥	金融機関(生保)経営の豊富な経験を有しており、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。	取締役会 11回/11回 監査等委員会 10回/10回
舟本 馨	警察庁や株式会社整理回収機構における豊富な経験と幅広い見識により、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、東京証券取引所及び札幌証券取引所が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。	新任

	社外取締役の専門性			
	企業経営	金融	法律	行政
眞鍋 雅昭	●			
鈴木 伸弥	●	●		
舟本 馨		●	●	●

役員トレーニング

当社取締役会は、取締役が重要な統治機関の一翼を担う者として期待される役割・責務を適切に果たすため、その役割・責務に係る理解を深め、必要な知識の習得や適切な更新等の研鑽に努めることを奨励・監督しております。

(2020年度主な取り組み)

社外取締役に対してCG委員会にて金融庁金融行政方針にかかる情報共有を実施

取締役会の主な審議事項

開催回数	開催時間合計	取締役会審議件数	
		付議	31件
11回	16.1時間	報告	183件

【2020年度の主な付議事項】

代表取締役・役付取締役選定の件
執行役員制度導入の件
役員報酬の件

取締役会実効性評価

当社取締役会は、取締役会全体の実効性をはじめとするコーポレート・ガバナンス態勢全体について、コーポレート・ガバナンス・ガイドラインの趣旨に照らして分析・評価を毎年行い、結果の概要を開示するとともに、必要な改善を図ることとしております。



2019年度 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

取締役会ならびに取締役会の下に設置された社外取締役を主要メンバーとするコーポレート・ガバナンス委員会の構成・運営は適切であり、取締役会の実効性は確保できていると評価しております。なお、評価の議論の中で、企業価値向上に資するような議論をさらに活性化させるため、資料のさらなる改善、社外取締役へ提供する情報のさらなる充実に努めるべきとの意見が共有され、今後、必要な対応を図っていくこととしております。

2020年度の取り組み

取締役会における議論をさらに活性化させるため、提供する資料の工夫および重要な経営課題や外部環境変化を含めた幅広いテーマでの議論を実施しました。

2020年度 取締役会の実効性に関する分析・評価プロセスの概要

すべての取締役に対して記名方式の自己評価アンケートを実施し、アンケート結果に基づくコーポレート・ガバナンス委員会からの助言を得たうえで、5月の取締役会にて実効性に関する評価を行いました。

自己評価アンケート項目(大項目)

- ①取締役会の構成
- ②取締役会の運営
- ③コーポレート・ガバナンス委員会の運営
- ④取締役の役割・責務、社外取締役の支援態勢等
- ⑤株主・投資家との関係
- ⑥コーポレート・ガバナンスの態勢、取締役会の実効性全般
- ⑦前年度からの改善状況

2020年度 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

取締役会ならびに取締役会の下に設置された社外取締役を主要メンバーとするコーポレート・ガバナンス委員会の構成・運営は適切であり、取締役会の実効性は確保できていると評価しております。引き続き、社外を含む取締役へ提供する情報の充実や資料の改善、グループ経営戦略に関する議論のさらなる活性化に向け、必要な対応を図っていきます。

役員報酬

当社は、取締役会でコーポレートガバナンス・ガイドラインを定めており、その中で、役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針、当該方針の決定方法、手続等について、次のように定めております。

- i 当社は、役員の報酬が、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けたインセンティブとして機能するように、その水準・構成を設定する。
- ii 監査等委員であるものを除く取締役の報酬等は、以下の内容の基本報酬と株式報酬で構成し、それぞれ株主総会において決議された年間報酬限度額の範囲内において、別途定める役員報酬規定および株式報酬型ストック・オプション規定にもとづき算定された額の適切性、妥当性に関し、コーポレート・ガバナンス委員会からの助言を受け、客観性と透明性を確保のうえ、取締役会で決定する。

(a) 基本報酬

基本報酬は、役位別に定める固定額の報酬とする。

(b) 株式報酬

株式報酬は、役位別に定める額に相当する、株式報酬型ストック・オプションとする。

- iii 監査等委員の報酬等は、中立・独立した立場から業務執行の監督・監査を行う役割を踏まえ、基本報酬のみで構成し、株主総会において決議された年間報酬限度額の範囲内において、別途定める役員報酬規定にもとづき、監査等委員の協議により決定する。

株主総会における取締役の報酬等に関する決議内容は、次のとおりであります。

- i 決議は、2017年6月27日開催の定時株主総会で行われております。
- ii 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬額は、賞与を含めた報酬として年額250百万円以内とする（使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない）。
- iii 監査等委員である取締役の報酬額は、年額80百万円以内とする。
- iv 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬限度額とは別枠で、取締役（監査等委員である取締役および社外取締役を除く）に対する株式報酬型ストック・オプションとして、新株予約権を年額45百万円を上限とする（使用人兼務取締役の使用人分の報酬を含まない）。

役員報酬の実績（2020年度）

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額（百万円）					対象となる 役員の員数 (人)
		固定報酬	業績連動報酬	ストック・オプション	退職慰労金	左記のうち、 非金銭報酬等	
取締役 (監査等委員および 社外取締役を除く)	139	118	—	20	—	20	7
監査等委員 (社外取締役を除く)	25	25	—	—	—	—	1
社外取締役	22	22	—	—	—	—	4

(注) 取締役（監査等委員および社外監査役を除く）に対する非金銭報酬等は全額ストック・オプションであります。

政策保有株式への対応

当社および中核子会社（北陸銀行、北海道銀行）では、上場株式の政策保有に関する方針、ならびに議決権行使基準を、以下のとおり定めております。なお、保有意義の妥当性が認められない銘柄については、取引先企業との十分な対話を経た上で売却を進めます。また、妥当性が認められる場合にも、市場環境や経営・財務戦略等を考慮し売却することがあります。

保有に関する方針

- (1) 政策保有株式は、対象先との長期的・安定的な関係の維持・強化、事業戦略上のメリットの享受などがはかられ、対象先および当社グループの企業価値の向上に資すると判断される場合において、限定的に保有するものである。
- (2) 政策保有株式については、個別銘柄毎に、資本コストを勘案した指標に基づき保有に伴うリスク・リターンを計測する。その上で、将来の見通しを踏まえた経済合理性、営業上の取引関係や業務提携等の事業戦略および地域経済との関連性に照らした保有意義について、総合的な検証を毎年取締役会等において実施し、保有の可否を判断する。

議決権行使に関する方針

政策保有株式の議決権行使に際しては、議案ごとに以下の点を確認の上、必要に応じて取引先企業との対話等を経て総合的に賛否を判断する。

- (1) 取引先企業の中長期的な企業価値を高め、持続的成長に資するか。
- (2) 当社グループの中長期的な経済的利益の増大に資するか。

政策株式（上場）の推移（銘柄）（2018年9月期以降より退職給付信託設定株式を含む。銘柄数は2行合算。）



内部監査態勢

基本的考え方

当社グループは、業務の規模・特性、業務に適用される法令等の内容およびリスクの種類に応じた実効性のある内部監査態勢を整備することが、当社グループの適切な法令等遵守、顧客保護等およびリスク管理に必要な不可欠であるとの認識に基づき、当社および北陸銀行・北海道銀行に内部監査部門を設置しております。

各社内部監査部門は、他の部門からの独立性を確保し、牽制機能が働く態勢を整備しております。

■ 当社グループにおける取り組み

当社には、グループ内会社の内部管理態勢の適切性・有効性を検証し、グループ内会社の内部監査機能を統括する監査グループを設置しています。監査グループは、取締役会で定める内部監査の基本方針および監査規定に基づき当社および子会社（銀行以外）・関連会社の内部監査を実施するとともに、北陸銀行・北海道銀行からの内部監査の結果や問題点の改善状況等の報告を受け、また、必要に応じて銀行に対する実地での検証、指示ならびに報告を求めることで、グループ内会社における内部監査の実施状況を一元的に把握・管理しております。

グループ内会社の内部監査の結果については、定期的にかつ必要に応じて速やかに、取締役会へ報告しております。特に、グループの経営に重大な影響を与える事案については、取締役会へ速やかに報告する態勢を整備しております。

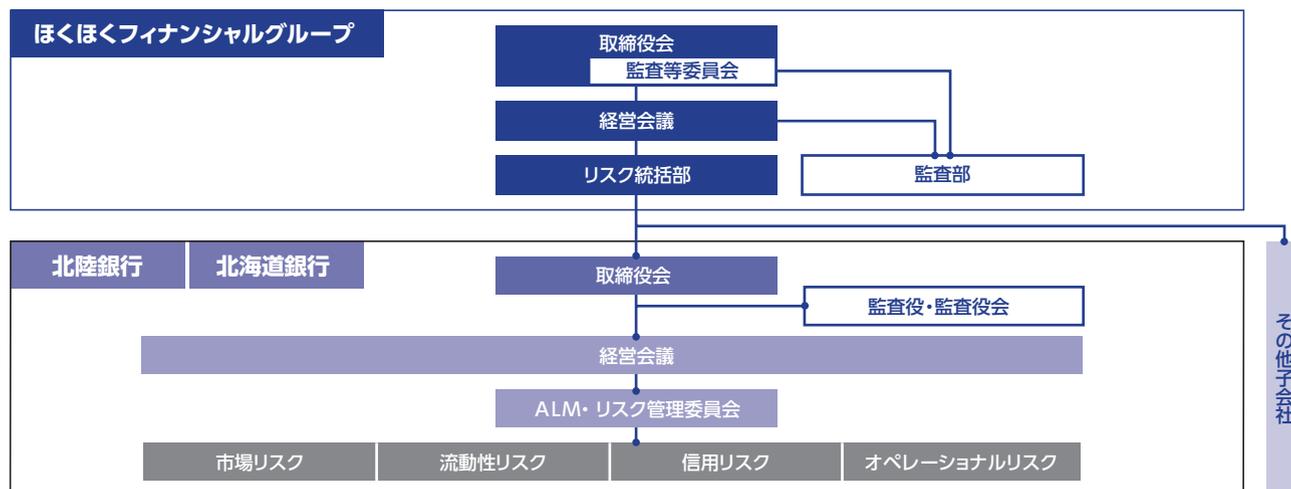
北陸銀行・北海道銀行においても、各行の監査部が内部監査方針・内部監査規定に基づき、本部・営業店・子会社等の業務監査および資産監査を実施しております。監査の実施にあたっては、監査対象部門の法令等遵守、顧客保護等およびリスク管理の状況を把握したうえ、頻度および深度等に配慮した効率的かつ実効性のある内部監査計画を策定しております。

また、必要に応じ、両行監査部および当社監査グループが合同で監査を行い、監査におけるグループ全体の機能強化ならびに効率化を図っております。

■ 統合的リスク管理体制

当社グループでは、お客さまの預金保護や株主・債権者の信頼を確保するため、リスクの総量を経営体力の範囲内に制御しながら、収益目標とバランスの取れたリスクテイク・経営資源配賦を図るため、各種リスク管理の基本方針を定め、統合的リスク管理体制の整備に努めております。

また、各種リスク管理の統括および管理を行うリスク統括部門を設置するとともに、独立した監査部門が内部監査を実施し、リスク管理体制の適切性・有効性を検証する体制としております。



■ リスク資本配賦

当社グループは、業務に対して発生する様々なリスクを可能な限り統一的に計量化し、総リスク量が経営体力の範囲内に収まるよう管理しております。

子銀行では、信用リスク、市場リスク、オペレーショナルリスクについて、リスクの計量化等により想定される最大損失額を見積ったうえで、資本を有効に活用するため、コア資本を配賦原資としたリスク資本配賦を行い、経営として許容できる範囲内にリスクを制御・管理しております。

当社では、子銀行の配賦案とともに、配賦しない余裕額が、子銀行以外の子会社で想定されるリスクや想定外のリスク等に対する備えとなっているかを検証し、リスク量実績のモニタリングと合わせ、グループ全体で自己資本と比較して過大なリスクをとらないよう管理しております。

また通常では考えられない景気悪化や相場変動等、一定のシナリオのもとで損失がどの程度想定されるか、ストレステストを実施することで、リスクに対する自己資本の充実度を定期的に検証しております。

■ 信用リスク管理

基本的考え方

信用リスクとは、お取引先の経営状態の悪化などにより貸出金等の元本・利息が回収できなくなるリスクを指します。これは、金融の仲介を使命とする銀行にとって、避けて通ることのできないリスクですが、当社グループでは資産の健全性の維持・向上を図るため、信用リスク管理体制の整備・強化に努めております。

信用リスク管理体制

資産の健全性を維持向上させるため、当社グループでは行内格付制度、自己査定制度により、信用リスクの適時かつ適切な把握に努め、適正な償却・引当を実施しております。

個別の与信判断にあたっては、規範・方針等を明示した「貸出金取扱規定(クレジットポリシー)」に従い、厳正な審査を行っております。

行内格付制度

貸出金等の信用リスクを客観的に把握するため、子銀行では行内格付制度を導入し、お取引先の信用力を財務データや定性情報等に基づき15段階に細分化し、継続的に格付の推移を把握しております。

また、「グループ与信限度ライン管理規定」に基づき、大口与信先への与信集中状況のモニタリングを行い、過度な与信集中リスクが発生しないよう管理しております。

自己査定基準

自己査定は、自己査定基準に基づき子銀行において資産査定部門が厳格に実施するとともに、その妥当性に関してはリスク管理部門および独立的な立場から内部管理部門において検証を行っております。

企業再生

融資実行後は、お取引先の業況把握、事業計画のフォローを通じて不良債権の発生防止に努めるとともに、不良債権を専門的に管理する体制の構築と、企業再生支援機能の強化を通じた資産の健全化に努めております。

■ 市場リスク管理

基本的考え方

市場リスクとは、金利、株価および為替等の様々な市場のリスク要因の変動により、保有する資産・負債の価値や生み出される収益が変動し、損失を被るリスクを指します。

当社グループでは、市場リスクを伴う取引を主に扱う子銀行において、「市場リスク管理規定」等を定め、資産および負債の総合的管理(ALM)を行い、市場リスクを適切にコントロールして、安定的な収益を確保できる運営に努めております。

■ 流動性リスク管理

流動性リスクには、信用の低下等により、資金繰りがつかなくなったり、通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされて損失を被る資金繰りリスクと、市場の混乱等により取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされて損失を被る市場流動性リスクがあります。

流動性リスクの大宗を占める子銀行では、「流動性リスク管理規定」を制定し、国債など資金化の容易な支払準備資産を十分確保するとともに、管理指標を各種設定し日々モニタリングしております。また万一危機が発生した場合は、危機の段階に応じた対応が取れるよう、流動性リスクの状況をALM・リスク管理委員会等で定期的に報告・協議しております。

当社では子銀行の運用・調達状況を的確に把握し、円滑な資金繰りに万全を期しております。

■ オペレーショナルリスク管理

基本的考え方

オペレーショナルリスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象によって損失を被るリスクを指します。

当社グループでは、「オペレーショナルリスク管理規定」を定め、オペレーショナルリスクを、①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦その他のリスクの7区分に細分化し、これら各種のリスクの状況を、子銀行では毎月開催する「オペレーショナルリスク専門委員会」でモニタリングするとともに、リスクアセスメント等による潜在リスクの把握、未然防止策の評価を通じた、PDCA体制の確立に努めております。

主なカテゴリーごとのリスク管理体制

事務リスク管理

当社グループでは、事務ミス等の発生原因の分析を通じ、再発防止策を検討するとともに、事務の堅確化と相互牽制の観点から、事務処理の本部集中化・効率化を進め、事務リスク削減へ向けた取り組みに努めております。

システムリスク管理

当社グループでは、「システムリスク管理規定」「情報資産の安全性確保に関する基本指針(セキュリティ・ポリシー)」を制定し、厳正な管理・運営体制を敷くとともに、バックアップ体制等各種安全措置の実施や、近年増加傾向にあるサイバー攻撃への迅速な対応を目的としたセキュリティ管理体制の強化に取り組んでおります。

■ 危機管理

当社グループでは、大規模災害等の緊急事態が発生した場合でも、その影響を最小限に抑えるため、「危機管理マニュアル」(コンティンジェンシープラン等)を策定し、情報収集や指揮・命令の一元化等、体制を整備しております。

特に子銀行では、地震や新型インフルエンザ等が発生しても、金融機関に求められる決済機能等の業務が継続できるように、「業務継続計画(BCP)」等を定め、万全の対応ができる体制を整備しております。

基本方針

ほくほくフィナンシャルグループは、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、コンプライアンスの不徹底が経営基盤を揺るがすことを強く認識し、取締役会で基本方針を定め、誠実かつ公正な企業活動を遂行するように努めております。

■ コンプライアンスの基本方針

1. 基本的使命・社会的責任の認識

地域金融機関としての公共的使命と社会的責任を認識し、健全な業務運営により内外の信頼確立に努めます。

2. 質の高い金融サービスの提供

質の高い総合金融サービスの提供により、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの生活の充実・向上に貢献します。

3. 法令やルールへの厳格な遵守

法令やルールを厳格に遵守し、企業倫理・社会通念に逸脱することのないよう公正かつ堅実に行動します。

4. 反社会的勢力の排除

社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力を許さず、毅然とした対応で臨むことで健全な地域社会づくりに寄与します。

5. 経営の透明性確保

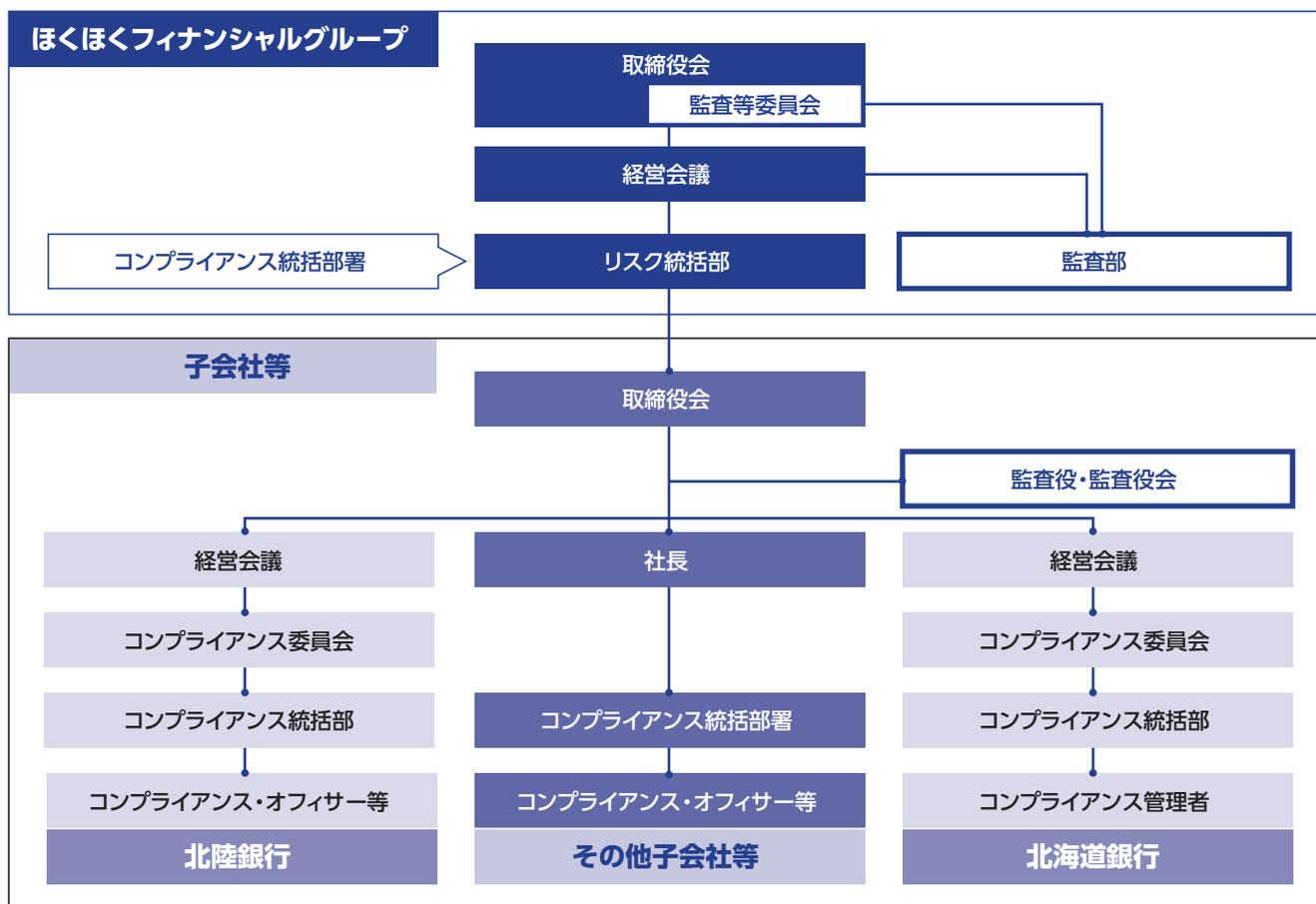
的確で円滑な情報開示と意思決定に努め、透明性の高い経営・組織風土を目指します。

■ 体制

当社グループでは、コンプライアンス体制を確立するため、「コンプライアンス規程」を定め組織体制を整備するとともに、当社とグループ各社が連携して対応しております。

当社においては、リスク統括部をグループ内のコンプライアンス統括部署とし、リスク統括部担当役員をコンプライアンス統括管理者としております。

子銀行の各部店およびグループ各社には、コンプライアンス・オフィサー等を配置し、コンプライアンスに関する職場内の教育・啓蒙等の諸施策を積極的に実施しております。また子銀行では、コンプライアンス統括部署およびコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス態勢の状況把握・改善を図っております。



■ コンプライアンス・マニュアルおよびコンプライアンス・プログラム

コンプライアンスを徹底するため、役職員が遵守すべき基本的な事項をまとめた「コンプライアンス・マニュアル(行動規範)」を制定のうえ、全役職員に配付し、研修や店内勉強会等で内容の周知徹底を図っております。

また取締役会では、体制整備のための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を毎年決定し、定期的にプログラム実施状況の報告を受け、コンプライアンスの確実な実践に努めております。

■ 顧客保護および顧客の利便性向上への取り組み

当社グループは、お客さまの資産、情報およびその他の利益を保護するため、「顧客保護等管理基本規程」の中で「顧客保護等管理方針」を定めております。

さらに、お客さまに対して金融商品取引法等を遵守した適切な説明等を実施し、お客さま相談室等を窓口としてお客さまからの相談や苦情等に適切に対応するために、5つの観点からそれぞれ規定等を制定し、適切に対応する体制を整備しております。またグループ各社のコンプライアンス統括部署が、顧客保護等管理の統括部署となり、それぞれの管理主体部署と連携して、管理体制が十分機能するよう継続的に見直しを図り、問題の解決やデータの分析を通して、各種改善策を策定・実施できる体制としております。

■ 個人情報保護への取り組み

金融業務にとって情報資産の安全性確保は、お客さまの信頼を得るためには欠かせない重要な事項であり、お客さまからお預かりした情報につきましては、厳格な保護・利用を行い、情報の漏洩等を防いでおります。

特に個人情報については、個人情報保護法等を遵守するため、「個人情報保護宣言」等を定め、当社ホームページに掲載・公表しており、地域社会へ貢献できる金融機関として、お客さまから最大限の信頼を得ることができるよう努力してまいります。

顧客保護等管理基本規程

顧客説明
顧客サポート等
顧客情報保護
外部委託
利益相反

顧客保護等管理方針

お客さまとの取引に際しましては、法令等に従って金融商品の説明および情報提供を適切かつ十分に行います。
お客さまからの相談または苦情等につきましては、適切かつ十分に取扱いいたします。
お客さまに関する情報につきましては、法令等に従って適切に取得し、安全に管理いたします。
お客さまとの取引に関連して、私たちの業務を外部委託することにつきましては、お客さまの情報その他お客さまの利益を守るため、適切に外部委託先を管理いたします。
お客さまとの取引に関連して、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適切に管理いたします。

■ 反社会的勢力への対応

当社グループでは、市民社会からの信頼性、金融機関の業務の適切性および健全性を維持するため、「反社会的勢力への対応に係る基本方針」を定めております。

またグループ各社には、マルポー対応統括管理者等を配置しており、警察等と連携を図りながら毅然とした対応をとり、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係を遮断いたします。

■ 内部通報制度

当社グループで不正行為等の早期発見・是正を図るため、内部通報を受け付ける窓口を設置し、牽制も含めてコンプライアンス体制強化が図れる体制を整備しております。

■ マネー・ローンダリング等防止・金融犯罪への対応

近年はキャッシュカードの盗難・搾取や振り込み詐欺等が増加しており、子銀行では、被害の未然防止、セキュリティ強化等を実施するとともに、振り込み詐欺被害者救済法に基づく払い戻しを進める等、被害者の方へも適切に対応しております。

当社グループでは、マネー・ローンダリング等の犯罪防止対策を重要な経営課題と位置づけており、マネー・ローンダリング等防止ポリシーにもとづき、社内の役割分担を明確にし、取引時確認、疑わしい取引の届出、コルレス先の管理等について、適切な措置を適時に実施できる管理態勢を構築しております。また、役職員には研修等による啓蒙を図るとともに、マネー・ローンダリング等防止策の遵守状況については監査を実施する等の態勢改善に努めております。

■ 金融ADR制度への取り組み

お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関と契約を締結しております。指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

指定紛争解決機関：一般社団法人全国銀行協会(銀行)
全国銀行協会相談室
電話番号：0570-017-109 または 03-5252-3772

指定紛争解決機関：特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター(証券)
電話番号：0120-64-5005

お客さま本位の業務運営に向けた取り組み

『フィデューシャリー・デューティー』への取り組み

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券は、「地域共栄」という経営理念のもと、地域社会・お客さまとともに発展していくために、お客さまの資産運用・資産形成にかかわる業務について、『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針のもと、「お客さま本位」の業務運営を行っております。

■ 『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針

1. お客さま本位の徹底

・「地域共栄」という経営理念のもと、お客さま本位の業務運営に努め、金融サービスの提供を通じて、地域経済の安定的発展やお客さまの生活向上に貢献してまいります。

2. お客さまの幅広いニーズにお応えできる商品ラインナップの充実

・お客さまの様々な投資におけるリスクの許容度や、投資の目的・ニーズにお応えできるよう、投資信託や保険商品を含めた商品ラインナップの充実に努めるとともに、お客さまの状況に応じた運用の提案により、資産形成をサポートしてまいります。
・商品選定時には、グループ会社の商品にとらわれることなく商品を選定してまいります。

3. お客さまへの情報提供の充実

・お客さまの投資目的・ニーズに沿った商品を提示し、商品の特性、リスク、手数料などについて、お客さまのご理解の状況を確認しながら、分かり易い説明を行ってまいります。
・手数料等に関して、お客さまにとって分かり易く説明してまいります。
・お客さまの運用状況や市場動向など、お客さまの投資判断のお役に立つ情報の提供に努めます。
・お客さまの資産運用・資産形成に関わる業務を行っている、「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組みます。

4. お客さま本位の提案・販売を行うための組織体制の維持・向上

・商品・サービスについて、お客さま本位の業務運営の実現に向け、職員に対する教育・研修を充実させ、人材を育成してまいります。
・インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。
・お客さまのリスク許容度やニーズを踏まえた提案につながるように、業績評価のあり方の見直しと改善を行ってまいります。
・本基本方針が遵守されているか確認するガバナンス体制を構築してまいります。

■ 2020年度取り組み方針

1. お客さま本位の徹底	
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	・役職員は『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針に基づく考動を行ってまいります。
2. お客さまの幅広いニーズにお応えできる商品ラインナップの充実	
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	・お客さまの資金性格、投資目的、資力やリスク許容度等に応じ、お客さまに商品選択をしていただけるよう、商品ラインナップを見直してまいります。
北陸銀行 北海道銀行	・中長期的な資産形成・運用に資する商品のラインナップを充実させてまいります。 ・リスクを抑えた運用を希望されるお客さまのニーズに対応するため、低リスク商品のラインナップを整備してまいります。 ・少額から資産形成を始めるお客さまがご利用しやすいよう、積立て商品のラインナップを充実させてまいります。 ・商品選定時には、グループ会社の商品にとらわれることなく商品を選定し、特にグループ会社の商品を選択する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ選定してまいります。
ほくほくTT証券	・商品ラインナップには、株式等の市場環境に大きく影響を受けるリスク・リターンの高い商品だけでなく、投資経験の少ないお客さま、高齢のお客さまなどの幅広いニーズにお応えできるようラインナップを整備してまいります。 ・グループ会社に当社の商品を提供する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ提供してまいります。

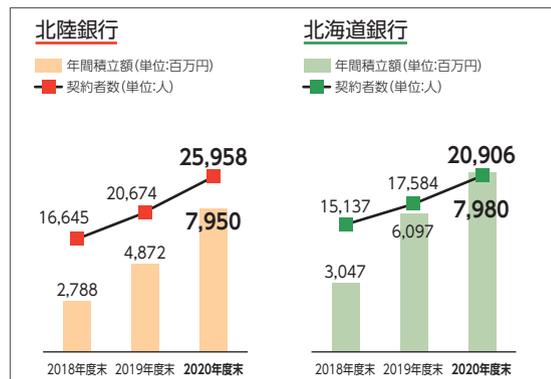
3. お客さまへの情報提供の充実	
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 商品の提案・販売に際しては、お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況やお客さまが受け入れ可能なリスク、投資の目的などを把握した上で、お客さまに商品およびサービスを提案してまいります。特に高齢のお客さまや投資に関する知識や経験が十分でないお客さまに対しては、リスクを抑えた商品を案内するなど、お客さまのニーズに沿った提案を行ってまいります。 商品の説明に際しては、お客さまの理解度を確認しながら説明するよう努めてまいります。 お客さまの投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客さまにご理解いただけるように説明してまいります。
北陸銀行 北海道銀行	<ul style="list-style-type: none"> 商品の提案・販売に際しては、お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況やお客さまが受け入れ可能なリスク、投資の目的などを把握した上で、お客さまに商品およびサービスを提案してまいります。特に高齢のお客さまや投資に関する知識や経験が十分でないお客さまに対しては、リスクを抑えた商品を案内するなど、お客さまのニーズに沿った提案を行ってまいります。 パンフレットなどを活用した情報提供や、お客さま向けセミナーの開催などにより、お客さまの投資判断に資する情報提供を行ってまいります。 お客さまのニーズにお応えするため、ほくほくTT証券などグループ会社の機能も活用し、グループ総合力を活かしたコンサルティングに取り組んでまいります。 お客さまの運用状況や市場環境などを踏まえた情報提供に努めてまいります。
ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 商品の提案・販売に際しては、お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況やお客さまが受け入れ可能なリスク、投資の目的などを把握した上で、お客さまに商品およびサービスを提案してまいります。特に高齢のお客さまや投資に関する知識や経験が十分でないお客さまに対しては、リスクを抑えた商品を案内するなど、お客さまのニーズに沿った提案を行ってまいります。 複雑またはリスクの高い商品については、社内販売資格保有者のみが勧誘できる体制を構築し、お客さまに説明を行ってまいります。 パンフレットなどを活用したお客さまへの案内や、お客さま向けセミナーの開催などによる情報提供を行い、お客さまへ投資知識の習得機会を提供いたします。 お客さまの運用状況や市場環境などを踏まえた情報提供に努めてまいります。
4. お客さま本位の提案・販売を行うための組織体制の維持・向上	
北陸銀行 北海道銀行	<ul style="list-style-type: none"> 行内外の研修やFP(ファイナンシャル・プランナー)等外部資格の取得推奨や行内資格制度の拡充を通じ、商品や投資環境に関する知識・スキルの強化を図り、人材の育成に努めてまいります。 タブレット端末の活用やインターネットによる照会サービス等により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。 お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるよう、業績評価体系の見直しを行ってまいります。
ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 研修や外部専門資格の取得推奨等を通じ、商品や投資環境に関する知識やスキルの強化を図り、お客さまのニーズに応えられるプロフェッショナルな人材を育成してまいります。 当社では、インターネット取引や対面取引が利用できます。お客さまのご意向に応じた取引形態を用意しており、幅広い年齢層のお客さまにご利用いただきやすい環境を整備してまいります。 お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるよう、顧客基盤の拡大や、預かり資産残高等の継続的な拡大を評価する業績評価体系を導入してまいります。

■ 2020年度KPI

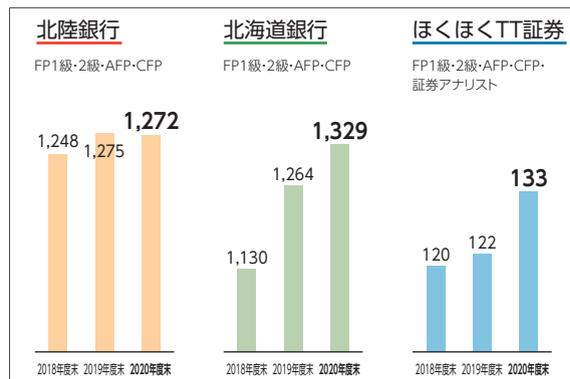
- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| ① NPSアンケート結果 | ⑥ お客さまセミナー開催状況 |
| ② 積立型投資信託契約者数・年間積立額 | ⑦ 投資信託・ファンドラップの運用損益別のお客さま割合 |
| ③ NISA利用者数 | ⑧ 投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン |
| ④ 投資信託の販売上位10銘柄の販売金額・構成比 | ⑨ 投資信託の預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン |
| ⑤ 人材育成・FP資格取得者数 | |

■ 2020年度主なKPI進捗状況

積立型投資信託契約者数・年間積立額



人材育成・FP資格取得者数



会社概要

プロフィール

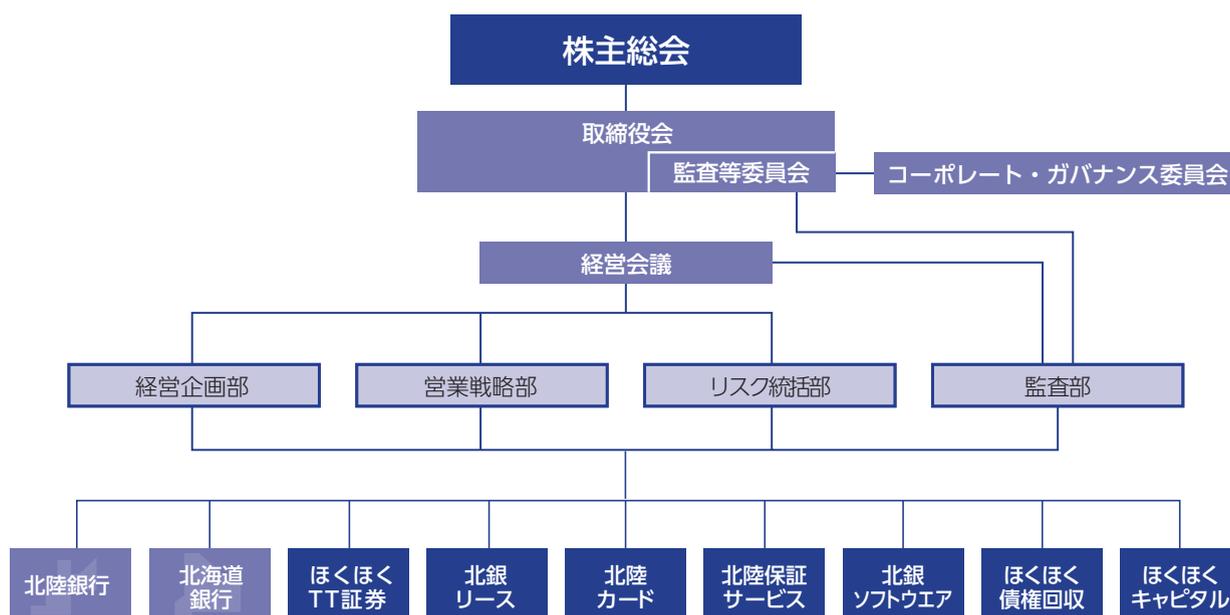


(2021年3月末現在)

設立日	2003年9月26日	従業員数	専任者6名
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	総資産(連結)	16兆6,354億円
事業目的	傘下子会社の経営管理、および附帯業務、 その他銀行法が認める業務	預金(連結) (譲渡性預金を含む)	12兆7,889億円
資本金	708億9,500万円	貸出金(連結)	9兆 504億円
発行済株式数	普通株式 132,163,014株 第1回第5種優先株式 85,955,000株	連結自己資本比率 (国内基準)	9.45%
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所		

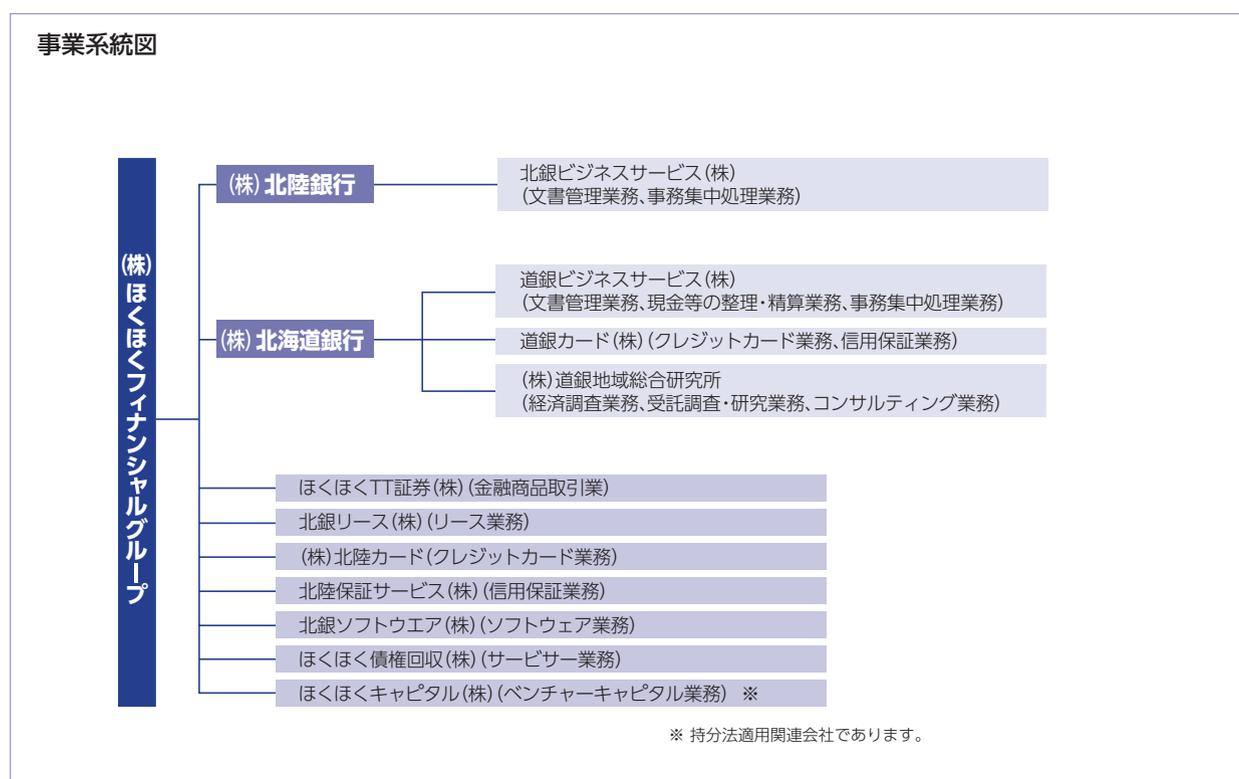
組織図

(2021年6月25日現在)



事業の内容

当社グループは、当社、連結子会社12社および関連会社1社で構成され、銀行業務を中心に金融商品取引業、リース業務、クレジットカード業務、信用保証業務、ベンチャーキャピタル業務などの幅広い各種金融サービスを提供しており、事業系統は次のとおりであります。



重要な子会社等

(単位:百万円、%)

会社名	所在地	主要な業務内容	設立年月日	資本金	当社 議決権比率	当社への 配当額
株式会社北陸銀行	富山市堤町通り1丁目2番26号	銀行業務	1943年 7月 31日	140,409	100.00	7,228
株式会社北海道銀行	札幌市中央区大通西4丁目1番地	銀行業務	1951年 3月 5日	93,524	100.00	-
ほくほくTT証券株式会社	富山市丸の内1丁目8番10号	金融商品取引業	2016年 4月 21日	1,250	60.00	-
北銀リース株式会社	富山市荒町2番21号	リース業務	1983年 7月 21日	100	70.25	-
株式会社北陸カード	富山市新富町1丁目2番1号	クレジットカード業務	1983年 3月 2日	36	87.39	3
北陸保証サービス株式会社	富山市堤町通り1丁目2番26号	信用保証業務	1978年 12月 12日	50	100.00	-
北銀ソフトウェア株式会社	富山市東田地方町1丁目5番25号	ソフトウェア業務	1986年 5月 1日	30	100.00	-
ほくほく債権回収株式会社	富山市中央通り1丁目6番8号	サービサー業務	2003年 12月 5日	500	100.00	-
北銀ビジネスサービス株式会社	富山市鶴島1883番地	文書管理、 事務集中処理業務	1953年 3月 25日	30	(100.00)	-
道銀ビジネスサービス株式会社	札幌市白石区東札幌3条1丁目2-33 東札幌道銀ビル	文書管理、現金等の整理・ 精算、事務集中処理業務	1979年 6月 8日	50	(100.00)	-
道銀カード株式会社	札幌市中央区南2条西2丁目14番地	クレジットカード業務、 信用保証業務	1977年 6月 13日	120	(100.00)	-
株式会社道銀地域総合研究所	札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル	経済調査業務、受託調査・ 研究業務、コンサルティング業務	2002年 8月 8日	100	(100.00)	-
ほくほくキャピタル株式会社	富山市中央通り1丁目6番8号	ベンチャーキャピタル業務	1985年 1月 11日	250	5.00 (38.75)	-

※ 議決権比率欄の()は、子会社における間接所有を含めた当社議決権比率であります。

北陸銀行

ロゴマーク



ホームページアドレス

<https://www.hokugin.co.jp/>

創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、1877年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。創業以来、地域のお客さまとともに歩み続け、北陸・北海道そして三大都市にまたがる広域店舗網を有する銀行へと成長してきました。「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」という経営理念のもと、これまで築いてきた経営資源を最大限に活用し、質の高い総合金融サービスを提供し、地域に「親生まれ、頼りにされる銀行」を目指してまいります。



会社概要 (2021年3月末)

商号	株式会社北陸銀行	
事業内容	銀行業務	
設立年月日	1943年7月31日(創業1877年)	
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	
総資産	9兆8,572億円	
預金(譲渡性預金を含む)	7兆3,505億円	
貸出金	5兆333億円	
発行済株式数		
普通株式	1,047,542千株	
自己資本比率(単体)	9.14%	
従業員数	2,365人	
店舗数等(国内)	188	(本支店145、出張所43)
(2021年6月末)	(海外) 5	(駐在員事務所5)

沿革

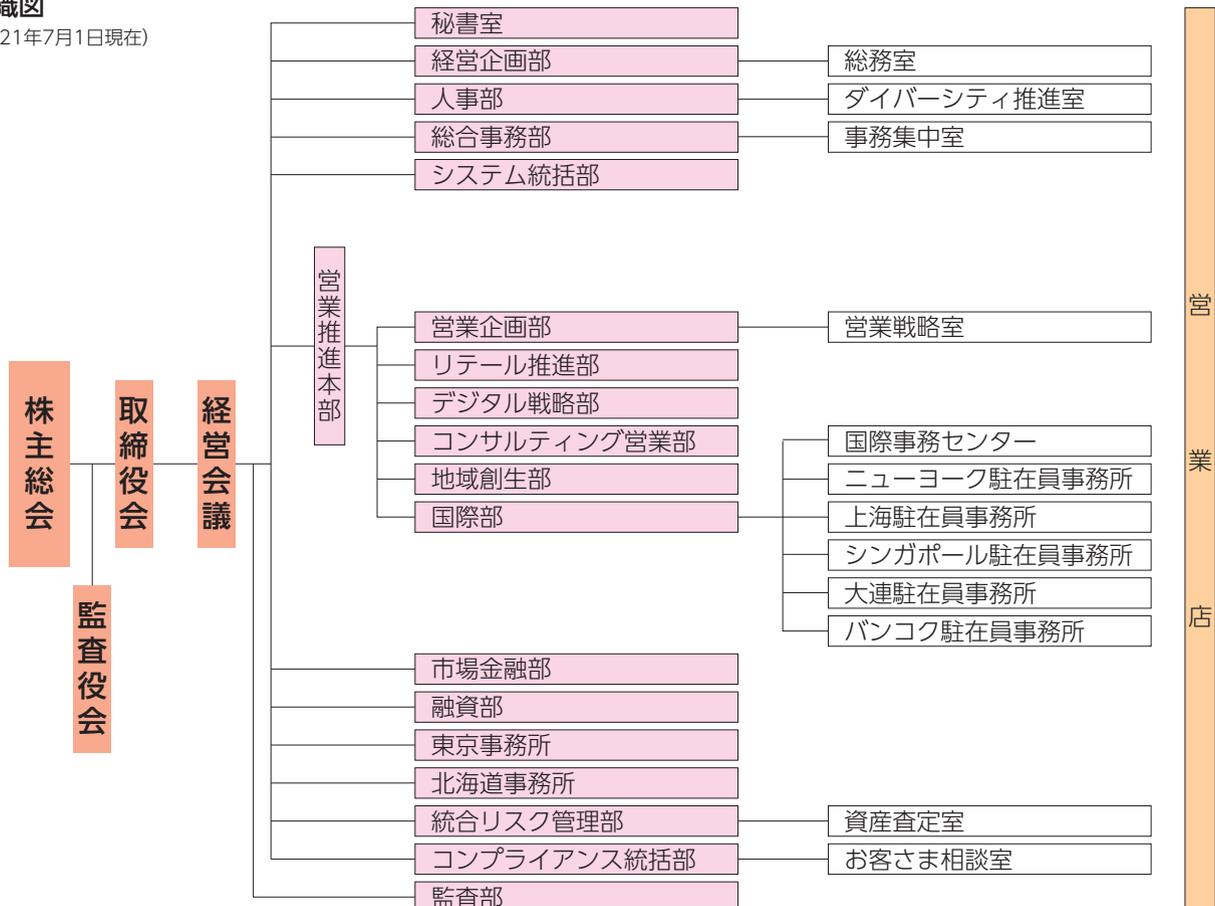
1877年	8月	金沢第十二国立銀行開業(創業)
1879年	2月	富山第二百二十三国立銀行開業
1884年	1月	富山第二百二十三国立銀行と金沢第十二国立銀行が合併し、富山第十二国立銀行を設立、本店を富山市に置く
1897年	7月	富山第十二国立銀行、株式会社十二銀行と改称
1943年	7月	十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
1950年	1月	外国為替業務開始(地銀で初めて)
1961年	9月	東京証券取引所に上場
1961年	11月	現本店竣工
1971年	1月	コルレス包括承認銀行となる
1973年	11月	第一次オンラインシステム稼働
1974年	3月	外国為替取扱店の新設包括許可
1978年	7月	円建・外貨シンジケートローン包括許可
1979年	10月	第二次オンラインシステム稼働
1981年	11月	外国為替オンラインシステム稼働
1984年	1月	ファームバンキングサービス開始
1987年	5月	VI(ビジュアル・アイデンティティ)導入
1990年	8月	第三次オンラインシステム稼働
1993年	11月	信託代理店業務取扱開始
1998年	12月	証券投資信託窓口販売業務取扱開始
2000年	6月	インターネット・モバイルバンキング開始
2000年	7月	新コンピュータセンター(アルプスビル)竣工
2001年	1月	新コンピュータシステム稼働
2001年	4月	損害保険窓口販売業務取扱開始
2002年	2月	第三者割当増資391億円により新資本金1,404億円となる
2002年	2月	コンビニATMサービス開始
2002年	10月	生命保険窓口販売業務取扱開始
2003年	3月	石川銀行の営業の一部を譲り受け
2003年	9月	株式移転により親会社である株式会社ほくぎんフィナンシャルグループを設立し、その子会社となる
2004年	9月	北海道銀行と経営統合し、親会社の名称を株式会社ほくぎんフィナンシャルグループに変更
2004年	12月	証券仲介業取扱開始
2011年	5月	北海道銀行、横浜銀行とシステム共同利用を開始
2013年	12月	本店建物が有形文化財(建築物)に登録される
2015年	10月	個人コンサルティング拠点「ほくぎんプラザ」開設
2019年	4月	信託業務取扱開始
2019年	7月	人材紹介業務取扱開始

主要な業務内容

預金業務	(1) 預 金	当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
	(2) 譲渡性預金	譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
貸出業務	(1) 貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
	(2) 手形・電子記録債権の割引	銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取り扱っております。
商品有価証券売買業務	国債等公共債の売買業務を行っております。	
有価証券投資業務	預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。	
内国為替業務	送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。	
外国為替業務	輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。	
社債等受託業務	社債等の受託業務、公共債の募集受託に関する業務を行っております。	
信託・相続業務	金銭信託（遺言代用信託、暦年贈与型信託）、遺言信託、遺産整理業務を行っております。	
附帯業務	(1) 代理業務	<ul style="list-style-type: none"> ●日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 ●地方公共団体の公金取扱業務 ●勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ●株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ●日本政策金融公庫等の代理貸付業務 ●信託代理店業務 ●住宅金融支援機構代理店業務
	(2) 保護預かりおよび貸金庫業務、有価証券の貸付、債務の保証（支払承諾）、公共債の引受、国債等公共債および証券投資信託の窓口販売および金融商品仲介業務、保険商品の窓口販売、コマーシャルペーパー等の取り扱い、確定拠出年金運営管理業務、有価証券の私募の取り扱い、金利・通貨等のデリバティブ取引、人材紹介業務	

組織図

(2021年7月1日現在)



北海道銀行

ロゴマーク



ホームページアドレス

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

創業

北海道銀行は、戦後復興期の1951年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根差したどさんこバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。



会社概要 (2021年3月末)

商号	株式会社北海道銀行
事業内容	銀行業務
設立年月日	1951年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
総資産	6兆7,375億円
預金(譲渡性預金を含む)	5兆4,651億円
貸出金	4兆317億円
発行済株式数	
普通株式	486,634千株
第一回第二種優先株式	85,945千株
自己資本比率(単体)	8.88%
従業員数	2,137人
店舗数等(国内)	144(本支店136、出張所8)
(2021年6月末)	(海外) 3(駐在員事務所3)

沿革

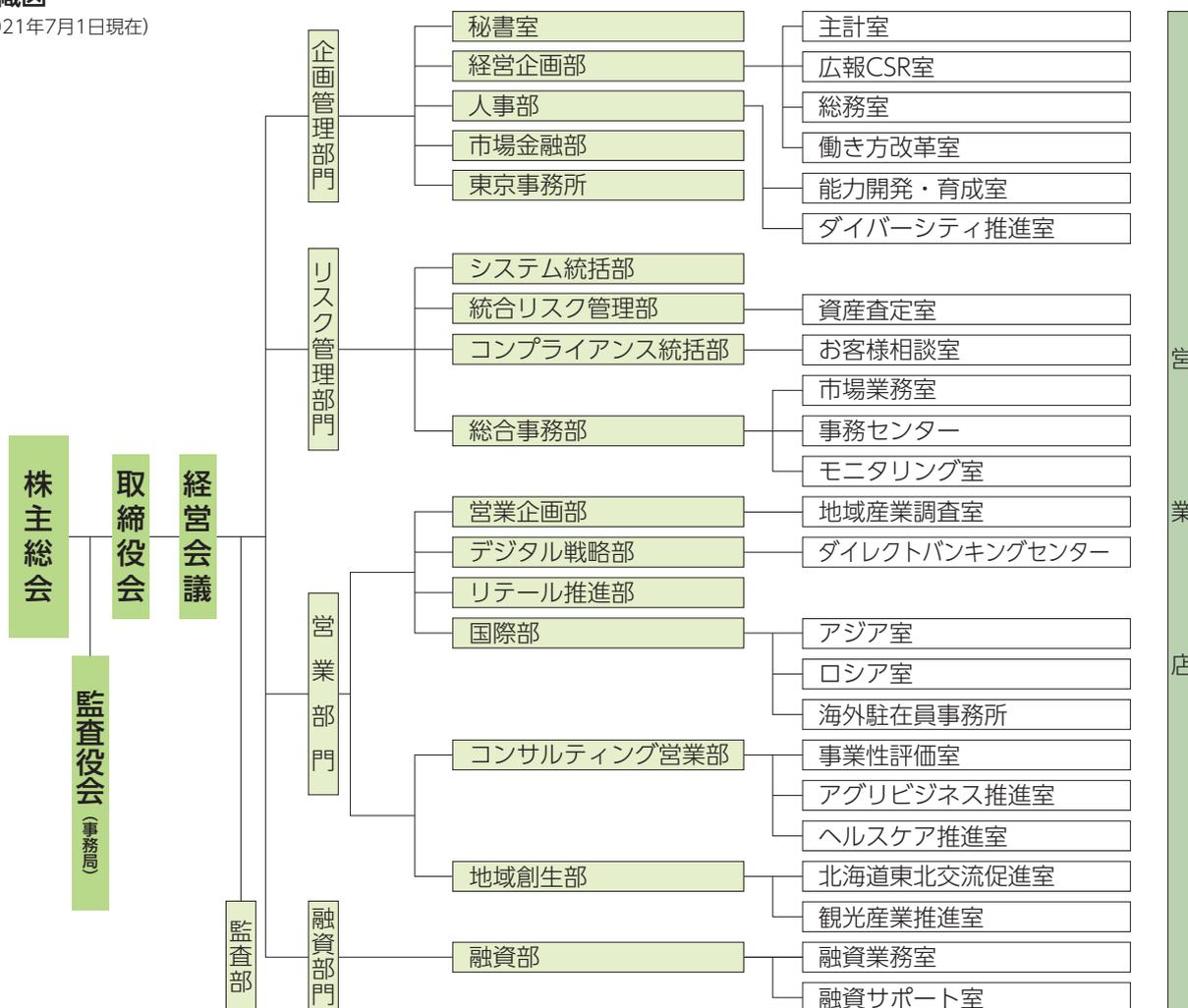
1951年	3月	「株式会社 北海道銀行」設立
1961年	4月	外国為替業務開始
1962年	5月	札幌証券取引所に株式上場
1964年	8月	現本店竣工
1971年	6月	第一次オンラインシステム稼働
1976年	7月	第二次オンラインシステム稼働
1980年	12月	コルレス包括承認銀行となる
1981年	4月	財団法人北海道銀行中小企業人材育成基金を設立
1986年	6月	外国為替オンラインシステム稼働
1987年	9月	東京証券取引所一部に上場
1990年	10月	東札幌道銀ビル竣工
1991年	3月	財団法人道銀文化財団を設立
1991年	10月	外国為替新オンラインシステム稼働
1991年	11月	道銀ビル別館竣工
1993年	1月	第三次オンラインシステム稼働
1994年	4月	信託代理店業務取扱開始
1998年	12月	証券投資信託窓口販売業務取扱開始
1999年	7月	第一回第二種優先株式発行(発行総額537億16百万円)
1999年	11月	テレホンバンキングサービス開始
2000年	6月	インターネット・モバイルバンキング開始
2001年	4月	損害保険窓口販売業務取扱開始
2002年	10月	生命保険窓口販売業務取扱開始
2003年	12月	ビジネスローンプラザ開設
2004年	4月	コンビニATMサービス開始
2004年	9月	北陸銀行を子会社に持つ株式会社ほくぞんフィナンシャルグループと経営統合し、株式会社ほくほくフィナンシャルグループを発足
2005年	4月	証券仲介業取扱開始
2006年	3月	北陸銀行、横浜銀行とシステム共同利用の契約締結
2006年	8月	瀋陽駐在員事務所開設
2009年	3月	ユジノサハリンスク駐在員事務所開設
2010年	1月	台湾ATM開始
2011年	5月	北陸銀行、横浜銀行とシステム共同利用を開始
2014年	3月	ウラジオストク駐在員事務所開設
2019年	3月	口座開設プラザ(地下鉄大通駅出張所)開設
2019年	4月	NISEKO出張所開設

主要な業務内容

預金業務	(1) 預 金	当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
	(2) 譲渡性預金	譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
貸出業務	(1) 貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
	(2) 手形・電子記録債権の割引	銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取り扱っております。
商品有価証券売買業務	国債等公共債の売買業務を行っております。	
有価証券投資業務	預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。	
内国為替業務	送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。	
外国為替業務	輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。	
社債等受託業務	社債等の受託業務、公共債の募集受託に関する業務を行っております。	
附帯業務	(1) 代理業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行歳入代理店業務 ● 地方公共団体の公金取扱業務 ● 勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ● 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ● 日本政策金融公庫等の代理貸付業務 ● 信託代理店業務 ● 住宅金融支援機構代理店業務
	(2)	保護預かりおよび貸金庫業務、有価証券の貸付、債務の保証(支払承諾)、公共債の引受、国債等公共債および証券投資信託の窓口販売および金融商品仲介業務、保険商品の窓口販売、コマースペーパー等の取り扱い、確定拠出年金運営管理業務、有価証券の私募の取り扱い、金利・通貨等のデリバティブ取引

組織図

(2021年7月1日現在)



店舗ネットワーク

北陸銀行

富山県		
富山市		
本店営業部	富山市堤町通り1丁目2番26号 TEL.076-423-7111	⊕ ⊕ 祝 信 為 両 貸
荒町支店(本店営業部内)		
電気ビル支店(本店営業部内)		
北電ビル出張所(本店営業部内)		
富山市役所出張所	富山市新桜町7番38号 TEL.076-431-2322	
富山駅前支店	富山市新富町一丁目2番1号 TEL.076-432-8551	⊕ ⊕ 祝 為 貸
橋北出張所(富山駅前支店内)		
県庁内支店	富山市新総曲輪1番7号 TEL.076-441-2038	
富山丸の内支店	富山市丸の内一丁目8番10号 TEL.076-441-3486	⊕ ⊕ 祝 為 貸
越前町支店	富山市一番町1番1号 TEL.076-421-5591	⊕ ⊕ 祝 為 貸
中野出張所(越前町支店内)		
西田地方出張所(越前町支店内)		
堀川支店	富山市小泉町179番地 TEL.076-424-3446	⊕ ⊕ 祝
清水町支店	富山市元町一丁目6番1号 TEL.076-421-3191	⊕ ⊕ 祝 為 貸
向川原町支店(清水町支店内)		
藤の木支店(清水町支店内)	富山市元町一丁目6番1号(仮店舗) TEL.076-424-4444	
稻荷町出張所	富山市龍出町1丁目9番17号 TEL.076-441-4408	★ ⊕ ⊕ 祝 為
中央病院出張所	富山市西長江二丁目2番78号 TEL.076-424-8233	★ ⊕ ⊕ 祝
新庄支店	富山市荒川二丁目25番47号 TEL.076-441-3496	⊕ ⊕ 祝 為 両 貸
富山問屋町出張所	富山市問屋町二丁目11番35号 TEL.076-451-6611	⊕ ⊕ 祝
金泉寺出張所	富山市五本榎9番2 TEL.076-451-4600	★ ⊕ ⊕ 祝 為
岩瀬支店	富山市東岩瀬町110番地 TEL.076-437-9225	★ ⊕ ⊕ 祝 為
奥田支店	富山市永楽町40番10号 TEL.076-441-4861	⊕ ⊕ 祝 為 貸
中島出張所(奥田支店内)		
四方支店	富山市四方245番地1 TEL.076-435-1211	★ ⊕ ⊕ 祝
速星支店	富山市神中町速星588番地 TEL.076-466-2101	⊕ ⊕ 祝 為 貸
八尾支店	富山市八尾町東町2108番地 TEL.076-454-3101	⊕ ⊕ 祝 為 貸
呉羽支店	富山市呉羽町7100番地4 TEL.076-436-5111	⊕ ⊕ 祝 為 貸
大沢野支店	富山市長附234番地 TEL.076-467-2301	⊕ ⊕ 祝 為 貸
上滝支店	富山市上滝413番地 TEL.076-483-1111	★ ⊕ ⊕ 祝 為
水橋支店	富山市水橋町18番地 TEL.076-478-2121	★ ⊕ ⊕ 祝 為
高原町支店	富山市高屋敷854番地 TEL.076-423-5551	⊕ ⊕ 祝 為
五福支店	富山市五福3393番地2 TEL.076-441-5722	⊕ ⊕ 祝 為
豊田支店	富山市豊田本町二丁目11番25号 TEL.076-438-5555	⊕ ⊕ 祝 為 貸
東富山出張所	富山市中田1丁目6番10号 TEL.076-437-4600	★ ⊕ ⊕ 祝 為
南富山支店	富山市堀川町204番地 TEL.076-422-1166	⊕ ⊕ 祝 為 貸
熊野出張所(南富山支店内)		
月岡出張所	富山市月見町4丁目72番地 TEL.076-429-0687	★ ⊕ ⊕ 祝
富山南中央支店	富山市掛尾栄町4番58 TEL.076-421-1121	⊕ ⊕ 祝 信 為 両 貸
富山市場出張所(富山南中央支店内)		
富山市民病院出張所(富山南中央支店内)		

魚津市		
魚津支店	魚津市中央通り一丁目1番20号 TEL.0765-22-4111	⊕ ⊕ 祝 信 為 両 貸
魚津駅前支店	魚津市釈迦堂一丁目1110番地 TEL.0765-24-7111	⊕ ⊕ 祝 為 貸
滑川市		
滑川支店	滑川市下小泉町83番地9 TEL.076-475-2101	⊕ ⊕ 祝 為 貸
上市町		
上市支店	中新川郡上市町三日市47番地の16 TEL.076-472-2111	⊕ ⊕ 祝 為 貸
立山町		
立山支店	中新川郡立山町前沢1191番地 TEL.076-463-1115	⊕ ⊕ 祝 為
黒部市		
黒部支店	黒部市新牧野384番地 TEL.0765-52-1212	⊕ ⊕ 祝 為 両 貸
生地出張所(黒部支店内)		
YKK支店	黒部市飯沢6120番地5 TEL.0765-57-0260	★ ⊕ ⊕ 祝
宇奈月支店	黒部市宇奈月温泉7番地31 TEL.0765-62-1201	★ ⊕ ⊕ 祝 為
入善町		
入善支店	下新川郡入善町入善5235番地 TEL.0765-72-1151	⊕ ⊕ 祝 為 貸
朝日町		
泊支店	下新川郡朝日町泊302番地 TEL.0765-82-1122	⊕ ⊕ 祝 為 貸
高岡市		
高岡支店	高岡市片原町1番地の1 TEL.0766-23-2233	⊕ ⊕ 祝 信 為 両 貸
高岡駅前出張所	高岡市下関町185番地11 TEL.0766-23-0007	⊕ ⊕ 祝 為
高岡市役所出張所	高岡市広小路7番50号 TEL.0766-23-8795	
昭和通支店	高岡市昭和三丁目1番5号 TEL.0766-23-0003	⊕ ⊕ 祝 為 貸
西高岡出張所(昭和通支店内)		
羽広出張所(昭和通支店内)		
高岡広小路支店	高岡市丸の内2番11号 TEL.0766-23-0005	⊕ ⊕ 祝 為 貸
能町出張所(高岡広小路支店内)		
伏木支店	高岡市伏木錦町9番20号 TEL.0766-44-1212	⊕ ⊕ 祝 為 貸
戸出支店	高岡市戸出町三丁目11番13号 TEL.0766-63-1234	⊕ ⊕ 祝 為 貸
中田支店	高岡市下麻生1328番地の1 TEL.0766-36-1122	★ ⊕ ⊕ 祝 為
福岡支店	高岡市福岡町福岡1083番地 TEL.0766-64-3131	⊕ ⊕ 祝 為
高岡南中央支店	高岡市赤祖父431番地 TEL.0766-24-2288	⊕ ⊕ 祝 為 貸
高岡総合市場出張所(高岡南中央支店内)		
高岡清水町支店	高岡市清水町三丁目5番55号 TEL.0766-23-3555	★ ⊕ ⊕ 祝 為
野村支店	高岡市野村413番地8 TEL.0766-24-6668	⊕ ⊕ 祝 為
射水市		
新湊支店	射水市立町7番8号 TEL.0766-82-3101	⊕ ⊕ 祝 為 両 貸
新湊西出張所(新湊支店内)		
堀岡出張所	射水市草園町2丁目9番地の12 TEL.0766-86-1101	★ ⊕ ⊕ 祝
大門支店	射水市大門67番地 TEL.0766-52-0003	⊕ ⊕ 祝 為 貸
小杉支店	射水市三ヶ3313番地の18 TEL.0766-55-2345	⊕ ⊕ 祝 為 貸
大島支店	射水市小島3747番地の1 TEL.0766-52-4656	★ ⊕ ⊕ 祝 為
太閤山支店	射水市中太閤山1丁目1番地7 TEL.0766-56-3660	⊕ ⊕ 祝 為 貸
氷見市		
氷見支店	氷見市本町16番19号 TEL.0766-74-0800	⊕ ⊕ 祝 為 貸

休日自動機稼働状況等 ㊦土曜稼働店 ㊧日曜稼働店 ㊨祝日稼働店 ㊩信託代理業務取扱店 ㊪外国為替取扱店 ㊫外貨両替取扱店 ㊬貸金庫取扱店 ★9:00~15:00の間に休業を設定している店舗

小矢部市
石動支店 小矢部市本町2番5号 TEL.0766-67-1001
津沢支店 小矢部市津沢420番地の2 TEL.0766-61-3456
砺波市
砺波支店 砺波市本町5番17号 TEL.0763-32-3011
庄川支店 砺波市庄川町青島538番地の4 TEL.0763-82-6677
南砺市
福野支店 南砺市福野1831番地 TEL.0763-22-2131
井波支店 南砺市山見1739番地6 TEL.0763-82-1212
福光支店 南砺市福光6788番地の1 TEL.0763-52-1234
城端支店 南砺市城端564番地の1 TEL.0763-62-1234

石川県
金沢市
金沢支店 金沢市南町5番28号 TEL.076-263-5131
犀川支店(金沢支店内)
東大通支店 金沢市元町二丁目16番2号 TEL.076-252-3222
橋場出張所 金沢市橋場町3番15号 TEL.076-261-7125
東金沢出張所 金沢市大樋町4番14号 TEL.076-251-7822
金沢駅前支店 金沢市本町二丁目15番1号 TEL.076-261-8227
英町出張所(金沢駅前支店内)
小立野支店 金沢市石引一丁目12号15号 TEL.076-221-4121
賢坂辻支店 金沢市兼六元町15番28号 TEL.076-263-5321
金沢問屋町支店 金沢市問屋町一丁目115番地4 TEL.076-237-5401
泉野支店 金沢市泉野出町3丁目1番1号 TEL.076-242-3661
金沢中央支店 金沢市駅西本町一丁目15番35号 TEL.076-223-2191
新神田支店 金沢市新神田一丁目9番22号 TEL.076-291-3451
西金沢出張所 金沢市米泉町7丁目28番地4 TEL.076-244-1711
光が丘支店 金沢市光が丘1丁目127番地 TEL.076-298-7772
大徳支店 金沢市松村町又8番1 TEL.076-268-8600
金沢南中央支店 金沢市寺地一丁目32番38号 TEL.076-243-1880
野町出張所(金沢南中央支店内)
もりの里支店 金沢市もりの里一丁目206番地 TEL.076-222-1711

野々市市
野々市支店 野々市市本町二丁目290番地 TEL.076-246-2911
金沢西インター支店 野々市市御経塚四丁目84番地 TEL.076-240-7000

白山市
美川支店 白山市美川中町30番地 TEL.076-278-2323
松任支店 白山市ハツ矢町619番 TEL.076-276-8855

能美市
能美支店 能美市五間堂町1番地1 TEL.0761-57-2000

小松市
小松支店 小松市京町97番地 TEL.0761-22-2481
小松南支店 小松市本折町62番地 TEL.0761-22-2211

加賀市
大聖寺支店 加賀市大聖寺南町ホ4番2 TEL.0761-72-1212
山代支店 加賀市山代温泉温泉通39番1 TEL.0761-77-1460
山中支店 加賀市山中温泉湯の本町ラ3番地の2 TEL.0761-78-0117

津幡町
津幡支店 河北郡津幡町字清水イ125番地 TEL.076-288-3311

かほく市
かほく支店 かほく市高松ツ57番地 TEL.076-281-1101

羽咋市
羽咋支店 羽咋市中央町ア21番地2 TEL.0767-22-1177

七尾市
七尾支店 七尾市一本杉町118番地 TEL.0767-53-2200

輪島市
輪島支店 輪島市河井町参部68番地 TEL.0768-22-1111

珠洲市
珠洲支店 珠洲市野々江町二部45番地1 TEL.0768-82-1212

福井県
福井市
福井支店 福井市中央一丁目7番15号 TEL.0776-24-5555
福井駅前出張所(福井支店内)

花堂出張所 福井市花堂南2丁目1番13号 TEL.0776-35-0455
福井松本支店 福井市松本二丁目4番15号 TEL.0776-23-2680
開発出張所(福井松本支店内)

福井西中央支店 福井市学園二丁目5番8号 TEL.0776-23-2840
木田支店 福井市毛矢1丁目10番1号 TEL.0776-35-1520
福井東支店 福井市西方一丁目1番1号 TEL.0776-21-8830
二の宮支店 福井市二の宮四丁目3番10号 TEL.0776-23-6611
米松支店 福井市松城町11番3号 TEL.0776-54-4686

あわら市
金津支店 あわら市春宮二丁目4番1号 TEL.0776-73-1122
芦原支店 あわら市温泉一丁目523番地 TEL.0776-77-2510

坂井市
三国支店 坂井市三国町南本町一丁目2番40号 TEL.0776-81-2880

勝山市
勝山支店 勝山市本町二丁目5番11号 TEL.0779-88-1313

大野市
大野支店 大野市元町7番22号 TEL.0779-66-3230

越前市
武生支店 越前市蓮葉町6番27号 TEL.0778-23-2211
武生東出張所 越前市園高2丁目第44号4番地の1 TEL.0778-22-5022
今立支店 越前市粟田部町第26番1番地 TEL.0778-42-0811

鯖江市
鯖江支店 鯖江市本町四丁目8番23号 TEL.0778-51-2240
神明支店 鯖江市三六町二丁目5番12号 TEL.0778-51-6131

店舗ネットワーク

休日自動機稼働状況等
 ㊦土曜稼働店 ㊧日曜稼働店 ㊨祝日稼働店
 ㊩信託代理業務取扱店 ㊪外国為替取扱店 ㊫外貨両替取扱店 ㊬貸金庫取扱店
 ★9:00～15:00の間に休業を設定している店舗

北陸銀行

敦賀市	
敦賀支店	敦賀市本町二丁目11番1号 TEL.0770-22-5333 ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬
敦賀西出張所(敦賀支店内)	

北海道	
札幌市	
札幌支店	札幌市中央区南2条西二丁目14番地 TEL.011-241-7531 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬
苗穂支店	札幌市東区北十三条東七丁目5番1号 TEL.011-731-4131 ★ ㊪㊫㊬
元町出張所(苗穂支店内)	
豊平支店	札幌市豊平区豊平四条二丁目6番3号 TEL.011-811-2291 ★㊦㊧㊨㊩ ㊪㊫㊬
琴似支店	札幌市西区山の手二条一丁目5番1号 TEL.011-611-0201 ★㊦㊧㊨㊩ ㊪㊫㊬
麻生支店	札幌市北区北三十九条西四丁目1番6号 TEL.011-709-1581 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬
東篠路出張所	札幌市北区拓北6条3丁目1番15号 TEL.011-772-5211 ★
西岡支店	札幌市豊平区西岡3条5丁目5番8号 TEL.011-853-9161 ★㊦㊧㊨㊩ ㊪㊫㊬
白石支店	札幌市白石区南郷通十三丁目南5番16号 TEL.011-862-1151 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

江別市	
江別支店	江別市七条六丁目1番地 TEL.011-382-2012 ★ ㊪㊫㊬

函館市	
函館支店	函館市若松町20番1号 TEL.0138-26-5001 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬
五稜郭支店	函館市本町2番1号 TEL.0138-55-2511 ★ ㊪㊫㊬
函館東支店	函館市中道二丁目49番17号 TEL.0138-53-9511 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

小樽市	
小樽支店	小樽市福穂二丁目8番11号 TEL.0134-23-7111 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬
奥沢出張所(小樽支店内)	

苫小牧市	
苫小牧支店	苫小牧市錦町二丁目6番22号 TEL.0144-34-8181 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

旭川市	
旭川支店	旭川市三条通十丁目2189番地 TEL.0166-23-4111 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

釧路市	
釧路支店	釧路市北大通十丁目1番地4 TEL.0154-22-5126 ★㊦㊧ ㊪㊫㊬

帯広市	
帯広支店	帯広市大通南八丁目18・20番地 TEL.0155-23-6131 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

東京都	
東京支店	中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー5階 TEL.03-3241-7771 ★ ㊪㊫㊬㊭㊮
浅草支店	台東区雷門二丁目12番10号 TEL.03-3843-4181 ★ ㊪㊫㊬
新宿支店	新宿区西新宿七丁目20番3号 TEL.03-5389-7111 ★ ㊪㊫㊬
渋谷支店	渋谷区渋谷三丁目10番13号 TEL.03-3486-5250 ★ ㊪㊫㊬
上野支店	台東区上野五丁目1番1号 TEL.03-3834-3701 ★ ㊪㊫㊬
白山支店	文京区白山五丁目1番3号-101 TEL.03-3816-5751 ★ ㊪㊫㊬

神奈川県	
横浜支店	横浜市神奈川区冨家町1番地 TEL.045-434-4111 ★ ㊪㊫㊬

新潟県	
新潟支店	新潟市中央区東堀前通七番町1072番地2 TEL.025-222-0521 ★ ㊪㊫㊬

長野県	
長野支店	長野市上千歳町1137番地23 TEL.026-233-5800 ★ ㊪㊫㊬

愛知県	
名古屋支店	名古屋市中区錦三丁目5番27号 TEL.052-961-5371 ★ ㊪㊫㊬㊭㊮
金山橋支店	名古屋市中区金山一丁目13番10号 TEL.052-321-6461 ★ ㊪㊫㊬
中村支店	名古屋市中村区椿町17番16号 TEL.052-452-0101 ★ ㊪㊫㊬

岐阜県	
高山支店	高山市本町二丁目71番地 TEL.0577-32-1300 ★㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

大阪府	
大阪支店	大阪府中央区平野町三丁目2番13号 TEL.06-6202-0961 ★ ㊪㊫㊬㊭㊮
今里支店	大阪府東成区大今里西二丁目18番5号 TEL.06-6972-1231 ★ ㊪㊫㊬
平野支店	大阪府平野区平野東三丁目1番19号 TEL.06-6792-9500 ★ ㊪㊫㊬

京都府	
京都支店	京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659番地 TEL.075-221-7011 ★ ㊪㊫㊬

海外	
ニューヨーク駐在員事務所	780 Third Avenue, 28th Floor, New York, NY10017, U.S.A TEL.1-212-355-3883
シンガポール駐在員事務所	6 Battery Road #15-02 Singapore 049909, Singapore TEL.65-6534-0010
バンコク駐在員事務所	23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuartier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL.66-2-261-8495
上海駐在員事務所	中国上海市長寧区延安西路2201号上海国際貿易中心6楼602号室 TEL.86-21-6270-8108
大連駐在員事務所	中国遼寧省大連市西崗区中山路147号大連森茂大廈7F TEL.86-411-3960-8018

コールセンター	
ほくぎんほっとコールセンター	富山市中央通り1丁目6番8号 TEL.076-423-7227

その他	
ほくぎんダイレクト支店	富山市中央通り1丁目6番8号 TEL.0120-338-865
国際事務センター	東京都千代田区神田富山町2神田東日本ビル5階 TEL.03-3252-8350

このほか、コンビニATM支店、らいちょう支店、神通支店があります。

休日自動機稼働状況等
土曜稼働店 日曜稼働店 祝日稼働店
信託代理業務取扱店 外国為替取扱店 外貨両替取扱店 貸金庫取扱店
★12:30～13:30に休業を設定している店舗

北海道銀行

Table listing branches in Hokkaido, starting with '北海道' and '札幌市'. Includes branches like 本店営業部, 南一条支店, 薄野支店, etc.

Table listing branches in other regions, starting with '豊平支店', '北広島市、恵庭市、千歳市', '江別市、石狩市', '函館市', '小樽市、岩内町、俱知安町、寿都町', and '室蘭市、伊達市、洞爺湖町'.

店舗ネットワーク

(2021年6月末現在)

休日自動機稼働状況等
 ㊦土曜稼働店 ㊧日曜稼働店 ㊨祝日稼働店
 ㊩信託代理業務取扱店 ㊪外国為替取扱店 ㊫外貨両替取扱店 ㊬貸金庫取扱店
 ★12:30~13:30に休業を設定している店舗

北海道銀行

室蘭駅前支店	室蘭市中央町4丁目1番1号 TEL.0143-22-2411	㊦ ㊧ ㊨	
伊達支店	伊達市鹿島町13番地3 TEL.0142-23-3188	㊦ ㊧ ㊨	㊬
洞爺支店	虻田郡洞爺湖町本町175番地の1 TEL.0142-76-2151	★ ㊦ ㊧ ㊨	㊬
登別市、白老町			
登別支店	登別市中央町6丁目1番地5 TEL.0143-85-2621	㊦ ㊧ ㊨	㊬
白老支店	白老郡白老町大町3丁目2番11号 TEL.0144-82-2381	★ ㊦ ㊧ ㊨	㊬
苫小牧市			
苫小牧支店	苫小牧市表町2丁目1番14号 TEL.0144-33-9211	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
苫小牧東支店	苫小牧市新開町4丁目2番18号 TEL.0144-57-8130	㊦ ㊧ ㊨	
糸井支店	苫小牧市しらかば町6丁目16番12号 TEL.0144-74-5111	㊦ ㊧ ㊨	
安平町、栗山町、長沼町			
早来支店	勇払郡安平町早来大町111番地 TEL.0145-22-2531	★	㊬
追分支店	勇払郡安平町通分本町4丁目19番地1号 TEL.0145-25-2511	★	㊬
栗山支店	夕張郡栗山町中央3丁目36番1号 TEL.0123-72-1325		㊬
長沼支店	夕張郡長沼町中央南1丁目7番2号 TEL.0123-88-2727	★	㊬
岩見沢市、当別町、美瑛市			
岩見沢支店	岩見沢市4条西6丁目2番地 TEL.0126-22-3131	㊦ ㊧ ㊨	㊬
当別支店	石狩郡当別町園生711番地40 TEL.0133-23-2132	㊦ ㊧ ㊨	㊬
美瑛支店	美瑛市大通東1条南2丁目2番15号 TEL.0126-63-2136	㊦ ㊧ ㊨	㊬
砂川市、月形町			
砂川支店	砂川市西1条北2丁目1番16号 TEL.0125-54-2111	㊦ ㊧ ㊨	㊬
月形支店	樺戸郡月形町1069番地24 TEL.0126-53-2016	★	㊬
滝川市、芦別市、赤平市			
滝川支店	滝川市明神町1丁目5番41号 TEL.0125-22-5111	㊦ ㊧ ㊨	㊬
芦別支店	芦別市北1条東1丁目6番地10 TEL.0124-22-3451	★	㊬
赤平支店	赤平市字赤平563番地4 TEL.0125-32-2111	★	
旭川市			
旭川支店	旭川市2条通9丁目228番地 TEL.0166-26-0141	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
神楽支店(旭川支店内)			
豊岡支店	旭川市豊岡3条3丁目2番9号 TEL.0166-31-4181	㊦ ㊧ ㊨	㊬
銀座通支店(豊岡支店内)			
永山支店	旭川市永山3条16丁目3番1号 TEL.0166-48-3050	㊦ ㊧ ㊨	
大町支店	旭川市大町3条9丁目2397番地 TEL.0166-53-1411	㊦ ㊧ ㊨	
美瑛町、富良野市			
美瑛支店	上川郡美瑛町本町1丁目5番25号 TEL.0166-92-1141	★	
富良野支店	富良野市日の出町5番10号 TEL.0167-23-2161	★	㊬
士別市、名寄市			
士別支店	士別市大通東6丁目2295番地 TEL.0165-23-2151	㊦ ㊧ ㊨	㊬
名寄支店	名寄市西4条南7丁目5番地 TEL.01654-2-2111	㊦ ㊧ ㊨	㊬
稚内市、天塩町			
稚内支店	稚内市中央3丁目11番10号 TEL.0162-23-5221	㊦ ㊧ ㊨	㊬
天塩支店	天塩郡天塩町新地通6丁目871番地6 TEL.01632-2-1011	★	㊬
留萌市、羽幌町			
留萌支店	留萌市錦町3丁目2番47号 TEL.0164-42-2434	㊦ ㊧ ㊨	㊬
羽幌支店	苫前郡羽幌町南大通1丁目13番地 TEL.0164-62-1241	★ ㊦ ㊧ ㊨	㊬

紋別市、湧別町

紋別支店	紋別市本町5丁目1番5号 TEL.0158-24-2101	㊦ ㊧ ㊨	㊬
中湧別支店	紋別郡湧別町中湧別町580番地 TEL.01586-2-2151	★	㊬

北見市、網走市、斜里町

北見支店	北見市北1条西1丁目1番地 TEL.0157-23-3121	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
北見とん田支店	北見市栄町1丁目1番地の7 TEL.0157-24-6111	㊦ ㊧ ㊨	
網走支店	網走市南4条西2丁目3番地 TEL.0152-43-2161	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
斜里支店	斜里郡斜里町本町38番地4 TEL.0152-23-2131	★	㊬

釧路市

釧路支店	釧路市北大通10丁目2番地1 TEL.0154-23-3111	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
鳥取支店(釧路支店内)			

釧路西港支店	釧路市鳥取大通4丁目15番地 TEL.0154-51-6811	㊦ ㊧ ㊨	
--------	------------------------------------	-------	--

根室市、中標津町、白糠町

根室支店	根室市花咲町2丁目31番地 TEL.0153-24-4115	㊦ ㊧ ㊨	㊬
中標津支店	標津郡中標津町大通北1丁目2番地1 TEL.0153-72-8001	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
白糠支店	白糠郡白糠町東2条南2丁目3番地3 TEL.01547-2-2161	★	

帯広市

帯広支店	帯広市西3条南9丁目23番地 TEL.0155-23-7111	㊦ ㊧ ㊨	㊬ ㊭ ㊮
西五条支店	帯広市西5条南20丁目1番地 TEL.0155-24-1988	㊦ ㊧ ㊨	
帯広西支店	帯広市西19条南3丁目55番15号 TEL.0155-36-7111	㊦ ㊧ ㊨	

芽室町、広尾町、足寄町、音更町

芽室支店	河西部芽室町本通3丁目1番地 TEL.0155-62-2111	㊦ ㊧ ㊨	㊬
広尾支店	広尾郡広尾町本通7丁目7番地の1 TEL.01558-2-3121	★ ㊦ ㊧ ㊨	㊬
足寄支店	足寄郡足寄町南1条3丁目1番地 TEL.0156-25-2165	★	㊬
音更支店	河東郡音更町木野大通東12丁目1番1号2 TEL.0155-31-1411	㊦ ㊧ ㊨	

東京都

東京支店	中央区日本橋室町3丁目2番1号 日本橋室町三井タワー5階 TEL.03-3241-3276	★	㊬
------	---	---	---

宮城県

仙台支店	仙台市青葉区中央3丁目1番24号荘銀ビル6階 TEL.022-224-5311		㊬
------	--	--	---

法人営業部

第1法人営業部	札幌市中央区南1条西10丁目3番地南一条道銀ビル2階 TEL.011-211-6636		
---------	--	--	--

海外

瀋陽駐在員事務所	中国遼寧省瀋陽市瀋河区青年大街1-1号市府恒隆広場併設1座1118室 TEL.86-24-3185-7008		
ユジノサハリンスク駐在員事務所	18 Kommunisticheskij Av. office 44, Yuzhno-Sakhalinsk, 693000, Russia TEL.7-4242-45-7523		
ウラジオストク駐在員事務所	Fresh Plaza, Room 613, 17 Okeanskiy Pr., Vladivostok, 690091, Russia TEL.7-4232-65-8851		

その他

ラピッド支店	札幌市白石区東札幌3条1丁目2番33号 TEL.0120-433-919		
--------	---	--	--

このほか、イーネットATM支店、ローソンATM支店、バンクタイムATM支店、振込専用支店があります。

ほくぎんプラザ、ほくぎんローンプラザ・ローンプラザ・その他

(2021年6月末現在)

休日営業状況等 土曜営業店 日曜営業店 祝日営業店
 月曜休業店 水曜休業店 貸金庫取扱店

★9:00～15:00の間に休業を設定している店舗

ほくぎんプラザ(北陸銀行)

富山県	
ほくぎんプラザ一番町(一番町出張所)	富山市一番町1番1号(一番町スクエアビル4階) TEL.076-423-7710
ほくぎんプラザファールレ(ファールレ出張所)	富山市婦中町下野田165番地の1 TEL.076-461-3783
ほくぎんプラザかけお	富山市掛尾栄4番58(富山南中央支店同一建物内) TEL.076-423-0079
石川県	
ほくぎんプラザ金沢中央	金沢市駅西本町一丁目15番35号(金沢中央支店内) TEL.076-262-6225
ほくぎんプラザ金沢南	金沢市泉野出町3丁目1番1号(泉野支店内) TEL.076-242-3550
福井県	
ほくぎんプラザ米松	福井市松城町11番3号(米松支店内) TEL.0776-54-4686

ほくぎんローンプラザ(北陸銀行)

富山県	
清水町	富山市元町一丁目6番1号(清水町支店内) TEL.076-421-3191
新庄	富山市荒川二丁目25番47号(新庄支店内) TEL.076-441-3901
魚津	魚津市釈迦堂一丁目1110番地(魚津駅前支店内) TEL.0765-22-7283
滑川	滑川市下小泉町83番地9(滑川支店内) TEL.076-475-2101
くろべ	黒部市飯沢6120番地5(YKK支店内) TEL.0765-57-0260 ★
高岡南中央	高岡市赤祖父431番地(高岡南中央支店敷地内) TEL.0766-24-6882
高岡	高岡市片原町1番地の1(高岡支店内) TEL.0766-23-2233
となみ野	砺波市宮丸30番地の1(元 油田出張所) TEL.0763-33-5821
福光	南砺市福光6788番地の1(福光支店内) TEL.0763-52-1234
石川県	
東大通	金沢市元町二丁目16番2号(東大通支店内) TEL.076-252-3222 ★
金沢北	金沢市問屋町一丁目115番地4(金沢問屋町支店内) TEL.076-237-5401 ★
新神田	金沢市新神田一丁目9番22号(新神田支店内) TEL.076-291-3451 ★
まっとう	白山市ハツ矢町619番地(松任支店内) TEL.076-276-8622
野々市	野々市市本町二丁目290番地(野々市支店内) TEL.076-246-2911 ★
つばた	河北郡津幡町字清水イ125番地(津幡支店内) TEL.076-288-3311 ★
小松	小松市京町97番地(小松支店内) TEL.0761-22-2761
大聖寺	加賀市大聖寺南町ホ4番2(大聖寺支店内) TEL.0761-72-1212
七尾	七尾市一本杉町118番地(七尾支店内) TEL.0767-53-2200
福井県	
福井	福井市中央一丁目7番15号(福井支店内) TEL.0776-24-5555
二の宮	福井市二の宮四丁目3番10号(二の宮支店内) TEL.0776-23-6611 ★
たけふ	越前市蓬萊町6番27号(武生支店内) TEL.0778-23-2211
つるが	敦賀市本町二丁目11番1号(敦賀支店内) TEL.0770-22-5333
北海道	
札幌大通	札幌市中央区大通西二丁目5番地(札幌支店内) TEL.011-241-7531
札幌西	札幌市西区山の手二条一丁目5番1号(琴似支店内) TEL.011-611-0201 ★
麻生	札幌市北区北三十九条西四丁目1番6号(麻生支店内) TEL.011-709-1581 ★
白石	札幌市白石区南郷通十三丁目5番16号(白石支店内) TEL.011-862-1151 ★
さっぽろ	札幌市東区北24条東15丁目1番15号(元 元町出張所) TEL.011-704-1161 ★
小樽	小樽市稲穂二丁目8番11号(小樽支店内) TEL.0134-23-7111 ★

函館東	函館市中部二丁目49番17号(函館東支店内) TEL.0138-53-9511 ★
旭川	旭川市三条通十丁目2189番地(旭川支店内) TEL.0166-23-4111
帯広	帯広市大通南八丁目18・20番地(帯広支店内) TEL.0155-23-6131 ★
釧路	釧路市北大通十丁目1番地4(釧路支店内) TEL.0154-22-5126 ★

東京都

東京	中央区日本橋区三丁目1番1号 日本橋三井タワー(東京支店内) TEL.03-3241-7777 ★
浅草	台東区雷門二丁目12番10号(浅草支店内) TEL.03-3843-4181 ★
新宿	新宿区西新宿七丁目20番3号(新宿支店内) TEL.03-5389-7283 ★
渋谷	渋谷区渋谷三丁目10番13号 TEL.03-3486-5250 ★
白山	文京区白山五丁目1番3号・101(白山支店内) TEL.03-3816-5751 ★

神奈川県

横浜	横浜市神奈川区富家町1番地(横浜支店内) TEL.045-434-4136 ★
----	--

愛知県

名古屋	名古屋市中村区椿町17番16号(中村支店内) TEL.052-452-6017 ★
-----	--

大阪府

大阪	大阪市中央区平野町三丁目2番13号(大阪支店内) TEL.06-6202-6204 ★
----	--

岐阜県

高山	高山市本町二丁目71番地(高山支店内) TEL.0577-32-1300 ★
----	---

長野県

長野	長野市上千歳町1137番地23(長野支店内) TEL.026-233-5800 ★
----	--

新潟県

新潟	新潟市中央区東堀通七番町1072番地2(新潟支店内) TEL.025-222-0527 ★
----	--

ローンプラザ(北海道銀行)

北海道	
大通	札幌市中央区大通西4丁目1番地(新大通ビル2階) TEL.011-233-1122
北二十四条	札幌市北区北23条西3丁目2番32号(北二十四条支店2階) TEL.011-707-5180
新さっぽろ	札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番15号(札幌中央メディカルビル1階) TEL.011-896-2501
旭川	旭川市豊岡3条3丁目2番9号(豊岡支店内) TEL.0166-26-0198
函館	函館市美原1丁目18番7号(美原支店内) TEL.0138-42-1700
帯広	帯広市西3条南9丁目23番地(帯広経済センタービル東館2階) TEL.0155-23-7173
釧路	釧路市北大通10丁目2番地1(釧路支店内) TEL.0154-23-3118
苫小牧	苫小牧市表町2丁目1番14号(王子不動産 第3ビル1階) TEL.0144-33-9920
千歳	千歳市千代田町7丁目1789番3(千歳ステーションプラザ1F) TEL.0123-27-4500
小樽	小樽市稲穂2丁目8番9号(小樽支店内) TEL.0134-24-5900
室蘭	室蘭市忠通町1丁目22番5号(室蘭支店内) TEL.0143-46-7700
北見	北見市栄町1丁目1番地の7(北見とん田支店内) TEL.0157-61-1200

その他(北海道銀行)

北海道	
どうぎん保険プラザ大通	札幌市中央区大通西4丁目1番地(新大通ビル1階) TEL.011-233-1322
口座開設プラザ(地下鉄大通駅出張所)	札幌市中央区南1条西4丁目 日之出ビル 地下2階 TEL.011-233-1167
外貨両替プラザ(地下鉄大通駅出張所)	札幌市中央区南1条西4丁目 日之出ビル 地下2階 TEL.011-233-1167

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

経営企画部広報CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

